

平成25年度・環境省請負事業

地域活性化を担う環境保全活動の 協働取組推進事業

みんなの環境学習講座

報告書

平成26年2月

特定非営利活動法人南信州おひさま進歩

目 次

第一章 地域の概要

- a 飯田市の概要
- b 飯田市の環境政策について
- c 飯田市の自治組織と公民館について

第二章 協働取組の発起

- a 事業概要と目的
- b 関係団体
- c 第一回検討会議

第三章 地域の特色を生かした地区公民館との協働取組（前半）

- a 上村地区との協働取組
- b 羽場地区との協働取組
- c 竜丘地区との協働取組
- d 川路地区との協働取組
- e 鼎地区との協働取組
- f 橋北地区との協働取組

第四章 第二回検討会議と中間報告

- a 第二回検討会議
- b 中間報告

第五章 市全体の講演会（ドイツに学ぶ市民主体の地域づくり）

- a ドイツに学ぶ市民主体の地域づくり 講演会の概要

第六章 地域の特色と地区公民館との協働取組（後半）

- a 下久堅地区との協働取組
- b 座光寺地区との協働取組
- c 三穂地区との協働取組
- d 丸山地区との協働取組

第七章 市全体の講演会（飯田市公民館大会）

- a 飯田市公民館大会の概要分科会「環境を学び生かす」

第八章 第三回検討会議

a 第三回検討会議

第九章 プログラムの開発と広報の実施

a プログラムの開発

b 広報の実施

c 会合等への参加

第十章 まとめと次年度以降の方策

第一章 地域の概要

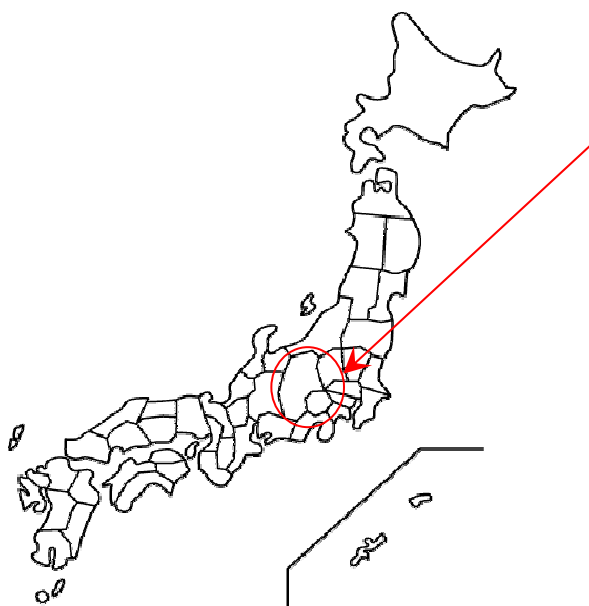
a 飯田市の概要

(1) 地勢・人口

飯田市は、日本のほぼ中央に位置し、長野県の南部にある中央アルプス（木曽山脈）と南アルプス（赤石山脈）に挟まれた伊那谷における中心都市である。市の中央を諏訪湖から流れる天竜川が北から南へ流れており、県内の天竜川最下流部（標高約300m）から南アルプスの北岳（標高3,193m）まで、標高差2,800mを超える我が国最大級の谷である。その中に、何段にも形成された段丘や、日本で一番長い断層である中央構造線が刻んだ遠山谷などがあり、我が国でも有数の美しさと変化に富んだ地形をしている。

また古く飯田は、東西を結ぶ街道と南北を貫く街道が交差する場所として、交通の要となっていた。そして山国でありながら、祭りや芸能、味覚などに見られるように、高い文化的気風がある。現在では、長野県の南端に位置している1市3町10村の近隣の町村で南信州広域連合を形成し、中心的な役割を担っている。

飯田市の始まりは、1937（昭和12）年に、当時の飯田町と上飯田町が合併して市制を施行させたことによる。それ以降、合併を繰り返しながら市域を拡大させていった。現在の飯田市は、人口150,478人、世帯数39,153世帯（平成26年1月末現在）である。



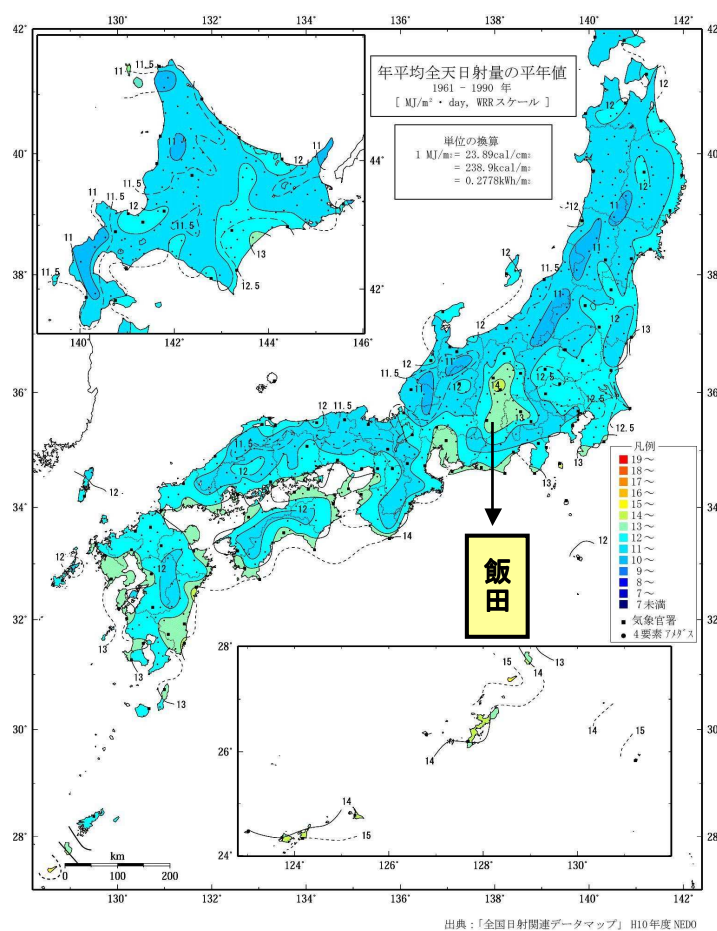
日本国土のほぼ真ん中に位置する長野県



長野県の南部に位置する南信州地域

(2) 気象

気象は、地形が複雑なため域内でもかなり異なるが、全体的には太平洋の気候に属し、県内でも、もっとも温暖な地域である。平成の年間降水量は、約1,610mm程度で県内では多い方である。また日照時間は1981～2010年の平均で年間2,050時間に達し、全国的にも長い地域の一つである。年間平均の日射量についても同市は4.15kWh/m²と、東京（同3.74kWh/m²）や大阪（同3.92kWh/m²）などに比べてかなり高い。このような気候から、太陽光発電に適した特長を有している。



(3) 交通

交通は、JR飯田線及び中央自動車道が南北に走り、国道は151号、152号、153号、256号、418号及び474号の6路線が管内を走っている。このうち151号と153号は整備が進んでいるが、他の4路線は未改良区間が多く、幹線交通網であるこれらの路線については一層の整備促進が求められている。

中央自動車道及び長野自動車道の開通により、首都圏や中京・関西方面、北信地域を結ぶ大動脈となり時間距離が著しく短縮し、産業・経済はいうまでもなく、文化・観光など各方面において深く結びつき、地域活性化の原動力となっている。

一方、東海地方と最短距離で結ばれる三遠南信自動車道(飯田市の中央自動車道を起点として静岡県浜松市北区引佐町東黒田の東名自動車道までを結ぶ延長約100kmの自動車専用道路)は、矢筈トンネル・草木トンネルの開通以来、通勤・通学・日常生活・観光面等で良好な整備効果が現れている。平成20年4月13日に、中央自動車道飯田山本ICから三遠南信自動車道天竜峡ICまでの区間が開通し、先に進めるべく現在も工事が行われている。

又、リニア中央新幹線の長野県内の駅が飯田市内に置かれることが決まった。2027年に開業予定で東京・品川―名古屋間280kmを最速40分で結ばれる予定で、人・物の流れが大きく変わる可能性がある。

(4) 産業

農業は、なし・りんご・干し柿などの果樹と酪農・肉用牛・養豚などの畜産を主体に、経営規模は小さいものの立地条件や温暖な気候条件を活かした多様な農業を展開しているほか、環境負荷軽減農業や、都市農村交流、地産地消などの取り組みも進んでいる。

林業では、森林面積の約84%が民有林でスギ・ヒノキの構成比率が高く、飯伊森林組合をはじめ3組合が森林経営の中核を担っている。

商業においては、近年、飯田市郊外に大型店の出店が相次ぎ、新たな商業地域が形成される一方で、既存の中心市街地における集客力は低下している。

工業では、機械・電機・電子・情報・精密・輸送の加工組立型に分類される産業が出荷額全体のおよそ6割を占めており、下請中小企業が多くなっている。特色ある地場産業として、水引・半生菓子・凍り豆腐等の製造が盛んであり、国内で高いシェアを占めている。



りんご

また、観光面では、南アルプスに代表される自然や伝統芸能などを資源としているが、観光地は小規模分散となっている。

b 飯田市の環境政策について

(1) 21' いいだ環境プラン

平成8年に定められた21' いいだ環境プランは、次のような環境像や施策目標などを示し、施策を展開し始め、その後多少の変更はあるものの、今日に至るまで飯田市の環境政策の基盤となっている。

その内容は、環境を全ての基本に置きながら、飯田市の政策を進める際の指針となるべき理念、そして、第5次飯田市基本構想後期基本計画の9つの政策の1つである「人の営みと自然・環境が調和したまちづくり」の政策や事業などを具現化したものである。

- ・基本目標：「人の営みと自然・環境が調和したまちづくり」
- ・行動理念：循環・共生・参加・個性
- ・望ましい環境像：「空あかるく風にほやかなるまち、飯田」
- ・目標年次：平成28年度、対象期間：平成24年4月～平成29年3月（平成24年3月の第3次改定による）
- ・政策展開の方針：「きづかいのまちづくり」
- ・施策目標（柱）：「廃棄物の削減と適正処理」「地球環境問題への対応」「緑の保全と創出」「良好な景観の形成」「安全なまちづくり」「意識づくり」

平成14年と平成20年の2度にわたり、改定が行われた。

施策5に「子どもの環境学習を進める仕組みづくり」「生涯学習として環境学習を進める仕組みづくり」をうたっている。

(2) 環境文化都市

飯田市では平成8年に『人も自然も美しく、輝くまち飯田ー環境文化都市ー』をめざす都市像とした第4次基本構想基本計画を市民と行政が一体となって策定し、人の営みと自然とが調和するまちづくりに先駆的に取り組んで、地域の個性を磨いてきた。平成19年に策定された第5次基本構想、基本計画にもこの理念は引き継がれ、環境を最優先した様々な施策を実施している。

平成16年度から平成18年度にかけて実施した「環境と経済の好循環のまちモデル事業」は、未来の環境文化都市の実現に向けて、地域で排出される温室効果ガスの削減を図るため、行政自らが資源循環型社会を実現するためのインセンティブをつくるとともに、市民による環境ビジネスを立ち上げ、環境事業に対する「市民出資」という新たな仕組みを築くとともに、温室効果ガス削減に向けて、市民、地元企業を巻き込んだ地域全体の取り組みとしての相乗効果を図ることで、地域ぐるみで地球温暖化防止に取り組み、環境にやさしいエネルギーの地産地消による、環境と経済活動が両立する持続可能な地域社会の形成を目指すために本事業を実施した。

(3) 飯田市再生可能エネルギーの導入 による持続可能な地域づくりに関する 条例」について

平成25年4月に「飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する」条例が制定された。

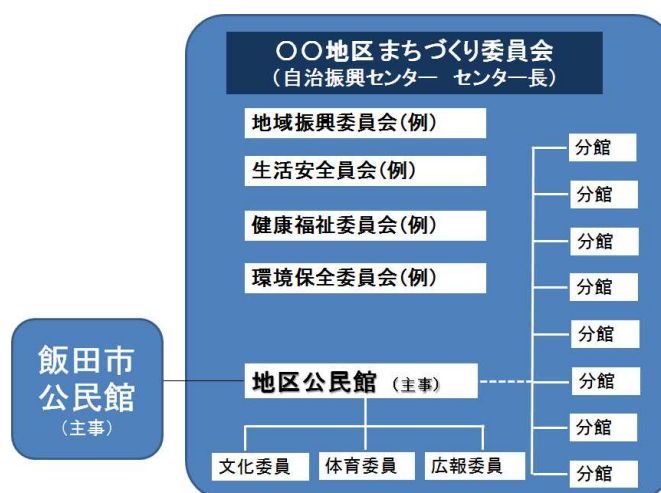
目的は市域の豊富な再生可能エネルギー(再エネ)資源と地域の「結い」を活用して低炭素で活力ある地域づくりを実現することを目的とし、再エネによる電気の固定価格買取制度(FIT)を地域で公共的に利活用する制度を構築。又、最エネ資源の活用と市民・公共的団体等・行政のかかわりを明確化した。

再エネ資源から生まれるエネルギーを市民共有の財産として捉え、市民には、これを優先的に活用して地域づくりをする権利があるという「地域環境権」をうたった全国初の画期的な条例である。

C 飯田市の自治組織と公民館について

(1) 地域自治組織としてのまちづくり委員会の概要

飯田市は、従来から小学校区を単位として自治会や公民館を中心とした地域運営を行ってきており、市内に20地区に分かれる地区によって構成されている。各地区に自治振興センターという公式の組織、そしてまちづくり委員会と呼ばれる任意団体によって構成されていて、まちづくり委員会の組織内には各委員会が置かれている。各委員会は、まちづくり委員会全体の中の個々の部会として位置づけられている。まちづくり委員会が任意団体であるため、各委員会の呼称や内容は地区によって異なるが主には、地区内の単位自治会の連合組織である「地域振興委員会」、環境保全やリサイクル活動を行う「環境保全委員会」、防災や防犯、交通安全活動などを行う「生活安全委員会」、高齢者や障害者支援、健康増進等の事業を行う「健康福祉委員会」などによって構成されている。

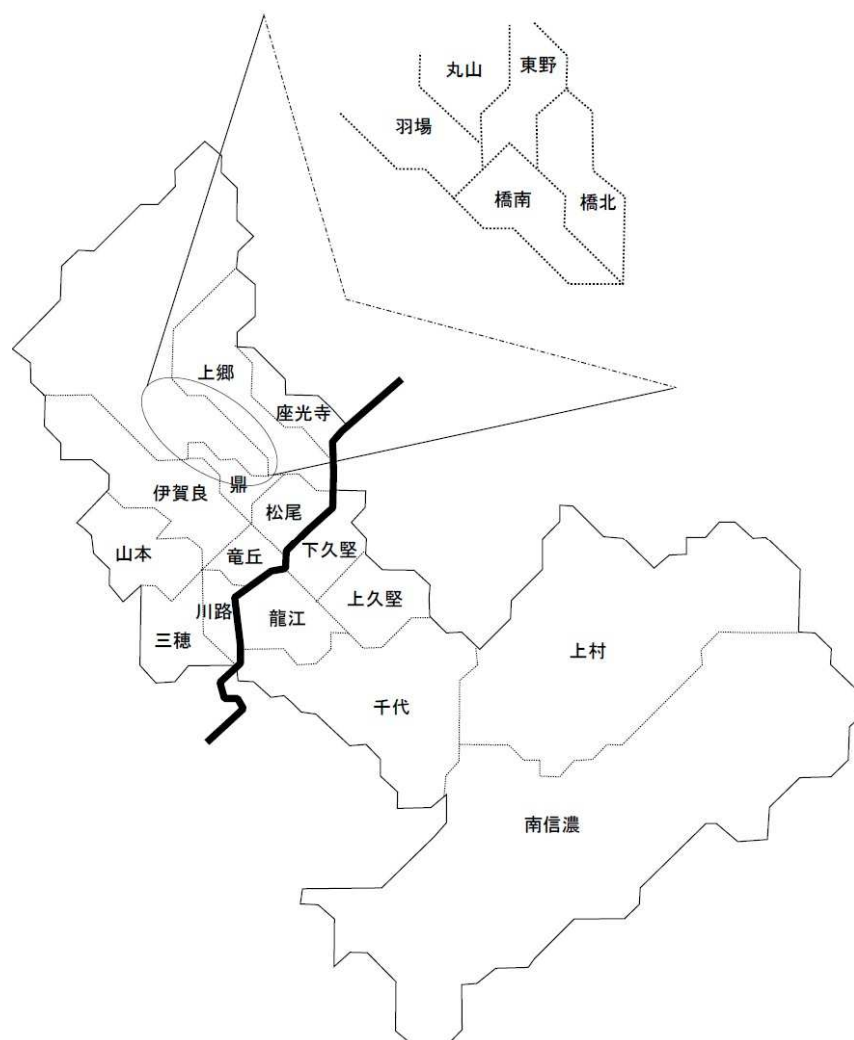


(まちづくり委員会組織図)

(2) 公民館の位置づけ

飯田市は昭和31年以降平成17年度までの約50年間で15の町村と合併を進めてきたが、合併後もそれらの旧町村単位に市役所支所（現在は自治振興センター）と公民館を残し、現在に至っている。概ね小学校区単位に20ヶ所設置された公民館と自治振興センターは、今も地域住民の様々な活動の拠点として機能している。

飯田型の公民館の特徴は、専門委員会制度や分館制度に基づく住民主体の仕組みと、地区公民館ごとに進められる活動を支える行政職員としての公民館主事を配置しているところにある。地区公民館には地域から選ばれた住民により構成された文化、体育、広報などの専門委員会があり、公民館事業の企画運営を担っている



(飯田市内地区割り)

(3) 飯田市地区公民館の独自性

飯田市は合併を重ねてきたが、そのつど地区単位に独立館を残してきた。このことが、公民館活動の底辺を拡大し、しっかりと根をはった活動が行われる源である。又、独立館として独自性を保障することで住民の力が十分に反映され、「自分たちの地域は自らの手で」という主体性が育っている。又、分館制度というものがあり、分館は、住民のいちばん身近なところにある組織であり、子どもからお年寄りまで、日常のたまり場として利用しながら、身近な課題を解決したり、分館独自の事業を展開し、なによりも住民同士のふれあい、顔なじみづくりを大切にしながら主体的に運営されている。

(4) 公民館主事の役割と地域住民との関わり

市の職員として専任の公民館主事が全ての地区公民館に1名ずつ配置されている。公民館主事の自立性は自分の頭で考えて、自分の判断で課題を見出し、自分で考えて行動するということを基本としている。公民館主事は一行政職員然としていることはできず、地域住民との関わりにおいて、公民館という地域の拠点施設を運営し、地域の住民の生活課題に真正面から向き合うことが求められ、地域住民とかかわる力を身に付けることが必要である。

(5) NPO法人南信州おひさま進歩

このように環境問題に対して先進的な取組を進める飯田市で、環境活動に取り組む人々や、飲食店の経営者が集い地球温暖化防止と地域づくりのために、エネルギーの地産地消で循環型社会の構築を目指し、2004年2月に設立したのが、NPO法人南信州おひさま進歩（以下「南信州おひさま進歩」と略称する）である。

設立後まず取り組んだ事は、地域内の飲食店などから発生する廃食油を精製する「BDF精製実験プラント」の立ち上げである。これは軽油燃料の代替になるものである。また加えて取り組んだのが、寄付を募り、地域の保育園に太陽光発電を設置する「おひさま市民共同発電所事業」である。この取り組みはNPO会員の理解や設置事業者の協力により、2004年5月、発電容量3kWの「おひさま発電所1号」が完成した。もちろんこの設備の発電により二酸化炭素が削減される効果はあるが、そのことよりも、保育園に通う子供たちやその家族、家庭を取り巻く地域での、温暖化防止活動の役に立つ施設にしたいという思いがあり、子どもたちにおひさま発電を分かりやすくするためにモニター設置するなどの「見える化」の工夫も行った。また、キャラクターの着ぐるみ（さんぽちゃん）を作成して、設置した保育園の子どもたちと学ぶ環境教育も実施した。この取組から、いずれ低炭素社会を担う人に成長してくれることを期待している。

第二章 協働取組の発起

a 事業概要と目的

(1) 地域課題について

環境モデル都市である飯田市は、平成25年4月1日より、「飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例」を制定し、全国に先駆けて「地域環境権」という概念を確立して、その活動を支援すること打ち出した。しかし、本条例の一般市民への浸透はこれからであり、個人や団体による再生可能エネルギーの取組も、一部では共有されているものの地元住民への認知となると、やはり十分とは言い難い。

一方、飯田市は地域コミュニティを単位とした公民館活動が大変盛んな地域であり、地域に根付いた多彩な活動を展開している。しかし、環境学習については、地球温暖化防止などの、いわゆる環境問題に関わる学習活動が少し弱いことが課題とされてきた。

(2) 協働取組の概要について

太陽・水・森林など、さまざまな資源を有するこの地域にあって、地区の拠点である公民館と協働し、その活動やネットワークを活用する。また現状の公民館活動に、新たに「環境」というキーワードを設け、各地区の特色に沿った講演や勉強会・野外活動等を企画・発信することで、地元をはじめ、多様な個人や団体に気付き、地域資源を再発見できる場とする。将来的には、老若男女が楽しめる体系的な生涯学習の環境プログラムとして確立させ、再エネ地域づくり条例への理解など市民の「環境」意識の底上げを推進することで、地域住民が主導して環境・エネルギーに関する新たな活動が生み出されることを目指す。

飯田市は、中期目標として2030年までに家庭部門のCO2排出量を2005年比で40～50%削減を掲げ、多様な主体の協働による太陽や森のエネルギー利用等の行動を始めており、「みんなの環境学習講座」はそうした飯田市の目標・政策を促進させ、一般市民への浸透を図る協働取組である。

(3) みんなの環境学習講座の事業計画

関係者・有識者を交えての検討会議を経て、コンテンツの作成・イベント開催等の検討を行う。その上で、飯田市内の代表公民館の担当者と打ち合わせを行う中で、その地区独自の資源や取組、また課題などを拾い上げてコンテンツやイベントの内容に反映させる。そして年間10講座程度の勉強会・見学会・講演会・体験学習などを地区独自の取組と合わせ実施し、飯田市の環境への取り組みや再エネの地域づくり条例などを広く認知してもらう。

① 飯田市外の講師を招いた講演会・パネルディスカッション等

市内に20箇所ある地区公民館の中で、年2回の開催を予定

○講演内容（案）

- ・地元で実施されている小水力発電の事例紹介
- ・海外の有識者による事例紹介等を検討

② みんなの環境学習講座

地域に約箇所ある分館に向けて、4～5種のプログラムを作成し年10回以上の開催を予定

○プログラム内容（案）

- ・化石燃料を使用しない体験交流施設「風の学舎」の事例紹介と現場見学会
- ・飯田市内の木材を使ったワークショップ（間伐体験など）と山林トレッキング
- ・自然エネルギーのドキュメンタリー映画「シェーナウの想い」上映会
- ・飯田市の公共施設の再生可能エネルギーの導入の現状紹介と現場見学
- ・家庭でも活用できる省エネの紹介など

『地域活性化を担う環境保全活動の協働取組推進事業』の年間実施スケジュール

内容		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月～
協働関係者での検討会議 (飯田市・公民館・おひさま・アドバイザー・有識者)			7月17日 協働関係者での検討会議								
飯田市外の講師を招いた講演会 (地区公民館の中で、年2回の開催を予定)			「ドイツ海外先進地の講演会」 自然エネルギー先進事例の紹介、森づくり、バイオマス、太陽光の利用			10/25週を予定	「地域資源を見直す・活かす自然エネルギー利用」 小水力・バイオマス・太			2月初旬予定	
『みんなの環境学習講座』 (年10回以上の開催を予定)	「公民館活動と共に」 すでに年間スケジュールの中で決定している公民館活動で、省エネに関する学習会や地域の自然環境に関する活動、ならびに文化祭などでブース出展を行う。		夏祭り			文化祭					
	「地元の施設に親しみ見学会、講習会」 地元にある施設(メガソーラー、わらべ館等)を、地域住民に分かりやすく親しんでいただくための見学会やイベントを開催する。										
	「地域を語まい！歴史、新条例、まちづくり」 地域の宝を見つけるための学習会を開催し、さらに飯田市の新条例の地域環境権や地域のまちづくりにつなげるためのイベントを開催する。										
連絡会、報告会への参加			連絡会 名古屋	交流会 名古屋		連絡会 名古屋					報告会 東京

事業開始時の年間実施スケジュール案

b 関係団体

(1) NPO法人いいだ自然エネルギーネット山法師

NPO法人いいだ自然エネルギーネット山法師（以下「山法師」と略称する）は、先端技術と伝統技術を組み合わせ地域住民で建設した化石燃料ゼロハウス「風の学舎」の利用体験を通して、スローライフや自然エネルギーの利用を推進し、ライフスタイルの転換により温暖化の防止を図っている。

このエコハウスを拠点として青少年や都市住民の環境・農林体験学習を受け入れ、その指導者として地元高齢者を中心に田舎名人を登録し指導や交流に当たることで、若者や都市住民には自己発見やライフスタイルの転換に、高齢者や地元住民には生き甲斐づくりにつなげている。また、大学のインターンシップや行政機関など職員研修事業を受け入れ、会員や専門家が中心となり体験学習だけでなく、関連する環境政策や技術などについての学習機会も提供している。

(2) 株式会社飯田まちづくりカンパニー

株式会社飯田まちづくりカンパニー（以下「まちづくりカンパニー」と略称する）は、中心市街地からの人口流出や都市機能の郊外流出が進み、空洞化の問題が発生、そのような状況下、「中心市街地活性化計画」が検討され、市民が“誇りの持てる街”に再生しようと、同じ思いをもつ企業、商店、市民が中心となって出資し、行政からも出資協力を得て設立した第三セクターのまちづくりの総合支援会社。平成11年には、飯田市橋南第一地区市街地再開発事業実施設計策定、飯田市中心市街地活性化基本計画策定と、中心市街地活性化のための事業計画を立ち上げ、事業を遂行してきた。デベロッパー事業、調査・研究・開発事業を中心に、市街地ミニ開発事業、物販・飲食事業、イベント・文化事業、福祉サービス事業などが主要な事業領域。

「飯田の街を守り育て、誇りある町を未来に残す」という当社の基本方針のもと、「中心市街地活性化(まちづくり)のマルチカンパニー」を目指している。

c 第一回検討会議

(1) 主事会での概要説明

●概要

主事会とは、各20地区ある公民館主事で組織され月1度行われる定例会のことで、午前は各公民館において行われる行事の連絡が行われ、午後は主事を対象とした研修会が行われる。事業説明の第一弾として、みんなの環境学習講座の事業概要を5月の主事会にて説明を行った。

日程：平成25年5月21日（火）

時間：午前9時00分～午後10時30分

会場：丸山公民館

参加者：全地区公民館主事

地域活性化を担う環境保全活動の協働取組推進事業について

みんなの環境学習講座（仮） ご説明会

2013年5月21日 公民館 主事会



NPO法人南信州おひさま進歩
小室 勇樹

NPO法人南信州おひさま進歩のご説明

平成16年2月：地産地消のエネルギーを目指したNPOの設立、寄付により第一号おひさま発電所（明星保育園）の完成。

平成16年12月：NPO法人南信州おひさま進歩が母体として、「おひさま進歩エネルギー株式会社」を設立。

平成17年12月：幼児向けの環境教育「パネルシアター」の上演を開始。



8年間続く環境講座は、これまでに83回の上演を行い、約6,520名の児童や保護者にご覧いただきました。

町づくりのベースはすべて公民館



盛んな地域単位の『公民館活動』

飯田市は20の地区公民館と、地域住民から選出された900人近い専門委員が部会に分かれて担当の公民館事業を企画運営している。

それを市の職員である公民館主事や公民館長が支え、市民協働型の仕組みに基づき、地域に根付いた多彩な活動を展開している。

写真は、伊賀良公民館と丸山公民館です。

飯田市の新条例『地域環境権』

平成25年4月1日より：

「飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例」を施行し、地元の自然資源で得られる利益を市民主体の地域づくりに充てる権利（地域環境権）を全国に先駆けて規定し、その活動を支援すること打ち出した。

このことによって、地域ごとにエネルギー事業に取り組み、エネルギーの自給率を高めながら、事業から得られる利益を地域の課題解決のための振興費用に充てることを後押しすることが進められることとなります。

21世紀の環境プラン（平成24年3月改訂）

【施策 5-2の抜粋】

目指す将来像

- (1) 公民館などでの体系的な環境学習の機会が充実していきます。
- (2) これにより、実際の市民の日常生活に対する変化が現れるとともに、地域での活動や地域を超えた市民活動へとつながっていきます。
- (3) このような環境学習の機会を利用した人たちが公共課題の解決へと参加し、多様な主体の協働による環境問題の解決に向けた動きが進んでいきます。

現状から考えた5年後の目標

公民館と環境問題を取り扱う各課の連携が進み、公民館などで行われる環境学習の機会が増えるとともに、実際の活動へとつながる連続講座が開始されます。

みんなの環境学習講座について



みんなの環境学習講座の目的

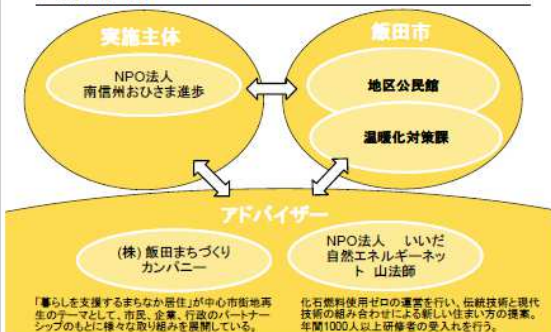
地域の再生可能エネルギーの取組をする個人・地場産業を紹介し、地域資源を再認識してもらう機会をもうける。

地域住民が主導して、エネルギーと地域資源との新たな活動を生み出すことを目指す。

連携支援事業：

平成25年度地域活性化を担う環境保全活動の協働取組推進事業に申請中

実施体制について



考えられるメニュー案

	太陽光・太陽熱	小水力	バイオマス	食料
Step1	ソーラーキッチン	水辺で遊ぶワークショップ	森で遊ぶワークショップ	映画の上映会（茶話会）
Step2	飯田市の取組事例の講演会	岐阜市で小水力発電をされている平野さんの講演会	ドイツの森林保全再生、木質バイオマスの活用事例講演会	「風の学舎」の事例紹介と現場見学会
Step3	市民発電事業の仕組みの勉強会	上村の小水力発電の視察・見学会	南信バイオマスの工場見学	市の新条例の勉強会

スケジュールとして、2～3のメニューを分館で10回程度、講演やパネルディスカッションを2回程度予定。

メニュー案に対するイメージ

○学習講座としてメニュー2～3を分館で10回程度予定

年間スケジュールの中で、すでに計画されている「○○講座」また、「野外活動」などの時間の一部分のメニューとして行わせていただくことが可能です。

○講演やパネルディスカッションを2回程度予定。

地区公民館での講演会やパネルディスカッションを考えておりますが、その内容を分館主催で行うことも可能です。

講座内容についてはご相談の上、時間や内容についても、既存の講座に合わせて行いたいと考えています。公民館の講座の中身を事前に考えるミーティングの機会がもしあれば、その段階参加させていただき、中身を作っていきたいという希望を持っております。



メニュー案①
★ 太陽光パネルを使ったワークショップ

ソーラーパネルを公民館に持ち込み、いつもは屋根に乗っているソーラーパネルに実際に触れてみて、半日太陽光で作った電力でどんなことができるか電化製品を動かしてみたり、料理をしてみたりしながら体験しよう。

ソーラーパネルが作る電気の単位と実生活で出来る事は、イメージの中でどれくらいの差があるのか。

主事会の説明資料

(2) 飯田市地区公民館主事との意見交換

●概要

みんなの環境学習講座の目的や方向性を関係者間で共有し、関係者の役割及び具体的な実施方法を検討するための検討会議。主事会で事業説明を行った上で、飯田市公民館からも今事業の呼びかけを行い、地区公民館主事は手挙げ方式で参加した。



(飯田市公民館主事との意見交換の様子)

●議事録

内 容	対 応
主事との意見交換 参加者： 〔公民館〕飯田市公民館学習支援係堤係長、飯田市公民館：学習支援係：板倉主事、羽場公民館：鈴木主事、竜丘公民館：熊	

谷主事、川路公民館：小島主事、三穂公民館 下平主事、上村公民館：村澤主事、座光寺公 民館：内山主事、下久堅公民館：長谷川主事 【南信州おひさま進歩】森岡、小室 三穂）南信州おひさま進歩の守備範囲がわ からない。森林整備、里山のことから太陽光こ となど広いことで考えていいのか？ 三穂）現在中山間で予算がある。森林整備の 話があり、実際の整備は、まちづくり委員会 がやるが、学習会などソフト面が出来ないか。 三穂）地区の学校に入ってもらおうというのも ありますか？ 三穂）切り倒した木材も放置されています。 その対応も考えたい。 座光寺）新条例の地域環境権に興味がある。 座光寺の地区で例えば、何が出来るのか具体 的なステップやイメージが見えると面白い。 竜丘）グリーン電力やカーボンオフセットを 公民館独自の企画に絡めることができれば面白 い。 川路）川路は沢の向きで地区がわかれている ので地形に影響が大きい。地形や地質を環境 学習に生かした講座は出来るかもしれない。 またメガソーラーも出来たが地域には落ちて いない。 上村）小水力についての学習会。 上村）電気代についてなど身近な省エネにつ いて考えたい。 上村）上村地区限定して昔と今の上村での変 化などを知る勉強会等。	→環境全般について、もし今までやって来 ていないことだとしても、ニーズがあれば ぜひ一緒に作っていきたい。 →予算の中で、講師を呼ぶなどの対応も出 来ます。 →あります。 →今週に市の温暖化対策課とも話すること になっているので、地域環境権のプログラムに ついて検討したい。また上村事例紹介なども プログラムを考えたい。 →事業の話とは別に、新川発電所など地域 の歴史を学ぶ勉強会などを企画する等を検 討。 →地域の地質、地形から地域のことから、 エネルギーのことについての企画。 →年２回を予定しているシンポジウムも一 回は上村で行いたい。
--	--

下久堅) 久堅和紙と環境問題を絡めた企画。 下久堅) 焼却場が出来ることになっていて、その近くに環境公園を整備して欲しいという声があるが、その主張が周りの人に落ちていない。 下久堅) 風の学舎の見学会。 羽場) タンチョウの会や魚のつかみ取り体験と環境教育を連系させる。	→地域に根ざした商品や自然資源を切り口にして環境学習講座を行う方向も検討したい。
---	---

(3) 飯田市地球温暖化対策課との協議

●概要

このみんなの環境学習講座の実施に先がけて、協働団体のひとつである飯田市地球温暖化対策課に協働取組を行う上での協議を行った。特に「飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例」について地域環境権の講師として、各公民館でどのような講座が可能か検討した。

●議事録

内 容	対 応
飯田市地球温暖化対策課との協議 〔地球温暖化対策課〕 小川係長、山崎主事 〔南信州おひさま進歩〕 森岡 小室 温暖化対策課として、環境省の事業の申請を行っており、その申請が採択されれば、地域（特に上村、竜丘、橋北）で事業化を立ち上げていくための合意形成のワークショップを行っていく。 ドイツの先進地事例のシンポジウムでは、特に森林整備に特化した形で行うのが良い。松川入財産区周辺の地区など。木づかいネットワーク	→直接事業化に向けた限られた対象者向けの講座では無く、間口を広くとった環境学習を行う。またその機会を使って興味を持たれた方がおられれば、合意形成のワークショップ等に誘導するようなつながりをもつ。 →新条例の講師として連系した企画としたい。

や製材所、森林組合などにも声をかけて、地方事務所から林務課にも話を通して行った方が良い。 また温暖化対策課の企画として、竜丘で高崎経済大学の西野寿章先生「地域電気事業史研究等」などをお呼びしてイベントを予定している。 主事の方の想いを実現するようなやり方が良い。2度目のシンポジウムは公民館大会と合同で考えても良い。	
---	--

(4) 第一回検討会議

●概要

みんなの環境学習講座の目的や方向性を関係者間で共有し、関係者の役割及び具体的な実施方法を検討するための検討会議を設置し、これを年3回行う。関係者とは、アドバイザー、公民館、飯田市温暖化対策課、実施主体の南信州おひさま進歩である。

日程：平成25年7月17日（水）

時間：午後1時30分～午後3時00分

会場：飯田市公民館

参加人数：20名

参加者：

〔アドバイザー〕南信州温暖化防止推進委員：今村良子氏、まちづくりカンパニー：三石秀樹氏、山法師：平澤和人氏

〔公民館〕飯田市公民館学習支援係：堤幹雄係長、飯田市公民館学習支援係：板倉聖二主事、羽場公民館：鈴木勇氣主事、竜丘公民館：熊谷隆幸主事、川路公民館：小島一人主事、三穂公民館：下平一博主事、鼎公民館：大澤兼正主事、上村公民館：村澤勝弘主事、座光寺公民館：内山秀治主事、下久堅公民館：長谷川裕介主事、

〔地球温暖化対策課〕山崎学主事

〔環境省 中部環境パートナーシップオフィス（EPO中部）〕新海洋子チーフプロデューサー、太田黒周協働コーディネーター、三島智斗世協働コーディネーター

〔事務局〕南信州おひさま進歩：原亮弘事務局長、森岡克俊、小室勇樹

●次 第 ・ 検 討 内 容

内 容	対 応
[山法師 平澤氏] 今回環境省の予算がついたが、各企画を実行していくには、会場や消耗品などの費用が必要になってくる。それについてどのくらい支援してもらえるのか、明確にしていかなければ、企画が具体的に進まない。 環境学習といっても範囲が広い。今回の事業は、環境ビジネスの取組だけで良いのか。また、海外の先進事例など学んでコミュニティービジネスを進めていくのは良い事だと思うが、事業になるまでには10年かかる、公民館はどこまで関わっていくのか。 [まちづくりカンパニー 三石氏] 環境省の予算がついたのであれば、執行していかなければならない。予算執行について南信州おひさま進歩で分かりやすくしてほしい。 子供はともかく大人になってくると環境では人が集まらない。楽しいとか、生活に得になるという方向で学習を行ってもらいたい。 [南信州温暖化防止推進委員 今村氏] 公民館での環境学習の取組は第一歩、公民館の年間スケジュールは4月から始まっているので主事さんたちも四苦八苦すると思う。時間のない中で、具体的に講師・日時・金額など、具体的な密な計画を立てていかないといけない。 [環境省 中部環境パートナーシップオフィス (EPO中部)] 講座を作る上で人が集まるのが課題。 環境省としても公民館活動を重視しており、そこに環境を取り入れることに大きく期待し	→各地区公民館で開催する講座は、一企画3万円程度で予定しています。 →地域の市民活動と一緒に環境教育ができるような取組を目指していきたい。 [公民館 堤係長] 公民館での自然学習等は、今まであったが温暖化防止については、なかなかできなかった。飯田市の方針や公民館活動の課題として温暖化防止のテーマがあるので、今年をきっかけとして単年度だけで終わらせないで、2年3年先地域に根付いていくものにしていきたい。

ている。ただ、肩に力が入るものではなく既に地域にある活動から始め、公民館として地域を巻き込んでいてもらいたい。

●今後の予定

第二回検討会 平成25年10月下旬から11月上旬（中間報告）

第三回検討会 平成26年2月中（最終報告）



●第1回検討会で地区公民館から提案された企画案

羽場公民館 鈴木勇氣主事

曙友会（羽場財産区管理）との森林整備事業

○期日：未定

○場所：未定

○対象：財産区管理曙友会

○内容：羽場地区の特長のひとつである財産区管理を行っている曙友会であるが、その活動を広くPR出来るような試みを検討したい。

探鳥会に併せた学習会

期日：10月～11月

場所：野外

対象：飯田西中学校

内容：平成16年から始まった公民館主催の探鳥会との連携した試みを検討したい。

文化祭でのブース設置

期日：11月上旬

場所：羽場公民館

対象：全住民
内容：文化祭において、環境に関わる展示や体験コーナーを設置して欲しい。

地域環境権学習会の講演会
期日：未定
場所：羽場公民館
対象：全地区住民
内容：上村地区で実施されている事例を中心に地域環境権の理解を深める講演会。具体的なプランを、南信州おひさま進歩との打ち合わせの中で、決めていきたいと考えております。

上村公民館 村澤勝弘主事

若い衆を対象とした学習会
期日：未定
場所：上村程野地区
対象：地域に住む20代から40代の男女
内容：平成23年度から実施している「若い衆で地域を語らまいか」のメンバー（20代から40代）を対象に、地域にある宝を再確認するために、学習会を開催。前回（平成25年6月23日）は隕石クレーター・中央構造線の学習会・現地見学会を実施。今回「上村小水力発電」について学習会（地球温暖化対策課と南信州おひさま進歩との連携を図りながら）を行い、これからの地域づくりについて考える機会とする。

身近な生活に関する環境学習
期日：未定
場所：上村地区
対象：全住民（できれば奥様）
内容：地球全体の環境を切り口とするのではなく、自分の生活に着目した「節電のコツ」等を切り口に、家庭の知られていないコスト削減方法の学習会を行う。理由・裏付け（数字等で提示）を説明し、参加者が理解したうえで、自ら進んで環境の取り組みを行えるような学習とする。

既存の事業・イベントを絡めた展示
期日：未定
場所：イベント会場（ハイランドしらびそ等）
対象：全住民

内容：当地区で実施している既存の事業（文化祭や運動会、成人式など）に絡め、上村が環境に力を入れている事がわかるような展示や体験コーナーを設置し、住民の環境の意識を高めるきっかけとする。

2 地区合同の講演会

期日：未定

場所：両地区どちらかの会場

対象：遠山2地区住民

内容：上村地区で取り組んでいる小水力発電をはじめ、全市的に取り組んでいる環境の講演会を実施。地域環境権を理解してもらい、環境に関する取り組み、地域づくりを住民主体で行うと捉えるための意識の醸成を図る。

竜丘公民館 熊谷隆幸主事

新川発電所の歴史についての講演会

期日：未定

場所：竜丘公民館

対象：全住民

内容：日本で初の電気利用組合による水力発電が行われた同地区で、地元住民による組合の結成と、水力発電を振り返り、今注目を集める小水力発電をはじめとした再生可能エネルギーの活用を学ぶ講演会とする。単なる環境問題への啓発的な講座や、先進事例を学ぶよりも、竜丘にあった歴史を振り返り、これから取り組もうとしている小水力発電に特化した講座の方が、地区皆さんの関心が高くなると感じている。

カーボンオフセットなどを利用したイベントの開催。

期日：未定

場所：未定

対象：未定

内容：講座としてではないが、カーボンオフセットの活用について、南信州おひさま進歩と検討できたら良いと考えている。

バイオマス事業についての講習会

期日：11月上旬

場所：羽場公民館

対象：全住民

内容：バイオマスの活用についての学習会（森林整備等）→薪ストーブ用の薪が積んである家を、市内でよく見かける。関心が高いのではないかと考えている。

川路公民館 小島一人主事

川路地区学友林活動内での環境学習
期日：未定（１０月頃）
場所：野外（ササユリ生息地）
対象：川路小学生
内容：川路では毎年、公民館と小学校共催の事業で、主として５年生（作業内容等により４年生・６年生を含む）を対象に里山の自然について学習している。県の保護指定植物である「ササユリ」を増やすことを目標として、ササユリのマーキング、森林の枝打ち・間伐、切り出した木材を利用した飯ごう炊さん、キャンプ、沢遊び、その他自然に関する学習を、年間を通して実施。

川路まちづくり委員会環境保全委員会の活動内での環境学習
期日：未定
場所：川路公民館等
対象：環境保全委員を核として、全住民を対象
内容：まちづくり委員会の環境保全委員会では、文字通り地区内の環境に関する取り組みを進めている。しかし、それらの活動は計画に沿った作業をこなすことがメインとなっている。ゴミの分別、水質調査、草刈り等を行う中で、委員が抱えている「環境活動」のイメージを魅力的なものにしていきたい。委員と協働で、地区住民に対する意識啓発の方法を検討したい。

分館を中心とした学習会
期日：未定
場所：川路公民館内の分館
対象：全住民
内容：現在川路の分館ではレクレーションが中心であり、学習活動のような動きはない。そこで、生活に密着した分館単位での学習会を、分館役員とともに計画できないか。提案として、川路には川路メガソーラーや天竜川総合学習館かわらんべなどの施設があるが、一方で地区住民の中には「環境」という視点があまり見られないのが現状である。

下久堅公民館 長谷川裕介主事

ひさかた和紙の活動を通じた環境学習
期日：未定（秋から冬にかけて）
場所：下久堅公民館 または 和紙原料栽培地
対象：全住民
内容：当館で行っている「ひさかた和紙保存伝承事業」は、原料の栽培から和紙の生産まで行っているため、地域資源の保存のみならず環境的側面を持っているといわれている。しかし、実際には環境的側面をあまり意識されないまま事業を行っているため、学習を通じて環境的側面についての理解を深める機会としたい。

下久堅地区文化祭での展示
期日：3月2日（日）
場所：下久堅小学校
対象：全住民
内容：当館で行っている「下久堅地区文化祭」にて、展示・体験ブースを設置し、住民が環境について考えるきっかけづくりを行いたい。

第三章 地域の特徴を生かした地区公民館との協働取組

a 上村地区のとの協働取組

(1) 上村地区の概要

平成17年10月に飯田市に合併された地区で、人口が489名（H26.1月末現在）下栗地区は『日本のチロル』と呼ばれる。現在、程野地区を流れる小沢川で小水力発電事業を視野に入れた動きがあり、市は4月に施行した「再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例」に基づく再生エネ資源を市民が優先的に活用できる「地域環境権」の活かしたまちづくりを導入していこうと取組を進めている。また上村地区公民館では地区の若者を集め、まちづくりについて議論する「若い衆で地域を語らまいか」という集まりがあり、市民の主体的な動きに発展できるよう取り組みを行っている。

(2) 上村地区公民館との協働プロセス

内 容	対 応
案件：上村公民館打合せ（第一回） 参加者：[上村公民館] 村澤主事 【南信州おひさま進歩】 小室 【省エネ講座】 省エネの講演会を行いたい。ついては、9月2日（月）から5日（木）までの週、9月9日（月）から13日（金）までの日程で進める。対象を家計を預かる女性奥様向けの講座とし平日の夜に行う。	→講師の方を決め、日程を調整する。
【地域環境権の学習会】 上村では、若い衆を集めた学習会（若い衆で地域を語らまいか！という名称）を行っている。この次回のテーマを地域環境権とするの はどうか。 「若い衆で地域を語らまいか」は20代～40代の学習会であり、今年6月に4回目を実施した。10月12日（運動会）以降の土日を検討したい。	→温暖化対策課とも内容を相談の上、講師として依頼。
【文化祭】	

上村の文化祭（１０月最終週あたり）に環境展示を行う。その中で環境クイズを飯田ＯＩＤＥ長姫高校の生徒と協働で行う。	→公民館に飯田ＯＩＤＥ長姫高校との間に入っていて、今後調整していく。
省エネ講座の講師 遠峰徹氏 講師依頼 【南信州おひさま進歩】小室 「みんなの環境学習講座」と題した、地域活動と環境学習を合わせて進めていこうという試みの中で省エネ講座を取り入れたい。 -----以下、概要----- ・上村公民館：（対象）家計を預かる女性向けの講座で、家計に優しく省エネのコツを学べる講座希望 日程：１０月２日（月）から５日（木）までの週、９月９日（月）から１３日（金）あたり。 実施回数はそれぞれ１回の予定ですが、好評であればその後検討。	【省エネアドバイザー】遠峰徹氏 昨年から家庭向けの省エネ講習会は何度か行っている。今までの講習会での概略以下の構成となる→①省エネの背景、②エネルギー消費の実態、③家庭の省エネ構造 講習会の中で“タラレバ省エネ見積”と称して家庭の省エネ事例をピックアップし省エネ余地を見積ることができる。 上村公民館「家計にやさしい省エネ講座」は、９月１２日（木）に実施。

(3) 上村地区公民館とのみんなの環境学習講座の取り組み（省エネ講座）

内容：上村地区の家計を預かる女性向けの講座として「家計にやさしい省エネ講座」を開催。省エネアドバイザーの遠峰徹氏（富士見町在住）を招き、冬にできる省エネ方法の紹介やまだ潜在的に省エネ出来る金額を見積る「タラレバ省エネ見積」などを行い、省エネに対する意識づけを行う。

日時：平成２５年９月１２日（木）

場所：上村コミュニティーセンター

参加：６名

講師：省エネアドバイザー：遠峰 徹氏

スタッフ：上村公民館：村澤勝弘主事

南信州おひさま進歩：小室、森岡

講座時間：午後７時００分～午後８時００分

- ・省エネの背景 温暖化の実態
- ・長野県の家庭のエネルギーの実態
- ・家庭の省エネ構造と対策
- ・家庭の省エネ診断について



(4) 今年度のまとめと今後に向けた課題（省エネ講座）

上村地区の女性向けの講座として、「家計にやさしい省エネ講座」と題した省エネをテーマと講座を開催。女性を対象とした講座であったため、炊飯器の使い方、家族の協力の促し方など生活に密着した質問が上がる。同日に同上村の程野地区で小水力発電事業の説明会があり、参加者は6名と少なくはあったが、口コミで講座の中身が伝わり、「昨日行きたかったけど小水力の話と重なってしまったから行けなかった。また昨日の講座開い欲しい」との声があったと主事の村澤氏から連絡が入る等、住民の方も省エネの事には非常に関心が高いことが分かる。今年度中にもう一度同様の講座を上村地区で行うか続けて協議していく。

(5) 上村地区公民館との協働プロセス（文化祭）

【上村公民館 村澤主事】	【南信州おひさま進歩 小室】
10月20日（日）のかみむら総合文化祭につきまして、プログラムを作成中。10月10日に実行委員会を開き、内容が確定。メールにてプログラムを送付します。 飯田OIDE長姫高校の生徒の参加について、高校の先生と相談していて全員参加すると5名の予定。	→飯田OIDE長姫高校の生徒にクイズの先生役になっていただけるように準備を進めています。 また南信州おひさま進歩のキャラクターである「さんぼちゃん」の着ぐるみも利用したい。

(6) 上村地区公民館とのみんなの環境学習講座の取り組み（文化祭）

題目：かみむら総合文化祭において環境展示と省エネクイズの実施

内容：上村地区の公民館主催のかみむら総合文化祭は地域をあげての文化事業で、住民に馴染みの深い季節の恒例行事である。プログラムには日頃公民館を拠点に活動する団体の学習成果の発表の場として、芸能発表会や展示コーナーなど多彩な内容が並ぶ。

その中で市内の高校（飯田OIDE長姫高校）の生徒と協働で環境のブース展示を行った。

内容は環境や省エネに関するクイズの出題、また省エネ機器の展示説明。

日時：平成25年10月20日（日）

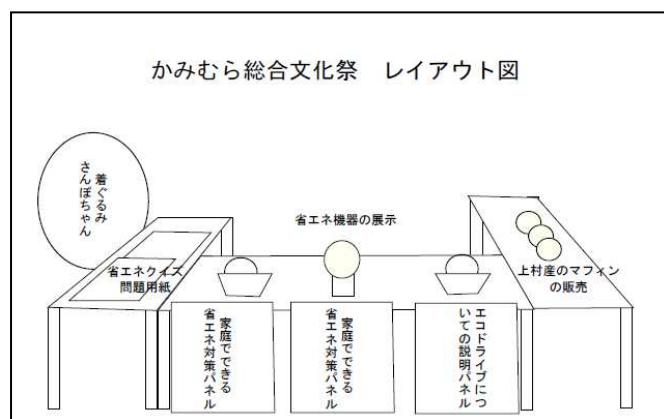
場所：上村小学校体育館

参加：飯田OIDE長姫高校商業科の生徒8名

南信州おひさま進歩：小室、蓬田

講座時間：午前9時00分～午後3時00分

- ・環境問題や省エネに関するクイズ（飯田OIDE長姫高校生徒と協働）
- ・LED豆電球比較実験器やLED・蛍光灯・白熱電球比較実験器、ソーラーカーなどの省エネ機器の展示と説明（飯田OIDE長姫高校生徒と協働）
- ・上村産ブルーベリーを使ったマフィンの販売（飯田OIDE長姫高校生徒のみ）
- ・着ぐるみキャラクターさんぽちゃんの練り歩き（飯田OIDE長姫高校生徒と協働）



(7) 今年度のまとめと今後に向けた課題（文化祭）

文化祭のブース出展として、省エネクイズ、省エネ機器の体験などを実施。飯田OIDE長姫高校の生徒との協働出店となり、省エネクイズや南信州おひさま進歩のキャラクターの着ぐるみ（さんぽちゃん）の利用で飯田OIDE長姫高校の生徒にご協力をいただく。天候はあいにくの雨であったが、約100人程度の来場があり、環境クイズも55枚の回

答数を得た。省エネ機器についても子供や親子づれを中心に多くの方に楽しんでいただきながら、一定の理解を得られたと思う。

b 羽場地区との協働取組

(1) 羽場地区の概要

旧上飯田町の南西に位置し、人口は5, 194名（H26.1月末現在）風越山の湧水である猿庫の泉が有名。また公民館では「曙の里講座」と呼ばれる公民館講座が行われている。

(2) 羽場地区公民館との協働プロセス（文化祭）

内 容	対 応
羽場公民館打合せ（第一回） 参加者：〔羽場公民館〕吉澤館長、鈴木主事 〔南信州おひさま進歩〕小室 【財産区管理の曙友会との連携】 羽場地区の特色でもある曙友会との協働企画を検討。（現在曙友会は西中学校との間伐体験やクリタケのコマ打ち体験、また枝打ちや間伐を行っている。） 曙友会の会合は、次回8月18日（日）9時から曝書（ばくしょ）という書物を日干しにする会と一緒に実施される。 -----以下、概要----- ・曙友会の方々と里山の利用とバイオマス関連の講座を検討。学習会では、地域環境権を絡めながら、地域の歴史を学ぶ。 日程：11月第三週目あたり。 11月2日～3日にかけて文化祭で講座の告知を行う。 -----	→この8月中旬をめどに再度、講座について話し合いの場を設けさせていただく。
羽場公民館打合せ（第二回） 参加者：〔羽場公民館〕吉澤館長、鈴木主事 〔南信州おひさま進歩〕小室勇樹 曙友会を中心とした企画案	

案① 矢作川水系森林ボランティア協議会が実施している「森の健康診断」を提案。 案② 曙友会で管理されている古地図を利用した山林の学習会。（曙友会方が講師）を提案。 2 講座とも良い内容であるので、『①歴史を紐解き、②今の森を知ろう』をテーマとして、連続講座を実施する方向で曙友会に提案する。	→明後日に、館長の方で曙友会の正副組合長に概要について説明。その返答を持って、9月12日の午前10時から再度打合せを行う。
羽場公民館打合せ（第三回） 参加者：〔羽場公民館〕吉澤館長、鈴木主事 〔南信州おひさま進歩〕小室 前回の打合せの際に、「森の健康診断」と「羽場地区曙友会の歴史を学ぶ座学」の連続講座を行うにあたり、曙友会の組合長、副組合長に公民館長から概要についてお話をいただいた結果として、曙友会の正副組合長より時期尚早ではないかという意見が出たということ。	→今週から来週にかけて直接曙友会の正副組合長に話をさせていただく機会を作っていただく。
羽場公民館打合せ（第四回） 参加者：〔曙友会〕栗林組合長、福沢副組合長 〔羽場公民館〕吉澤館長、鈴木主事 〔南信州おひさま進歩〕小室 みんなの環境学習講座の事業説明。 各公民館で実施している講座の紹介。 羽場公民館と協働事業としたい「森の健康診断」と「羽場地区曙友会の歴史を学ぶ座学」の連続講座の提案を行う。	→組合なので取組を行うには組合員の合意が必要。今年度については事業の計画も決まっているので、すぐに取り掛かるのはむずかしい。来年度以降をまた協議していきたい。 ――以下、曙友会取組概要―― ・飯田西中学校の生徒への間伐体験 ・猿倉の泉の管理 ・旭松庵奉賛会の参加 ・旭松庵奉賛会として、以下 ・高鳥屋神社の祭り ・桜地藏管理 ・元山白山神社の管理 ・赤坂庚申塚の管理 -----

(3) 羽場地区公民館とのみんなの環境学習講座の取り組み（文化祭）

題目：羽場地区文化祭において環境展示とソーラーオルゴールワークショップの実施

内容：羽場地区公民館主催の羽場地区文化祭は地域をあげての文化事業で、住民に馴染みの深い季節の恒例行事である。プログラムには日頃公民館を拠点に活動する団体の学習成果の発表の場として、芸能発表会や展示コーナーなど多彩な内容が並ぶ。

その中で「ソーラーオルゴール工作ワークショップ」を今年度新たな試みとして行った。内容は、南信州おひさま進歩スタッフの指導により、ソーラーオルゴールのキットを組み立てるというもの。ソーラー電池、スピーカー、コンデンサー、音源の入ったＩＣチップを基盤上に配置し、はんだ付けで組み立てる。その過程で参加者は、ソーラーシステムの原理を学び、太陽光エネルギーがもつ可能性を体験的に学ぶ機会となった。

また、展示コーナーでは、白熱電球、蛍光灯、ＬＥＤの３つの電球が並べられ、それぞれの熱量、電力量が掲示されている。それを見ると同じ明るさでもＬＥＤの電力量は白熱電球の約七分の一であることが一目でわかり、参加者の省エネ意識を高めた。

日時：平成２５年１１月２日（土）～１１月３日（日）

場所：羽場公民館

参加：南信州おひさま進歩：小室、岡畑、村沢

講座時間：午前９時００分～午後３時００分

- ・環境問題や省エネに関するクイズ
- ・白熱・ＬＥＤ豆電球比較実験器やＬＥＤ・蛍光灯・白熱電球比較実験器やソーラーカーなどの省エネ機器の展示と説明
- ・ソーラーオルゴール工作ワークショップ（太陽電池で動くオルゴールの工作キットを利用）



(4) 今年度のまとめと今後に向けた課題（文化祭）

羽場地区文化祭では、ソーラーオルゴール工作ワークショップを行い、2日間で計17名の参加、環境クイズも96枚の回答を得た。省エネ機器についてもお子さんや親子連れを中心に多くの方に楽しんでいただきながら、一定の理解も得られたと思う。

課題としては展示会場と工作ワークショップの会場が別になってしまったため、つながりをもった展示が出来なかった。来年度以降は、公民館で実施した環境講座の報告と工作ワークショップを同一の会場で行えるよう働きかけを行っていきたい。

c 竜丘地区との協働取組

(1) 竜丘地区の概要

竜丘地区は、人口が6,952名（H26.1月末現在）日本で初めての電気利用組合が住民の力で設立され、約30kWの小水力発電で村内に電気を供給した歴史を有している。

(2) 竜丘地区公民館との協働プロセス

内 容	対 応
竜丘公民館打合せ（第一回） 参加者：〔竜丘公民館〕下平館長、熊谷主事 〔南信州おひさま進歩〕小室 「新川発電所についての講演会」日本ではじめての電気利用組合の歴史を学ぶ講演会を検討。 自然エネルギーをテーマとしたドキュメンタリー映画も上演し、世界の動きと対比させて、住民の方により理解していただく内容を希望。 -----以下、概要----- 「竜丘の電気利用組合の歴史を学ぶ会」（30分） 「映画シェーナウの想い」ドキュメンタリー映画上映（1時間） 質疑応答（15分） 日程：11月25日週で実施 会場：竜丘公民館の大ホール（100席）を予定 -----	自治会の合意が取れ次第、郷土歴史研究家の方へ講師の出演を依頼する。 8月20日に企画委員会で企画案の提示 11月9日文化祭で告知 11月25日の週で歴史を学ぶ講座＋映画上映会を実施予定。

「竜丘の電気利用組合の歴史を学ぶ会」と「映画シェーナウの想い」映画上映について、地域自治会にはかったところ、<u>今年度は別予算で同様の電気利用組合の歴史を掘り下げる講演会が行われる予定</u>となっており、地域自治会としては、年度を通した動きであり一本化したいという結論となった。 (熊谷主事)	→今年度は、<u>残念ながら同様の別事業が既に開催予定のため、行われる地域自治会の講座に参加し、来年度以降を再度みんなの環境学習講座としての協議を行う。</u>
--	---

(3) 今年度のまとめと今後に向けた課題

日本初の電気利用組合による小水力発電事業がなされた土地柄であることから、再生可能エネルギー事業に対する住民意識が高く、住民向けに広くその歴史を学ぶ講座を開こうと考えたが、地域自治会の意向により来年度以降に再度協議を行うこととなった。地区内で自治会を中心とした環境学習に関わる講座は一年を通して行われるので、その講座に参加し、次年度は自治振興センターや公民館とも広く連携できるように繋げていきたい。

d 川路地区との協働取組

(1) 川路地区の概要

川路地区は、人口が1,988名(H26.1月末現在)天竜川西岸に位置し、地区内には室町時代に創建された開善寺の山門が重要文化財に指定されている。又、同じく同地区内の御猿堂古墳から出土した画文帯四仏四獣鏡も重要文化財に指定されている。

(2) 川路地区公民館との協働プロセス (省エネ)

内 容	対 応
川路公民館打合せ(第一回) 参加者：【川路公民館】今村館長、小島主事 【川路自治振興センター】鳴澤氏 【南信州おひさま進歩】小室 【省エネ講座】 環境保全委員を対象にして、省エネの講座を行う。 内容： 通常の省エネ講座と合わせて、将来的にはこの省エネの講座を受けた環境保全委員が、同地区の中で簡易な省エネ診断ができ	→川路自治振興センター鳴澤信彦氏と今後話を進めていく。

るところまで目指していきたい。 -----以下、概要----- 【企画の内容（案）】 内容：通常の省エネ講座に加え、省エネや環境問題の考え方について。 日程：１０月以降～１１月までの間。平日であれば夜の一時間半程度。土日であれば日中でも良し。 ----- 来月中に詳しい企画を落として再度打合せを行う。（鳴澤）	
省エネ講座の講師 遠峰徹氏 講師依頼 【省エネアドバイザー】 遠峰徹氏-【南信州おひさま進歩】 小室勇樹 【南信州おひさま進歩 小室】 「みんなの環境学習講座」と題した、地域活動と環境学習を合わせて進めていこうという試みの中で省エネ講座を取り入れたい。 -----以下、概要----- ・川路公民館：（対象）公民館の環境保全委員会の方（日程）１０月～１１月 平日であ PM 7 時～１時間程度、土日であれば日中に行う。 実施回数はそれぞれ１回の予定ですが、好評であればその後検討。 -----	→【省エネアドバイザー 遠峰氏】 昨年から家庭向けの省エネ講習会は何度か実施している。今までの講習会での概略以下の構成となる→①省エネの背景、②エネルギー消費の実態、③家庭の省エネ構造 講習会の中で“タラレバ省エネ見積”と称して家庭の省エネ事例をピックアップし省エネ余地を見積ることができる。

（３） 川路地区公民館とのみんなの環境学習講座の取り組み（省エネ）

題目：環境保全委員会学習会 家庭でできる省エネ講座

内容：環境保全委員向けの講座として、「家庭でできる省エネ講座」と題した講座を開催。省エネアドバイザーの遠峰徹氏を招き、冬にできる省エネ方法の紹介やまだ潜在的に省エネ出来る金額を見積る「タラレバ省エネ見積」などを行い、省エネに対する意識づけを行う。

日時：平成25年10月29日（火）

場所：川路自治振興センター 大会議室

参加予定：環境保全委員（約12名）

講師：省エネアドバイザー 遠峰 徹氏

講座時間：午後7時00分～午後8時30分

内容：

- ・省エネの背景 温暖化の実態
- ・長野県の家庭のエネルギーの実態
- ・家庭の省エネ構造と対策
- ・家庭の省エネ診断について



（4）今年度のまとめと今後に向けた課題（省エネ講座）

川路地区自治振興センターの環境保全委員向けの省エネ講座として、「家庭でできる省エネ講座」と題した家計と省エネをテーマと講座を開催。参加者は12名であったが女性が2名と少なかった。そのために家庭の省エネに対する質問が出ずに終わってしまった。しかし、環境保全委員の委員長の関島氏からは、来年度は同様の講座を行ってほしいというお話をいただく。今後は環境保全委員の方に直接要望を聞き取るような機会をつくり、さらにニーズに沿った講座に作り変えていきたい。また環境保全委員の新たな活動にしていくためにも一回限りの講座ではなく連続講座として一年を通した企画として作ってきたい。

e 鼎地区との協働取組

（1）鼎地区公民館の概要

鼎地区は1984年飯田市へ編入合併した。飯田市の中心部に位置する地区であり、面積は市内で最も小さく6.2km²であるが、人口は18,594人（H26.1月末現在）

と市内でも大規模地区となっており、人口密度が高い地区となっている。

(2) 県地区公民館との協働プロセス（地域環境権）

内 容	対 応
県公民館打合せ（第一回） 参加者：〔県公民館〕大澤主事 〔南信州おひさま進歩〕小室 すでに年度開始後の提案であるため、年間事業計画内の公民館役員研修会のテーマを「上村地区の小水力発電の進捗状況と地域環境権」とする。 -----以下、概要----- （日程）9月20日（金） （参加）分館長、文化、体育、広報の委員長、体育指導員等約50人～60人。 （場所）県公民館4階 （時間）午後7時～7時20分（中間反省会） 午後8時20分～8時10分（学習会） 午後8時10分～10時（慰労会） -----	→温暖化対策課とも内容を相談の上、講師として依頼。

(3) 鼎地区公民館とのみんなの環境学習講座の取り組み（地域環境権）

題目：公民館役員研修会「地域環境権学習会」

内容：公民館役員に向けた研修会の際し、今年４月に飯田市で制定された新条例「地域環境権」をテーマとして学習会を企画。飯田市温暖化対策課の山崎学氏を講師に、地域環境権の説明と上村地区で進んでいる小水力発電に関する事例紹介を行う。また地元ケーブルテレビ制作の地域環境権を解説する映像（DVD）を見ながら理解促進を図る。

日時：平成２５年９月２０日（金）

場所：鼎公民館４階

参加予定：分館長、文化、体育、広報の委員長、体育指導員等（約５０人～６０人）

講師：地球温暖化対策課 山崎学氏

講座時間：午後７時２０分～午後８時００分

- ・ 飯田市の地域環境権の説明
- ・ 上村地区の取り組み事例（DVD）
- ・ 質疑応答
- ・ 慰労会



(4) 今年度のまとめと今後に向けた課題（地域環境権）

今年度は公民館委員向けの研修会のテーマとして、「地域環境権」を取り上げて実施したが、来年度以降は、環境意識を持たない人も集め、かつ動員ではない講座で参加者同士が地区や環境のことについて考えられるきっかけとなる講座を作っていきたい。また環境衛生委員会など環境に取り組むその他の団体とも協働して企画を検討していきたい。

f 橋北地区との協働取組

(1) 橋北地区の概要

旧市内の北東に位置し、人口は3,321人（H26.1月末現在）地区には寺院など歴史的な建造物が多く点在している。またその歴史的な建造物を利用した橋北イルミネーションフェスティバルなどの試みを行われている。

(2) 橋北地区公民館との協働プロセス（文化祭）

内 容	対 応
橋北公民館打合せ（第一回） 参加者：〔橋北公民館〕野口主事 〔南信州おひさま進歩〕小室勇樹 平成25年度橋北地区文化祭に環境展示を検討。 浜井場小学校へ写真利用について確認する。 太陽光パネルの電源貸しのプランについては、文化祭当日に屋台を取り仕切る男塾というグループに、電源に合うものがあるか確認。 橋北夏祭り 文化祭と同様に、夏祭りについても検討。（さんぽちゃんの出演）	→展示の企画案としては下記について検討 ①橋北地区にある浜井場小学校の生徒がおひさま進歩エネルギー(株)の事務所を社会科学見学で訪問してくれた写真を使ったパネル展示。 ②移動式の太陽光パネル「うごけおひさま君」を飯田市から借用し文化祭で利用する電源の一部を賄えないか検討。 ③環境や省エネに関するクイズを出題し、正解に景品を付け環境意識を高めてもらう。 ④手回し発電機など省エネについてなどが学べる機器を準備し体験してもらう。

(3) 橋北地区公民館とのみんなの環境学習講座の取り組み（文化祭）

題目：橋北地区文化祭において環境展示と省エネクイズの実施

内容：橋北地区公民館主催の橋北地区文化祭は地域をあげての文化事業で、住民に馴染みの深い季節の恒例行事である。プログラムには日頃公民館を拠点に活動する団体の学習成果の発表の場として、芸能発表会や展示コーナーなど多彩な内容が並ぶ。

その中で環境展示コーナーを設け、省エネや温暖化に関するクイズ、可動式の太陽光パネルの展示、また手回し発電機でLED電球と白熱球の使用電力の違いを感じることでできる機器等を使い参加者の省エネ意識の向上を図った。

日時：平成25年6月29日（土）

場所：浜井場小学校

参加予定：南信州おひさま進歩 小室勇樹、田中聡

講座時間：午前9時00分～午後3時00分

- ・環境問題や省エネに関するクイズ
- ・白熱・LED豆電球比較実験器やLED・蛍光灯・白熱電球比較実験器やソーラーカーなどの省エネ機器の展示と説明
- ・移動式の太陽光パネル「うごけおひさま君」の展示



(4) 今年度のまとめと今後に向けた課題（文化祭）

橋北地区文化祭では、環境展示としてブース出展を行ったが、良い場所に配置いただいたため、文化祭に参加の児童など多くの参加を得た。来年度以降は、この文化祭に出店している他の市民団体と協働した環境学習の機会を作り、展示やワークショップなどを実施していきたい。

(5) 橋北地区公民館とのみんなの環境学習講座の取り組み（夏祭り）

題目：橋北地区夏祭りにおいて着ぐるみの練り歩き

内容：橋北地区の夏の恒例行事である橋北地区夏祭りに当法人のキャラクターである「さんぼちゃん」出演

日時：平成25年8月3日（土）

場所：橋北臨時駐車場

参加：南信州おひさま進歩 小室勇樹

講座時間：午後2時00分～午後5時00分

午後2時30分より

（20分程度の練り歩きを1セット×3セット）

（付き添い）野口主事



（6）今年度のまとめと今後に向けた課題（夏祭り）

地区の恒例行事のひとつとして、夏祭りに着ぐるみのキャラクター（さんぼちゃん）出演ということで参加した。今後は環境講座と連動させる形でこの夏祭り等のイベントに出演をしていきたい。また橋北地区には旧飯田測候所という、気象観測をしていた有形文化財の建物があり、地域の中で様々なイベントで活用されているので、その場所を活かし、気象などの環境全般の取り組みと合わせて、さんぼちゃんなどキャラクターの活用も考えていきたい。

第四章 第二回検討会議と中間報告

a 第二回検討会議

●概要

みんなの環境学習講座の目的や方向性を関係者間で共有し、関係者の役割及び具体的な実施方法を検討するための検討会議を設置した。第二回目の検討会として公民館、実施主体の南信州おひさま進歩と検討を行う。

日程：平成25年9月25日（水）

時間：午後1時30分～午後3時00分

会場：飯田市公民館

参加人数：12名

参加者：〔公民館〕飯田市公民館：木下巨一副館長、板倉聖二主事、羽場公民館：鈴木勇氣主事、竜丘公民館：熊谷隆幸主事、川路公民館：小島一人主事、三穂公民館：下平一博主事、鼎公民館：大澤兼正主事、上村公民館：村澤勝弘主事、座光寺公民館：内山秀治主事、下久堅公民館：長谷川裕介主事、
〔南信州おひさま進歩〕森岡、小室

●議事録

〔川路公民館 小島主事〕

- ・川路自治振興センターの鳴沢氏とおひさま進歩とで進めていただいている。
- ・川路の環境保全委員会に、「省エネ」をテーマとした講演会を企画。
- ・今までの委員活動ではなく、環境を前向きにとらえてもらうような新たな活動としたい。
- ・10月29日（火）「家庭でできる省エネ講座」を実施予定。

〔竜丘公民館 熊谷主事〕

- ・竜丘の小水力発電「新川発電所」を学ぶ講習会を予定していたが、自治振興センターと飯田市地球温暖化対策課が協働して「竜丘の歴史に学ぶ地域づくり講演会」を企画。
- ・今年度は別の事業を取得し自治振興センターが主体となり、地域環境権の事業化に向けたワークショップを展開していく予定となっている。
- ・来年度以降、協働取組が出来るか再度検討する。

〔鼎公民館 大澤主事〕

- ・公民館役員に向けた半期に一度「中間反省会」にて「地域環境権」の環境講座実施。
- ・講師は飯田市地球温暖化対策課の山崎氏

- ・一時間弱の講演会を行い、その後交流会として、ジビエ料理のバーベキューを実施。
- ・講習会と交流会を実施。

[下久堅公民館 長谷川主事]

- ・久堅和紙の環境教育の利用ということで、LED照明を使ったランプシェードを使ったワークショップを企画。12月の初旬実施予定。
- ・久堅和紙の取材も合わせて行う予定。

[上村公民館 村澤主事]

- ・家計にやさしい省エネ講座ということで、女性向けの省エネ講座を実施。参加者が6名。
- ・翌日に「もう一回やって欲しい」という声があった。
- ・上村の若い衆を集めた講座の中で、地域環境権の学習会を実施予定。
- ・10月20日（日）かみむら文化祭のブース出展を企画。飯田OIDE長姫高校の生徒と共に環境展示を実施予定。

[羽場公民館 鈴木主事]

- ・公民館長、曙友会正副組合長、主事、おひさま進歩と環境講座が行えるか相談の機会を設ける。その場で、財産区をテーマとして学習講座を行うかは決定し、中止となれば別案。
- ・11月2日～3日は文化祭の出店（ソーラーオルゴール工作教室予定）

[三穂公民館 下平主事]

- ・文化祭（2月初旬）の環境展示を出展予定。

[座光寺公民館 内山主事]

- ・公民館の委員研修にて、「地域環境権」のテーマを進めていたが、委員から今年は別のテーマで研修を行う方向がしめされ、来年度以降再検討。

[橋北公民館 野口主事]

- ・文化祭は浜井場小学校でのブース出展。場所が良かった事もあり、人の集まりや滞在時間も良かった。
- ・夏祭りはさんぽちゃんの知名度もあり、子供を中心に楽しんでいた。

○みんなの環境学習講座『ドイツに学ぶ市民主体の地域づくり』について

- ・声掛けをするにあたって、シンポジウムの内容が専門的に感じられる。
- ・市民主体と言っても環境について関心が高い人、すでに活動を行っている人、市職員が中心となるのではないだろうか。
- ・もし3ヶ年の計画であったとすれば、その最終年に予定されるようなシンポジウムであり、一般の人がドイツの方の名前を見ても分からない。
- ・イベントの意図として、『関心がないひとに関心を高めてもらう』のか、『すでに関心のある人を対象とするのか』で異なる。
- ・このテーマでは、まだ地域が登場してくるという場面が作りづらい。

○2月に予定されているシンポジウムについて

- ・2月に予定される飯田市温暖化対策課主催の「山・里・町のシンポジウム」の日程確認が必須
- ・2月16日（日）「公民館大会」（年/1回イベント）、規模400名～500名、地域の公民館役員が主役。この中で環境を主とした分科会を設けてみるのはどうか。例年で言うと地域を取り巻く課題をテーマとして決めていて、「子供を地域でどう育てるか」「人形劇フェスタをやる意味」「リニアが通る未来」など。
- ・今後分科会で行うかは分科会の担当者（各主事と館長）が決定後にもう一度検討する。



b 中間報告

内容：第二回検討会へ時間の関係上お呼びできなかった協働主体である山法師とまちづくりカンパニーに中間報告として事業の進捗状況について説明を行った。

(1) 山法師からの助言

日程：平成25年10月31日（木）

時間：午後2時00分～午後3時00分

場所：平澤和人氏 ご自宅

参加人数： 3名

参加者： [山法師] 平澤和人氏 [南信州おひさま進歩] 森岡、小室

詳 細
今年度のみんなの環境学習講座の計画が持ち上がったのは、公民館としてすでに2013年度の1年間の計画が終わっている6月であった。このことが今年度なかなか公民館と連携が進まず、講座が中止になっている原因となっている可能性がある。もし来年度もこの講座を行っていくのであれば、飯田市公民館や地区公民館とこの11月から12月に話しておく必要がある。（この期間に一年間の実施するサイクルが決定してしまうため。） また環境学習にとどまらず、太陽光パネルを付けたり、薪ボイラーを導入したりなどの実際の行動にまでつなげようとするのであれば、環境保全委員会を中心に話を進めていくのも面白いと思う。また公民館であれば、文化委員が面白いと思う。公民館は、スポーツ委員、文化委員、広報委員というように分かれているが、文化委員を「環境文化委員」というようなイメージで対応できないか検討してもらうのはどうだろうか。 今年度は、あいさつ程度の活動になってしまったが、アイディアとしては、「連続講座」を考えてみると良い。今年度の様に分散していろいろな地区で行うのも良いが、りんご庁舎などを借りて「自然エネルギーをとことん学ぶ講座（12回）」というように、この連続講座に参加すると自然エネルギーのすべてのことが網羅できるという風なふれこみで行ってみるというのはどうだろうか？ また新条例の絡みでやるとすれば、大きな話ではあるが、各分館単位で持っている区民センターの屋根を使うと、いくら投資して、その投資金額は何年で回収して、どれくらいの利益が生まれるのか。またどのような種類のリスクが発生するのか。その分かりやすく説明していくキャラバン隊のような各地区をまわっていくような活動を行ってみるのも面白いと思う。題して「一地区一エネルギープロジェクト（仮）」

(2) まちづくりカンパニーからの助言

日程： 平成25年12月11日（月）

時間： 午前10時00分～午前11時30分

場所： まちづくりカンパニー

参加人数： 3名

参加者： [まちづくりカンパニー] 三石 秀樹氏 [南信州おひさま進歩] 森岡、小室

詳 細
環境の意識が行政に行き届いているとは言い難い。 公民館で年に一回は環境活動で何か行動するというような行動指針の様なものを示してい

くことも必要かもしれない。

ドイツの講演会では、林道の違いが顕著。オーストリアの事例も参考になるかもしれない。木材の搬出では、最近チェーンソーのエンジンを使って、簡易的なウインチを作っている会社もある。

木質バイオマスの楽しさをどのように伝えていくかも今後の課題。

針葉樹（燃焼時間が短い、着火が良い）

広葉樹（燃焼時間が長い、着火が悪い）

組み合わせで焚くと良い。

ランプシェードのワークショップの成果品だが、エコハウスを使って展示会をやると良い。またエコカフェというエコハウスの講座も行っているので、そのあたりも使うと良い。合わせてエコカフェ通信や広報いいだでも広報活動を行っているので、連系できる部分はある。

第五章 市全体の講演会（ドイツに学ぶ市民主体の地域づくり）

a ドイツに学ぶ市民主体の地域づくり 講演会の概要

(1) ドイツに学ぶ市民主体の地域づくり講演会の目的

ドイツでは市民主体の組合による再生可能エネルギー事業が盛んに行われている。そうした、先進地ドイツの「再生可能エネルギーと市民の関わりを聞こう！」をテーマにドイツから講師を招き、市民主体の再生可能エネルギー事業や環境問題と地域の活性化対策をどう両立するかなどを学ぶ企画。また飯田市の「再生可能エネルギーの導入による持続可能な街づくりに関する条例」の説明や条例を生かした今後の取組の可能性について紹介する。

(2) ドイツに学ぶ市民主体の地域づくり講演会の実施過程

飯田市地球温暖化対策課や講師との協議

ドイツへの先進地視察等でドイツ講師と繋がりのある飯田市地球温暖化対策課と、環境先進地から講師を招いた講演会を通じて「飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例」のその先の具体的なビジョンを市民に映し出せないか検討した。

日程：平成25年7月10日（水）

時間：午後1時30分～午後2時30分

会場：飯田市地球温暖化対策課

参加人数：4名

参加者：〔地球温暖化対策課〕小川博係長、山崎学主事

〔南信州おひさま進歩〕森岡、小室

内 容	対 応
飯田市地球温暖化対策課と打合せ 参加者：〔地球温暖化対策課〕小川博係長、山崎学主事〔南信州おひさま進歩〕森岡 小室 ドイツの先進地事例のシンポジウムでは、特に森林整備に特化した形で行うのが良いと思う。松川入財産区周辺の地区など。 木づかいネットワークや製材所、森林組合などにも声をかけて、県の地方事務所滝沢さんから飯田市林務課にも話を通して行った方が良い。	→直接事業化に向けた限られたひと向けではなく、間口を広く事業についても知ってもらえる機会としたい。その機会を使って興味を持たれた方がおられれば、合意形成のワークショップ等に誘導するようなつながりができればよい。

実際の講座の実施はいつごろからになりますか？ 主事の方の想いを実現するようなやり方が良いように思います。やりたいことに対して課題が掘り下げられるような中身に。 2度目のシンポジウムは公民館大会と合同で考えても良いかもしれません。	→早くても8月。実質9月くらいになると思います。新条例の話でもお願いすることになるかと思います。
ドイツ講師 池田氏との折衝 参加者：[SSS] 池田氏 [南信州おひさま進歩] 森岡 当団体は、飯田市の公民館と協働で先鋭的な取り組みや環境について、学ぶ機会を設けることにより、地域住民が主導して、環境・エネルギーに関する新たな活動を生み出し、各地域で環境学習が定期的に行われていくことを目指しています。今回は、その一環としてドイツにおける再生可能エネルギーやバイオマスをテーマに講演会の開催を検討しております。 ○日程 10月25日（金） ○内容 市民による再生可能エネルギー事業や市民エネルギー組合の現況 木質バイオマスエネルギー 欧州の過去20年間の発展の経緯などを検討中 ○イベントの形式 約2時間の講演会形式で講師3名程度 飯田市の一般市民や事業者（100名規模）が対象	→飯田市で、やる気のあるみなさんとお会いできる事はとても嬉しく思います。招聘していただけること大変感謝します。 講演内容、報酬、経費の案に関して、ランゲ、シュヴァルツ、池田とも、異存ありません。 今後の調整の方よろしくお願い致します。 （池田氏）

地球温暖化対策課 講演打合せ 参加者： [地球温暖化対策課] 小川博係長、 山崎学主事 [南信州おひさま進歩] 森岡 小室 飯田市の条例の話を中心にしない方が良い。 質問として ×ダメな質問 「バイオマスのコージェネレーションはどうやってもうかるの？」 ○良い質問「日本では普通に町が片付いているし、ごみを捨てたりしない」 市民出資に参加している普通のおじさんの話。 普通に呼吸するように自治が行われている話が良い。 「ゴミを捨てない文化を中国の人にする」（日本→中国 マナーの話） 対比として（ドイツ→日本 バイオマスの話） 「山に何ができるかな」「投資をしてみようかな」「まきストーブに替えてみよう」 「第二部の初めに事例紹介をやると盛り下がる」ドイツの皆さんの常識がこちらでは驚きです。等身大の話で。 Q、講師と地域とのかかわりについて聞いてみたい。	→当初、検討次第を大幅に変更する →ドイツの当たり前（等身大）の話を 講師に依頼
--	--

(3) 実施内容

進行 小室（南信州おひさま進歩）

【第1部】

① 挨拶 原（南信州おひさま進歩）

- ・市が条例制定したことで、再生可能エネルギーの普及が推進することを期待する。
- ・今回は、女性の参加者が多い。とても、うれしいことである。

②講師紹介（抜粋）

スマートサステイナブルソリューションズ(株) ※会社概要は参考資料参照

- ・長友孝文 代表取締役
- ・池田憲昭 取締役
- ・トアステン・シュヴァルツ氏（再生可能エネルギーコンサルタント）

- ・ミヒャエル・ランゲ氏（ドイツシュバルツヴァルト地域ビーダーバッハ村在住森林官）

③「ドイツにおけるボトムアップによる再生可能エネルギー事業」シュヴァルツさん

- ・ドイツの再生可能エネルギーの取り組み・活動がどういう意味をもっているかを説明するためにきた。市民主体の再エネ事業をコンパクトにまとめて説明する。

（再生可能エネルギー事業における投資は誰がするのか）「市民出資」であり、最も多い。

- ・個人の人が、再エネ事業の投資家になっていて、エネルギー生産に関わっている。
- ・市民が会社を作って送電線を買収したり、市民共同で会社を作って、売電事業を始めるなどの新しい動きがある。（再エネ事業の市民理解度）
- ・まず、個々の市民が太陽光パネル自宅へ設置した。→プライベート設置のキャパシティがなくなった。→新たな場所を探し始めた。再エネフィーバー！→1人設置ではなく、共同で設置するようになった。市民が一緒になり、個々でできないものに対応し、事業規模が拡大した。
- ・太陽光にしろ、風力にしろ、景観を大幅に変える開発行為であるということ。景観がかわることで地元住民は納得しない。しかし、地元住民が利益を受ける人になれば、容認することになる。つまり、市民を勝ち組にすることになる。（新しい傾向として）

④「木質バイオマスエネルギー欧州での発展の経緯と日本へのメッセージ」

ランゲ氏

- ・ドイツと日本で重要なバイオマスは木である。ドイツでは30%、日本では60～70%の森林割合があり、日本はドイツの2倍の面積がある。森林に限定して話をすすめる。

- ・森林がエネルギー問題の解決になりえるのか、がポイント
（現状）

- ・過去に成長量以上に木を切ってしまったことも原因であるが、これは内部事情。

（マテリアル利用の例）

- ・パルプ、アーティクル利用が主なもの。
- ・ドイツのイエメンで、木質プラスチックについて、かなりの研究費を投入して研究している。バイオプラスチックが、プラスチック原料として注目されている。日本でもぜひ研究をしたらいい。

（エネルギー利用の例）

- ・まき、ストーブ、バイオマス発電、ペレットによる1kw以下のローカル発電など。

（木質バイオマス発電所の設置数）

- ・2004年をピークに発電所設置が急激に増え、その後減少している。

- ・森林の成長率が供給量を超えた。付加価値の高い製品をうむマテリアル利用に使う木材材料は高くても成り立つ。それに比べ、エネルギー利用の木材材料（燃料）は、単価が安くないと経営に見合わない。結果、木材価格が上がり、バイオマス発電の材料が集まらなくなり、倒産するケースが相次いだ。

- ・バイオマス発電建設により、電力問題は解決したのか。→解決していない。

（マテリアル利用における雇用）

- ・ドイツの森林従業者は132万人。自動車産業75万人。
- ・森を守ることは、雇用を生み出している。

（木材のカスケード利用）

- ・以下のイメージで木材を使うことが、正しい利用方法と考える。

楽器、家具→建築材→パーティクルボード→紙・ダンボール→エネルギー

（持続可能な森林づくりのために）

- ・ドイツでは、森林に道を作った（日本の例として、北海道鶴居村、岐阜県高山市など）
- ・日本は過去に、急斜面に木を植えた人たちがいる。女性も植えてきた。森に敬意をもっている。その大切な木をエネルギー利用のために燃やしてほしくない。燃やしてもエネルギー貢献は少ない。
- ・森林管理の側面ではなく、多機能森林業を目指してほしい。

「意見質問」

Q長野市）ドイツのエネルギー組合は、顔が見える範囲というが、具体的にどれくらい。

→村とか、町とか。50～500人くらいまでの組合員。だけど、500人以上でも活動できる組合もある。個々の組合を束ねて、共同出資という形もある。大きなプロジェクトは、高い効果を生み出すので、組合員のモチベーションもあがる。

Q）屋根を借りることもあるのか。

→最初は個人で自宅に取り付ける。農家の屋根に共同で30kW設置したり、公共施設につけるようになった。将来のために、子どもや孫のためにという意識が強いため、共同出資となった。

Q上田市）太陽光発電組合などをやりたくても、お金を集めるスキルがない、ノウハウがない。ドイツでは、お金をどうやって集めたのか。

→ドイツでも、ビジネスのノウハウを持っている人が勇気をもって始めた。周りの人はじっと観察していた。そして、ねたむようになる。自分もやりたいというふうなモチベーションが生まれた。モチベーションがあると自ら学ぶ。ノウハウが蓄積される。

- ・それと、能力の高くいいコンサルがいたことが成功の要因（シュバルツ氏を指さす）

- ・ リスクを過小評価して、失敗した事例もある。
- ・ 重要なことは、核となる人の「モチベーション」そして「将来にわたるビジョン」である
- ・ 事業実施にあたり、自己投資と外部資金の活用がある。銀行から融資を受けるということは、いくら素人の市民であっても、交渉が必要となる場面がある。しかし、地球を救いたいというモチベーションや、地域の雇用を生みたいという熱意があれば、大丈夫。
- ・ コンサルをしたいという人がいたら、批判的にみて。ホントに自分たちを助けてくれるのかという思いがあるかどうかを見極めてほしい。

【第2部】 長友コーディネーターによる意見交換

事前にいただいた質問やこの場でいただいた意見・質問により意見交換を行なった。

Q事前質問) バイオマスに必要なものはなに？

→道が大切。道は投資であり、土台である。日本は木を出すための道である。ドイツでは、何回も使う道。森を作るために必要な道。地域経済に必要なものである。

Q一般) 林務行政にも携わり、山持ちでもある。意見として。日本の木材自給率は2割を切る。かつてはお風呂や台所で薪を利用していた。日本も森と一緒に歩んできた。

→ドイツの伝統的な森林利用と間違った過剰な消費が問題である。ドイツの助成政策によりバランスが崩れたことが問題。ドイツの過ちを豊かな森林をもつ日本にしてほしくない。

Q大学生) 太陽光の設置場所について質問。新たな場所でのメガソーラー、農地利用のソーラーなどをどう考えるのか。

- ・ 知的で継続的な土地利用を検討してほしい。たとえば、ソーラーを架台設置して、下で羊を飼うなど。
- ・ 場所によっては、何が優先なのか。土地利用に優先順位をつけてほしい。
- ・ 大切なのは、エネルギーのポテンシャル調査。数値で可能性を示すことが、重要。

まとめ

- ・ 日本の森林面積は、ほとんど変わらないので気づかないが、世界では東京の24倍程度の面積が、年々減少している。
- ・ 日本の林業従事者の25%が65歳以上である。担い手不足は、目の前にある。
- ・ 日本には、ドイツ同様に自給率100%のポテンシャルがあるので期待している。
- ・ バイオプラスチックなど、木からできる。ぜひとも、研究してほしい。
- ・ ある会議で、エネルギー利用でもマテリアル利用でも、木材価格が上がるのなら結

果いいのではないかと意見がだされたが「会社が続くまでは」と即答した。F I T 価格は上がらない。材料が高騰すると仕組みが成り立たない。

- ・ 日本では、戦後造林により、伐期する時期となる。先代が何を残してくれたのかをよく理解して、継続可能な環境を残すべきである。

【飯田市新条例の説明】（地球温暖化対策課 田中課長補佐）

- ・ ドイツと同じ方向を向いていることを理解した。
- ・ 地域住民が自らやるということがポイント。



講演の様子



講演の様子



地球温暖化対策課説明



市民からの質問

(4) 今回の講演会のまとめと今後に向けた課題

「環境・自然エネルギー」をテーマとした会としては、飯田市内はもとより県内外から満席に近い参加者を得ることができ成功といえる。ただ、一方で専門家の集いとなってしまい、目的であった一般市民を対象とした公民館の講演としては、企画内容や参加者に課題が残る結果となってしまった。

やはり「環境・自然エネルギー」というテーマを全面に出した講演は、専門的で市民が

らは縁遠く映ったのではないだろうか。今後こうした企画をするにあたり、公民館を対象とした市民が、身近に感じ興味を持ちやすい物にしていくかが重要であると感じた。

ともあれ、ドイツを始めとする環境先進地では、中山間地域で太陽光発電や森林からのマテリアルが当たり前のように利用され、そのエネルギーや経済が地域内を循環している。中山間地域に優位なこうした循環型社会を、市民にどう映し出し理解を深めていくか。また、いかに自然エネルギーの普及や森林整備に繋げて行くか、今後に向けた課題は少なくはない。

第六章 地域の特徴と地区公民館との協働取組（後半）

a 下久堅地区との協働取組

(1) 下久堅地区の概要

天竜川の東側にある地区で、南側は龍江地区、北側は喬木村。人口は3,128名（H26.1月末現在）下久堅地区は昔、全村紙漉き成村と言われており、明治の始め頃には、紙漉きが多く農家の貴重な現金収入源であった。しかし洋紙の普及により和紙産業は衰退し、昭和36年の「三六災害」を境に多くの農家が紙漉きをやめ、現在は1軒もない。そんな伝統を地域の貴重な文化として残そうと、市民や公民館を中心に「ひさかた和紙保存会」を立ち上げ、和紙の里として保存活動を展開している。

(2) 下久堅地区公民館との協働プロセス（久堅和紙）

内 容	対 応
下久堅公民館との打合せ 参加者：〔下久堅公民館主事〕長谷川主事、〔南信州おひさま進歩〕小室 下久堅公民館では、「ひさかた和紙保存伝承事業」を行っており、その久堅和紙の環境的側面を講座として検討。 学習会の内容は、環境問題と地域活性化の両面を話せる方をお呼びして講演していただけるのが良い。 ----- ひさかた和紙保存の会は20名程度で80代が中心であったが、現在は新しく3名若い方が中心となって作業を行っている。作業時期は冬が中心。全地区から乾燥機や道具を集めて、再興をはかった。 もともと農閑期に行うものでもあって、寒い時期でないとできない。 トロロアオイも15℃以下でないと粘りが出	→手仕事としての和紙の魅力化と、循環型社会をキーワードとして山や森とのかわりをテーマとした学習会を検討。 →講演者や内容については再度8月に話し合いの場をもつ。 →写真や音声などで記録、取材させていただく。

ない。 現在は小学校との協働事業として卒業証書にも利用している。	
下久堅公民館との打合せ 参加者：〔下久堅公民館主事〕長谷川裕介主事、〔南信州おひさま進歩〕小室 久堅和紙の会としての今年の目標は和紙の商品化であるので、関連した企画を希望。	→問題は、和紙と環境教育にどのようなつながるか。①矢作川で実施されている「森の検討診断」のプログラム、②和紙を利用したランプシェード制作ワークショップ、③和紙の商品の販売促進ツールを制作しその際に地域の環境について学習するプログラムを提案。

(3) 下久堅地区公民館とのみんなの環境学習講座の取り組み（久堅和紙）

題目：「ひさかた和紙講座 和紙でランプシェードを作ろう！」ワークショップ

内容：下久堅といえば和紙というほど、「ひさかた和紙」は下久堅地区の特色ある伝統文化となっている。事業を通じて、伝統文化の継承と環境学習と両方に触れることができる講座を作っていきたいということから、ひさかた和紙の会の要望と合わせながらメニュー開発を行った。その結果「ひさかた和紙講座 和紙でランプシェードを作ろう！ワークショップ」を行うこととなり、講師を、ひさかた和紙保存会と南信州おひさま進歩スタッフにより行うこととなった。内容は、久堅和紙を土台となる風船に貼り合わせていき、その過程で久堅和紙の他に、落ち葉や色紙などを混ぜ合わせながらランプシェードの形に作っていくもの。参加者にはまず工作に取り掛かる前に、久堅和紙がどのような歴史背景を持っていて、どのように製造されているかの説明を聞き、地元の伝統文化についての理解を深める。またLEDにまつわる省エネクイズを参加者全員で行い、白熱電球、蛍光灯、LEDの3つの電球の違いについて楽しみながら学習を行った。



(ひさかた和紙講座 和紙でランプシェードを作ろう！試作の様子)

日時：平成25年12月8日（日）

場所：下久堅公民館

参加：南信州おひさま進歩：小室

講座時間：午前9時00分～午前11時30分

講師：

氏名	所属	肩書き
平岩氏	ひさかた和紙保存会	会長
小池氏		事務局長
三石氏		
小室	南信州おひさま進歩	

午前9時00分～ 下久堅公民館館長 松本氏 挨拶

午前9時05分～ ひさかた和紙保存会 小池氏 久堅和紙の説明

午前9時15分～ LEDについてクイズ大会

午前9時20分～ ランプシェードづくり

午前11時15分～ 集合写真 片づけ



(ひさかた和紙講座 和紙でランプシェードを作ろう！ワークショップの様子)

(4) 下久堅地区公民館とのみんなの環境学習講座の取り組み (久堅和紙)

題目： ひさかた和紙 ランプシェード展 (エコハウス)

内容：「ひさかた和紙講座 和紙でランプシェードを作ろう！ワークショップ」で制作したひさかた和紙のランプシェードを使って、ランプシェードの展示会を企画。また中間報告で、株式会社まちづくりカンパニーの三石秀樹氏にこのひさかた和紙の展示会を検討していると相談をしたところ、エコハウスを利用できるという話をいただき、この展示会実施が決定した。

- ・ひさかた和紙講座で作成したランプを展示（LEDランプにてライトアップ）
- ・久堅和紙づくりの行程を写真にて展示
- ・ワークショップ時の写真を展示
- ・久堅和紙の歴史解説

場所：信州飯田エコハウス（飯田市２１世紀環境共生型モデル住宅）

期間：平成２６年１月１４日（火）～１月２１日（火）まで



（ひさかた和紙で作ったランプシェード展示の様子）

（５）今年度のまとめと今後に向けた課題

地域の伝統文化である「久堅和紙」の原料である楮は、生産が盛んだった昔から里山に自生しており、現在は荒廃しているものの、整備していけば利用可能な状態として残っている。地域の身近な里山などの環境を知り、また合わせて伝統文化も知るという形は、みんなの環境学習講座の形として新しいプログラムであった。この形を他の９地区でも整えていきたい。また公民館以外に市民組織とも連携を行っていくことも目指すべき方向性として考えており、「ひさかた和紙保存会」と連携し講座を行えたというのも大きな成果であると考えている。

ｂ 座光寺地区との協働取組

（１）座光寺地区の概要

飯田市の最北端に位置する座光寺は、人口は４，６０５名（Ｈ２６．１月末現在）の地区。江戸時代に「座光寺村」という名で成立し、１９５６（昭和３１）年に飯田市に合併された。また座光寺地区は「麻績の里」とも呼ばれ、「文化と歴史の薫る・心豊かに暮らせる麻績の里座光寺」を基本理念として、その実現に向けた取り組みがなされている。

(2) 座光寺地区公民館との協働プロセス（文化祭）

内 容	対 応
座光寺公民館との打合せ 参加者：〔座光寺公民館主事〕内山秀治主事、 〔南信州おひさま進歩〕小室 地域環境権と基礎的な再生可能エネルギー（水力、太陽光以外の再生可能エネルギー）の動向について運営委員向けの講座を作る方向で検討。 地域単位でお金を生み出す仕組みのメニューを聞き、それをヒントに個々の意見を出し合う講座を検討。	→市の温暖化対策課とも相談。
座光寺公民館との打合せ 参加者：〔座光寺公民館主事〕内山主事、〔南信州おひさま進歩〕小室 ・環境講座は、なぜやるのかという声がある。 ・地域の課題として環境という意識がない中で講座をすることは難しい。今年 of 地域環境権をテーマとした講座は中止とする。 ・来年度の実施を検討するためにも一度、運営委員会に来てもらってお話を聞きたい。	
座光寺公民館との打合せ 参加者：〔座光寺公民館主事〕内山主事、〔南信州おひさま進歩〕小室 文化祭（２月１日）の環境展示を検討。	文化祭の出店については、他地区で行っている様子も含めて、ソーラーオルゴールづくりのワークショップ等を提案。

(3) 座光寺地区公民館とのみんなの環境学習講座の取り組み（文化祭）

題目：座光寺地域文化祭において環境展示とソーラーオルゴールワークショップの実施

内容：座光寺地区公民館主催の座光寺地域文化祭は地域をあげての文化事業で、住民に馴染みの深い季節の恒例行事である。プログラムには日頃公民館を拠点に活動する団体の学習成果の発表の場として、芸能発表会や展示コーナーなど多彩な内容が並ぶ。

その中で「ソーラーオルゴール工作ワークショップ」を今年度新たな試みとして行った。内容は、南信州おひさま進歩スタッフの指導により、ソーラーオルゴールのキットを組み立てるというもの。ソーラー電池、スピーカー、コンデンサー、音源の入ったＩＣチップを基盤上に配置し、はんだ付けで組み立てる。その過程で参加者は、ソーラーシステムの原理を学び、太陽光エネルギーがもつ可能性を体験的に学ぶ機会となった。

また、展示コーナーでは、白熱電球、蛍光灯、ＬＥＤの３つの電球が並べられ、それぞれの熱量、電力量が掲示されている。それを見ると同じ明るさでもＬＥＤの電力量は白熱電球の約七分の一であることが一目でわかり、参加者の省エネ意識を高めた。

日時：平成２６年２月１日（土）

場所：座光寺公民館

参加：南信州おひさま進歩：小室、森岡

講座時間：午前９時００分～午後５時００分

- ・環境問題や省エネに関するクイズ
- ・白熱・ＬＥＤ豆電球比較実験器やＬＥＤ・蛍光灯・白熱電球比較実験器やソーラーカーなどの省エネ機器の展示と説明
- ・ソーラーオルゴール工作ワークショップ（太陽電池で動くオルゴールの工作キットを利用）



(4) 今年度のまとめと今後に向けた課題（文化祭）

座光寺地区文化祭では、ソーラーオルゴール工作ワークショップを行い、1日で計18名のご参加をいただき、環境クイズも60回答を得た。省エネ機器についても子供や親子づれを中心に多くの方に楽しんでいただきながら、一定の理解も得られたと思う。環境クイズや省エネ機器の説明場所とソーラーオルゴール工作ワークショップの場所が同一の場所でも公民館の入り口に近い場所であったこともプラスの要因に働いたと考えられる。

c 三穂地区との協働取組

(1) 三穂地区の概要

三穂地区は飯田市三穂盆地に位置し、三穂丘陵と高松丘陵に囲まれ、豊かな自然に恵まれた里である。自然だけではなく、歴史・文化に恵まれた地区でもある。人口は1,531名（H26.1月末現在）少子高齢化が進んでいるが、この一世帯あたりの人数は飯田市のなかで最も多くなっている。つまり、この地区は単身世帯や核家族世帯の割合が他の地区と比べて低く、地域コミュニティとしての基盤が強固に維持されている地域でもある。

(2) 三穂地区公民館との協働プロセス（文化祭）

内 容	対 応
三穂公民館との打合せ 参加者：[三穂公民館主事] 下平一博主事、[南信州おひさま進歩] 小室 文化祭の環境展示を検討。文化祭の中身については、11月文化委員の検討会で内容が決定。その後にご連絡します。（2月9日文化祭）	→他地区で行っている公民館文化祭の様子についてソーラーオルゴールワークショップ等の実施概要の説明。

(3) 三穂地区公民館とのみんなの環境学習講座の取り組み（文化祭）

題目：三穂公民館文化祭において環境展示とソーラーオルゴールワークショップの実施

内容：三穂地区公民館主催の三穂文化祭は地域をあげての文化事業で、住民に馴染みの深い季節の恒例行事である。プログラムには日頃公民館を拠点に活動する団体の学習成果の発表の場として、芸能発表会や展示コーナーなど多彩な内容が並ぶ。

その中で「ソーラーオルゴール工作ワークショップ」を今年度新たな試みとして行った。内容は、南信州おひさま進歩スタッフの指導により、ソーラーオルゴールのキットを組み立てるというもの。ソーラー電池、スピーカー、コンデンサー、音源の入ったICチップを基盤上に配置し、はんだ付けで組み立てる。その過程で参加者は、ソーラーシステムの

原理を学び、太陽光エネルギーがもつ可能性を体験的に学ぶ機会となった。

日時：平成26年2月9日（日）

場所：三穂公民館

参加：南信州おひさま進歩：小室、海部

講座時間：午前9時00分～午後3時00分

- ・ 環境問題や省エネに関するクイズ
- ・ ソーラーオルゴール工作ワークショップ（太陽電池で動くオルゴールの工作キットを利用）



（4）今年度のまとめと今後に向けた課題（文化祭）

三穂文化祭では、ソーラーオルゴール工作ワークショップを行い、1日で計5名のご参加、環境クイズも20回枚の答数を得た。省エネ機器についてもお子さんや親子連れを中心に多くの方に楽しみながら、一定の理解も得られたと思う。次年度以降は、環境展示と同じ場所で一緒に環境学習できる工作ワークショップ等を行い、双方を体験し見学していただけるような環境展示としたい。

d 丸山地区との協働取組

（1）丸山地区の概要

人口は3,693名（H26.1月末現在）羽場地区の北側に位置する、閑静な住宅街の地区。旧長野県立飯田工業高校の跡地に、子どもたちの自由で創造的な遊びや体験の促進・飯田市を象徴する拠点都市公園の実現と充実を目指して、「かざこし子どもの森公園」が作られ2002年4月にオープンした。

(2) 丸山地区公民館との協働プロセス（文化祭）

内 容	対 応
丸山公民館との打合せ 参加者：〔丸山公民館主事〕 牧内主事、〔南信州おひさま進歩〕 小室 丸山地区文化祭の環境展示について、すでに展示場所が決定しており、選択できる時間と場所の枠少ない。（１６時～１７時の枠を検討）	→他地区で行っている環境クイズ・省エネ機器の展示・ソーラーオルゴール工作ワークショップの概要説明。

(3) 丸山地区公民館とのみんなの環境学習講座の取り組み（文化祭）

題目：丸山文化祭において環境展示とソーラーオルゴールワークショップの実施

内容：丸山地区の公民館主催の丸山地区文化祭は地域をあげての文化事業で、住民に馴染みの深い季節の恒例行事である。プログラムには日頃公民館を拠点に活動する団体の学習成果の発表の場として、芸能発表会や展示コーナーなど多彩な内容が並ぶ。

その中で「ソーラーオルゴール工作ワークショップ」を今年度新たな試みとして行った。内容は、南信州おひさま進歩スタッフの指導により、ソーラーオルゴールのキットを組み立てるというもの。ソーラー電池、スピーカー、コンデンサー、音源の入ったＩＣチップを基盤上に配置し、はんだ付けで組み立てる。その過程で参加者は、ソーラーシステムの原理を学び、太陽光エネルギーがもつ可能性を体験的に学ぶ機会となった。

日時：平成２５年１１月９日（日）

場所：丸山公民館

参加：南信州おひさま進歩：小室

講座時間：午後４時００分～午後５時００分

- ・環境問題や省エネに関するクイズ
- ・白熱・ＬＥＤ豆電球比較実験器やＬＥＤ蛍光灯・白熱電球比較実験器やソーラーカーなどの省エネ機器の展示と説明
- ・ソーラーオルゴール工作ワークショップ（太陽電池で動くオルゴールの工作キットを利用）

(4) 今年度のまとめと今後に向けた課題

丸山地区文化祭では、ソーラーオルゴール工作ワークショップを行い、１日で計３名が参加、環境クイズも７枚の回答を得た。参加者数としてソーラーオルゴール工作ワークショップ、環境クイズともたいへん少ない数に終わってしまったが、この参加者は、文化祭の

運営委員の方で、そこに向けた一定のPRは出来たものと考えている。またこれを機会として、次年度以降公民館文化祭以外の新たな講座を設けるための一歩としたい。



e 上村公民館との協働取組

(1) 上村地区公民館との協働プロセス（省エネ講座）

内容	対応
上村公民館との打合せ 参加者：〔上村公民館主事〕村澤主事、〔南信州おひさま進歩〕小室 第2回目の省エネ講座について、1月から3月の間で、検討する。	→日程の調整とチラシ作成を行う。

(2) 上村地区公民館とのみんなの環境学習講座の取り組み（省エネ講座）

内容：上村地区の家計を預かる女性向けの講座として「家計にやさしい省エネ講座」と題した省エネ講座を開催。講師として第1回目同様、省エネアドバイザーの遠峰徹氏を招き、冬にできる省エネ方法の紹介やまだ潜在的に省エネ出来る金額を見積る「タラレバ省エネ見積」などを行い、省エネに対する意識づけを行う。

日時：平成26年1月25日（土）

場所：上村コミュニティーセンター

参加：7名

講師：省エネアドバイザー：遠峰 徹氏

スタッフ：上村公民館：村澤主事

南信州おひさま進歩：小室、牧内

講座時間：午後7時00分～午後8時30分

- ・省エネの背景 温暖化の実態
- ・長野県の家庭のエネルギーの実態
- ・家庭の省エネ構造と対策
- ・家庭の省エネ診断について



(3) 今年度のまとめと今後に向けた課題（省エネ講座）

身近な環境問題として家庭の省エネに焦点を当てた講座を上村地区では2回実施した。狙い通り地区の女性に多く参加していただき、すぐに実践できる省エネのコツについて講師の遠峰氏に講演いただいた。参加者からも「生活の振り返りになるので、同じような内容で最新の情報や季節に合わせた内容で定期的を開催していただきたい」などのコメントをもらい、ぜひ次年度以降も開催していきたい。今後に向けては、年間を通した連続講座や、環境家計簿の活用、また子供向けの省エネ講座として、夏休みの自由研究向けに家庭の省エネ講座を活用したりなど、家族の全体に対しての省エネの普及に努めていきたい。

f 羽場公民館との協働取組

(1) 羽場地区公民館との協働プロセス（省エネ講座）

内容	対応
羽場公民館との打合せ 参加者：〔羽場公民館主事〕 鈴木主事、〔南信州おひさま進歩〕 小室 他地区同様、身近な環境講座として「省エネ講座」を検討。内容については省エネのコツを多く解説した実践型の講座とする。また質問が活	→日程について調整しその他チラシについてなど準備します。

発に出やすいようにカフェの雰囲気をつくる。 日程として1月20日～24日の間で調整。	→環境委員向けに、事前質問用紙と電気量のお知らせを使って1年間の電気使用量のグラフを記してもらい呼びかけを行う。
--	---

(2) 羽場地区公民館とのみんなの環境学習講座の取り組み（省エネ講座）

内容：羽場地区の鈴木主事より省エネ講座を行いたいとの要望を受け、上村公民館、川路公民館で行っている省エネ講座を基本として、どの程度次年度に繋がる取組が出来るか検討を行う。まず環境委員向けに呼びかけを行うために、「電気料金のお知らせ」を使い家庭が一年間にどの程度の電気を使用しているかグラフに落とせる表を作成。環境委員に配布し省エネ講座実施前に記載し持参してもらい試みを行った。講師として、省エネアドバイザーの遠峰徹氏を招き、冬にできる省エネ方法の紹介やまだ潜在的に省エネ出来る金額を見積る「タラレバ省エネ見積」などを行い、省エネに対する意識づけを行う。

日時：平成26年1月24日（金）

場所：羽場公民館

参加：8名

講師：省エネアドバイザー 遠峰 徹氏

スタッフ：羽場公民館 鈴木主事

南信州おひさま進歩 小室、牧内

講座時間：午後7時00分～午後8時30分

- ・省エネの背景 温暖化の実態
- ・長野県の家庭のエネルギーの実態
- ・家庭の省エネ構造と対策
- ・家庭の省エネ診断について



(3) 今年度のまとめと今後に向けた課題

羽場地区の省エネ講座として、「家庭でできる省エネ講座」を開催。公民館には、省エネ講座として気軽な雰囲気を演出するためにお茶やお茶菓子を準備いただいた。また今回『電気使用量のお知らせ』を用い、年間の電気使用量をグラフに書き込んでいただくなどの試みを行った。環境委員の中でも「電気使用量のお知らせをはじめて見た」という話も聞かれ、現状家庭でどの程度のエネルギーを使っているかを知ることについて、来年度以降は省エネ家計簿などを活用し連続的な省エネ講座についても検討していきたい。

第七章 市全体の講演会（飯田市公民館大会）

a 飯田市公民館大会の概要分科会「環境を学び生かす」

(1) 飯田市公民館大会分科会の目的

飯田市公民館大会は、1年間の公民館活動の成果を確認する機会として、また公民館を取り巻く課題を整理しこれからの公民館のあり方を考える機会として開催している。その中で、今回初めて環境に関する分科会を作り開催するにあたって、テーマを「環境を学び生かす」とし、ごみの分別やレジ袋の削減、また太陽光発電の事業などに取組みを進めてきた飯田市で、地域ぐるみで環境を守り、資源として活用するために何が出来るのか、先進事例を聞き、その事例から学ぶ分科会として企画した。

(2) 飯田市公民館大会の実施過程

内 容	対 応
公民館大会担当者会 参加者：〔公民館〕園原館長（上村）、山口館長（東野）、松本館長（下久堅）、塩澤館長（鼎）大澤主事（鼎）、熊谷主事（竜丘） 〔南信州おひさま進歩〕小室 第4分科会タイトルを「環境を学び生かす」とする。 公民館大会は、2月16日（日） 午後1時00分～午後5時15分まで 基調講演：午後1時00分～午後3時30分 分科会：午後3時30分～午後5時15分 第4分科会のチーフを園原館長（上村）と大澤主事（鼎）とする。 12月に入ったらチラシを作成する。 「環境」をテーマに公民館大会の分科会を行うのは初なので、来年も続くと予想し広い視点の話が良い。	→公民館と南信州おひさま進歩の協働事業の成果もどこかで紹介。

【案】地球温暖化を身近にとらえ直してもらうため、自分の思い出話から地球温暖化について意識してもらうワークショップを検討。

- ①農業（りんご、市田柿）
- ②生活（学校行事、冷暖房、夏の蟬）
- ③子供の遊び（田んぼスケート）
- ④祭り（開催時期 方法）

※未来の予測されている数値などを利用する。

・ 昨年の反省

本大会の基調講演の時間が押して、分科会の時間が無かった。出来る限り参加者に発言の機会を設けたい。

ワールドカフェ形式を検討する。（ワールドカフェとは：“カフェ”にいるようなリラックスした雰囲気の中、参加者が少人数に分かれたテーブルで自由に対話を行い、ときどき他のテーブルとメンバーをシャッフルしながら話し合いを発展させていく手法。）

分科会は40名～80名を予想

組分けは当日行う。

地域環境権の話を少しでも出せないか。（熊谷主事）

最後のまとめの段に事例紹介という形で温暖化対策課にお願いする。

【分科会の進行】

- ① 話題提供 美博学芸員 志形氏や公民館役員 農家の方
- ② 3グループ程に分け、昔の思い出話をポストイットに落としていく。
- ③ 温暖化の対応策 地域で取組めることを話し合う。
- ④ 各グループで話し合われた内容の発表
- ⑤ 地球温暖化対策課から、飯田市全体での鳥

獣害やポイ捨て防止の条例など、市の環境の取り組み全般について話題提供。	
公民館大会担当者会 〔公民館〕園原館長（上村）、山口館長（東野）、松本館長（下久堅）、塩澤館長（鼎） 大澤主事（鼎）、熊谷主事（竜丘） 〔南信州おひさま進歩〕森岡、小室 事例発表者について ・上村の小水力発電の事例について発表 ・みんなの環境学習講座の事例（南信州おひさま進歩）を検討 タイムスケジュール案 全体で午後３時３０分～午後５時１５分まで（１０５分間） 挨拶趣旨説明（１０分） 事例発表① 南信州おひさま進歩（１０分） 事例発表② 上村小水力の事例発表（１０分） 休憩（５分） グループワーク（５５分） ファシリテーターを付けて、席替えを行わず、最後にまとめ作業を行う。 総括として地球温暖化対策課田中氏、山崎氏を検討 ・当日の役割については主事の方で案を決めて次回の会までに示す。 ・次回担当者会は、１月に入ってから日程を調整して行います。	
公民館大会担当者会 〔公民館〕園原館長（上村）、松本館長（下久堅）、塩澤館長（鼎）鈴木主事（羽場）、熊谷主事（三穂）、大澤主事（鼎）木下副館長（飯田	

市公民館) 〔上村地区〕 山口氏、宮島氏、唐沢氏、村澤主事（上村公民館）、山崎氏 〔南信州おひさま進歩〕 原、森岡、小室 事例発表者について ・上村の小水力発電の事例について発表 ・公民館活動から始まったおひさま進歩エネルギー(株)の事例。 事例発表は１０分～１５分から、各３０分に変更。 挨拶趣旨説明（５分）、 事例発表おひさま進歩（３０分）、 事例発表上村小水力（３０分）、 休憩（５分）、 グループワーク（３０分）、 まとめ総括（５分）に変更。 事例発表とグループワークは特別内容を変えずに、事例発表の感想を出し合う場とする。 全体進行：大澤主事（鼎） あいさつ：園原館長（上村） グループワーク①司会：松本館長（下久堅） グループワーク②司会：山口館長（東野） みんなの環境学習講座の報告：木下副館長（飯田市公民館） 総括閉会の辞：塩澤館長（鼎）	
--	--



(3) 実施内容

平成26年2月16日（日）午後1時00分から予定されていた飯田市公民館大会は15日から降り続いた大雪に伴う影響で中止となる。

(4) 今回の学習会のまとめと今後に向けた課題

予定されていた飯田市公民館大会は、中止となり実施することは出来なかったが、公民館大会として初めて「環境」をテーマとした分科会を検討し、担当者会を3回も重ねることができた。この検討を活かし来年度以降のさらなる発展した分科会となることが期待される。

第八章 第三回検討会議

a 第三回検討会議

(1) 概要

概要

みんなの環境学習講座の目的や方向性を関係者間で共有し、関係者の役割及び具体的な実施方法を検討するための検討会議を設置し、これを年3回行う。その第三回目の検討会。アドバイザー、公民館、実施主体の南信州おひさま進歩にて検討を行う。

日程：平成26年2月21日（金）

時間：午後1時30分～午後2時45分

会場：飯田市公民館

参加人数：16名

参加者：[アドバイザー] 南信州温暖化防止推進委員：今村良子様、まちづくりカンパニー：三石秀樹様、NPO法人自然エネルギーネットワーク山法師：平澤和人様

[公民館] 飯田市公民館：木下副館長、飯田市公民館学習支援係：板倉聖二主事、竜丘公民館：熊谷隆幸主事、川路公民館：小島一人主事、三穂公民館：下平一博主事、鼎公民館：大澤兼正主事、上村公民館：村澤勝弘主事、座光寺公民館：内山秀治主事、下久堅公民館：長谷川裕介主事、橋北公民館：野口孝浩主事

[環境省 中部環境パートナーシップオフィス（EPO中部）：前田協働コーディネーター
[事務局] 南信州おひさま進歩：原亮弘事務局長、小室勇樹

(2) 次第・検討内容

- 1、はじめに（南信州おひさま進歩：原亮弘）
- 2、今年度の実施内容の報告・情報共有
- 3、来年度に向けた意見交換
- 4、挨拶（飯田市公民館：木下巨一副館長）

(3) 議事録

[羽場：板倉飯田市公民館主事] ソーラーオルゴールの工作ワークショップとその他の展示が離れていて、その分淋しい感じでした。また省エネ講座については、事前に声掛けをしていない人も来てくれて、環境に関心がある方がいることを知る機会になった。またこれをきっかけで公民館大会の環境分科会に申し込まれた方がいた。環境に対しての関心が高まっている。

[上村：村澤主事] 2回開催した省エネ講座に2回とも参加してくれた方がいた。講師の遠峰先生には、奥様向けの講座として傾向を変えて下さりありがたかった。

次年度に向けて→消防団とか小水力委員さん等既存の枠組みを活用したり、対象を絞るなどしてできる講座もあると思う。

[川路：小島主事] 省エネ講座のスライドの始まりの部分が温暖化のスケールの大きい話であったのが残念。次回以降環境保全委員の会合に参加した上で企画を作ってもらいたい。

次年度に向けて→主事の間だけでもどのような共通認識を持つかということが大切。方向性を一本化できるようにしたら良い。

[鼎：大澤主事] 鼎公民館の役員研修会の事業として実施した。年度開始後の提案であったため、鼎公民館の年間事業計画の中にあつたものでテーマのみを変更する形をとった。

次年度に向けて→広い分野なので、なかなか課題の設定が難しい。強制に近い参加ではない形にもっていきたい。

[三穂：下平主事] ワークショップとクイズの会場を分けてしまったので、次回以降検討が必要。ワークショップの後ろに展示という形が理想。

次年度に向けて→この講座で興味をもってくれた人を、どのようにより興味をもってもらうか、そのプログラムを作ることが大切だと思う。

[竜丘：熊谷主事] 今年度は地域自治会へ一本化ということで、公民館としての動きは無かった。

次年度に向けて→来年度は年度初めから環境委員と公民館とで歩調を合わせてやっていくように話をしている。

[下久堅：長谷川主事] ワークショップは好評で、材料の数の関係でお断りさせていただいた方も出るほどだった。地元の和紙の伝統文化と環境意識を高める良い企画だった。

次年度に向けて→和紙自体が環境に良いアピールにもなる。今年度は工作に重点が行ってしまった面もあるので、次年度以降その点を考えたい。

[橋北：野口主事] 文化祭で利用する電源の一部を太陽光パネルで賄うという企画を考えていたが、電圧の関係で出来なかったのは残念だった。文化祭はメインの場所を使っていたいて、大勢の方にみていただいていたのが印象的。

[座光寺：内山主事] 座光寺の運営委員会は、「地域づくりフォーラム」というのを企画運営

している。このイベントで地域環境権をテーマとした学習会を実施予定であったが、今年度は公民館文化祭の出店に留まった。

次年度に向けて→環境問題の中で何を課題としてよいのかははっきりしていない。環境の学習会を開くことも重要だが、環境の講座を組み立てられる人を育成するような講座をつくと良いのではないかと感じた。

[まちづくりカンパニー：三石氏]純粋な環境の講座は大人よりも子供の方が効果的。大人であれば、得する話や、家庭の実際の状況などを中心に講座にしたら良い。ターゲットを決めて、その層によって調整すること。飯田市の職員の中で環境に関する勉強会というのはあるのか。環境モデル都市を取りに行った時から、市職員の環境に関する知識や情報は受け継がれていない様に思う。

[山法師：平澤氏]環境問題といっても分野が広く、その原因も様々ある。原因をしっかりと理解した上で講座を作っていくようにしなければならない。原因をはっきりさせなければ対策も具体的にならない。

[南信州温暖化防止推進委員：今村氏]生活の中での環境が大切。省エネなど小さなことから始めていくことも重要だと思う。竜丘・東野・橋南などは以前から、連携してごみ問題等に積極的に取り組んでいました。

[飯田市公民館：木下副館長]

地区公民館の主事の中で、もう少し環境に対しての理解を深めるために、環境問題についての学習会を年度初めに実施する。その際に法政大学の白井先生の取組と組み合わせて行えたらと思います。

また環境問題に興味を持った方にさらに学習してもらえるような講座（リーダー養成講座）を地区公民館に任せることなく、飯田市公民館で実施したいと思います。

[南信州おひさま進歩：原]環境文化都市を宣言して17年。飯田市の生活の中に環境が浸透したとはいづらい。市民の環境意識を高めていくためにも、公民館との連携は必要不可欠。今後事業があるない如何に関わらず、公民館との協働は続けていく。

第九章 年間協働取組の実施のまとめ

a プログラムの開発

(1) 地区公民館での省エネ講座

対象	地区の女性向け まちづくり委員会 「環境保全委員」 向け
概要	省エネアドバイザーの遠峰徹氏と協議し、家庭でできる省エネの工夫について分かりやすく解説する講座とした。また広報と同時に、事前質問票を配布し家庭で普段疑問に感じる省エネやエネルギーに関する質問を募集したし、講演会当日に会場にて回答を行った。また環境保全委員向けには、電力会社から毎月郵送される「電気使用量のお知らせ」を使い、記載されている内容から各家庭の1年間の電気使用量を月別にプロットできる表を作成し、講演会に向けた意識づけに利用した。
実施公民館	上村公民館：家計にやさしい省エネ講座（9月12日） 上村公民館：家計にやさしい省エネ講座（1月25日） 羽場公民館：曙講座家庭でできる省エネ講座 川路公民館：環境保全委員学習会 家庭でできる省エネ講座 

参加者募集

無料

「家計にやさしい省エネ講座」

夏の暑さも一区切り。今年の夏も暑かったんですが、実は年間で最も光熱費が大きい“冬”に向けて、省エネしながら、家計にやさしく快適に暮らすコツについて学んでみませんか？

おいしいコーヒーなどを飲みながら、専門家のお話を聞いてくらの知恵を交換する場です。
お気軽にご参加ください。



- 日時：9月12日（木）午後7時～8時
- 会場：上村コミュニティセンター
- 講師：遠峰 徹さん（省エネルギーアドバイザー）
- 参加費：無料
- 持ち物：筆記用具、電卓



チェックシートを使って、家庭で出来る省エネの数々を数字で確認。目に見える形にすることで、年間の削減金額を意識することができます。

【申し込み・問い合わせ】
上村公民館 0260-36-2211（月～金・8:30～17:15）
南信州おひさま進歩 0265-24-4821（月～金・9:00～18:00）

第1回上村「家計にやさしい省エネ講座」9月12日（チラシ50枚・ポスター15枚）

参加者募集

無料

「家計にやさしい省エネ講座」

冬本番を迎え、どんどん寒くなってきました。長野県でもっとも光熱費がかかるのは、実は1月と2月です！！この光熱費が大きい冬ののりきるために、省エネしながら、家計にやさしく快適に暮らすコツが大切です。
専門家のお話を聞いて暮らしの知恵を学んでみませんか？
お気軽にご参加ください。



- 日時：1月25日（土）午後7時～8時30分
- 会場：上村コミュニティセンター
- 講師：遠峰 徹さん（省エネルギーアドバイザー）
- 参加費：無料
- 持ち物：筆記用具、電卓



チェックシートを使って、家庭で出来る省エネの数々を数字で確認。目に見える形にすることで、年間の削減金額を意識することができます。

【申し込み・問い合わせ】
上村公民館 0260-36-2211（月～金・8:30～17:15）
南信州おひさま進歩 0265-24-4821（月～金・9:00～18:00）

第2回上村「家計にやさしい省エネ講座」1月25日（チラシ50枚・ポスター15枚）

羽場公民館

家庭でできる省エネ講座

～身近なところから、省エネ・環境を考えた暮らしませんか～

日時：平成26年1月24日（金）
午後7時～8時30分

会場：羽場公民館 講義室

講師：遠峰 徹さん（省エネルギーアドバイザー）

参加費：無料

持ち物：筆記用具、電卓

申し込み：羽場公民館
NPO法人南信州おひさま進歩

「みんなの環境学習講座」共催事業

連絡先：Tel 23-0749 Fax 52-4343
〒370-0001 南信州おひさま進歩 Tel 24-4821

羽場公民館「家庭でできる省エネ講座」1月24日（チラシ50枚・ポスター15枚）

川路公民館

家庭でできる省エネ講座

～身近なところから、省エネ・環境を考えた暮らしませんか～

日時：10月29日（火）午後7時～8時30分

会場：川路公民館 1F大会議室

講師：遠峰 徹さん（省エネルギーアドバイザー）

参加費：無料

持ち物：筆記用具、電卓

申し込み：川路公民館
NPO法人南信州おひさま進歩

「みんなの環境学習講座」共催事業

連絡先：Tel 23-0749 Fax 52-4343
〒370-0001 南信州おひさま進歩 Tel 24-4821

川路公民館「家庭でできる省エネ講座」10月29日（チラシ50枚・ポスター15枚）

(2) 地区公民館文化祭での環境展示

対象	地区公民館文化祭 参加者
概要	①移動式太陽光発電設備の持込み。電源活用の検討。 ②南信州おひさま進歩のキャラクターさんぼちゃんの出演。 ③地球温暖化防止啓発用パネルや省エネ比較実験機器の解説。 ④ソーラーオルゴール工作ワークショップ。 ⑤省エネ・節電・飯田市環境行政全般に関する 3 択クイズの出題。 以上 5 点を各地区公民館の主事と検討し組み合わせ実施した。
実施公民館	上村公民館：かみむら総合文化祭 羽場公民館：羽場地区文化祭 座光寺地域公民館：座光寺地区文化祭 三穂公民館：三穂文化祭 丸山公民館：丸山地区文化祭 

(3) 飯田市新条例 地域環境権の講座

対象	市民全体
概要	平成25年4月に制定した「飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例」は、再生可能エネルギーを活用した地域づくりを目指す住民活動を支援するための条例である。公民館向けに本条例を解説する目的で、飯田市地球温暖化対策課と協議し、条例の概要の説明、飯田市上村地区で現在進行中の小沢川小水力発電の計画の説明、また地元のケーブルテレビが制作した地域環境権に関わる番組（20分）を上映した。
実施の様子	鼎公民館：公民館役員向け研修会（中間反省会） 

(4) 久堅和紙を活用した環境学習講座

対象	下久堅地区住民
概要	下久堅地区の地域組織であるひさかた和紙保存の会と下久堅地区公民館と協議し、地域社会において子供たちが伝統文化について理解し、体験する機会を作り、さらに環境問題に関する問題意識を深めるという目的でLED電球を使ったランプシェードづくりを企画した。久堅和紙の原料である楮やトロロアオイは、地区の周辺ですべて収穫されており、現在でも同地区で栽培されている。そのような地域の里山利用、ならびに原料からどのように和紙が作られるか（洋紙との違い）の解説を行い、ランプシェードの光源としてのLEDの解説を行った。（白熱電球との違

	い)																		
実施の様子	下久堅：ひさかた和紙講座 和紙でランプシェードを作ろう！ワークショップ 																		
広報	各戸配布 ひさかた和紙講座 平成25年11月 和紙でランプシェードを作ろう！ 開催のご案内  下久堅といえど“和紙”！「ひさかた和紙」は下久堅地区の特色ある伝統文化です。今回この講座では、ひさかた和紙とLED電球を使ったランプシェードづくりを行います。どなたでも参加いただけます。ぜひ表山のご案内をお待ちしております。 記 和紙でランプシェードを作ろう！ ひさかた和紙とLED電球を使って、ランプシェードを作ります。親子での参加も歓迎！ 日時：12月8日（日）午前9時開始 場所：下久堅公民館 定員：20名程度（先着順です！） その他：申込書を12月3日までに下久堅公民館へ直接または FAX にて提出してください。講師：ひさかた和紙の会 主催：下久堅公民館 共催：南信州おひさま進歩 問い合わせ：電話 29-8001 FAX 29-8034 ランプシェード作り申込書 <table><tr><td>名 前</td><td></td><td>住 所</td><td colspan="3"></td></tr><tr><td>連絡先</td><td></td><td>人 数</td><td>大人</td><td>名 ・ 子ども</td><td>名</td></tr><tr><td>備考</td><td colspan="5"></td></tr></table> 申し込み期限：12月3日 ひさかた和紙講座 和紙でランプシェードを作ろう！チラシ（50枚）	名 前		住 所				連絡先		人 数	大人	名 ・ 子ども	名	備考					
名 前		住 所																	
連絡先		人 数	大人	名 ・ 子ども	名														
備考																			

b 市内全域の講演会等の開催

(1) ドイツに学ぶ市民主体の地域づくり講演会

対象	飯田市内外の一般市民
概要	ドイツでは市民主体の組合による再生可能エネルギー事業が盛んに行われている。市民主体の再生可能エネルギー事業や環境問題と地域の活性化対策をどのように両立するのかを学ぶ企画。また飯田市の新条例である「再生可能エネルギーの導入による持続可能な街づくりに関する条例」を生かした今後の取組の可能性について紹介した。
実施の様子	
広報	

(2) 飯田市公民館大会「環境を学び生かす」

対象	市民全体（また公民館役員）
概要	飯田市公民館大会は、1年間の公民館活動の成果を確認する機会として、また公民館を取り巻く課題を整理しこれからの公民館のあり方を考える機会として開催している。今回初めて環境に関する分科会を検討し、テーマを「環境を学び生かす」とした。ごみの分別やレジ袋の削減、また太陽光発電の事業などに取組みを進めてきた飯田市で、地域ぐるみで環境を守り、また資源として活用するために何ができるのか。先進事例を聞きその事例から学ぶ分科会として企画した。
実施公民館	飯田市公民館：飯田市公民館大会「環境を学び生かす」 
広報	 平成 25 年度飯田市公民館大会 (チラシ 1800 枚)

c 会合等への参加

- (1) 「地域活性化を担う環境保全活動の協働取組推進事業」連絡会出席について
日時：平成25年8月29日（木）午後4時00分から
場所：中部環境パートナーシップオフィス
※地方支援事務局の指示する通り連絡会に出席した。
- (2) 「地域活性化を担う環境保全活動の協働取組推進事業」交流会出席について
日時：平成25年9月27日（金）午前11時00分～午後3時00分
場所：中部環境地方事務所
※地方支援事務局の指示する通り交流会に出席した。
- (3) 「地域活性化を担う環境保全活動の協働取組推進事業」第2回連絡会出席について
日時：平成25年12月6日（金）午後1時00分～午後4時00分
場所：環境省中部地方環境事務所 第1会議室
※地方支援事務局の指示する通り連絡会に出席した。
- (4) 「地域活性化を担う環境保全活動の協働取組推進事業」報告会「協働ギャザリング2014」について
日時：平成26年2月22日（土）午前10時00分～午後5時30分
場所：ベルサール九段 Room4
※地方支援事務局の指示する通り報告会に出席した。

みんなの環境学習講座 事業実施スケジュールまとめ（7月～9月）

	地区公民館	内容	7月	8月	9月
	検討会	みんなの環境学習講座の目的や方向性を関係者間で共有し、実施方法を検討するための会議	7月8日：地区公民館の主事7名、市公担者と打合せ	7月10日：温暖化対策課との打合せ 7月17日：第一回検討会議	9月25日：第二回検討会議
	橋北公民館	文化祭の出店と夏祭りの参加	7月30日：夏祭り打合せ	8月3日（土）夏祭り出展	
	川路公民館	まちづくり委員会の環境保全委員を対象として、省エネの講座を実施	7月23日：今村館長、小島主事打合せ	講師遠峰さんとの打合せ7月31日	10月23日～28日：環境保全委員鳴澤様と電話メールでの打合せ
	竜丘公民館	新川発電所の歴史を学ぶ講座とドキュメンタリー映画上映会の実施	7月23日：打合せ：下平勝館長、熊谷主事	8月7日：温対課と地域環境権について打合せ 8月12日：地域自治会が同様の講座を行う事が決定（公民館と協働での環境講座は中止）	9/10日、19日：新川発電所ヒアリング（下平さん）
	鼎公民館	公民館役員に向けた環境学習会の実施	7月23日：鼎公民館 大澤主事打合せ	8月7日：温対課と地域環境権について打合せ 9月18日：大澤主事と電話打合せ	9月20日（金）地域環境権講座 中間反省会
	下久堅公民館	久堅和紙の伝統文化と環境面を両面を押さえた環境学習講座の実施。	7月26日：下久堅公民館長谷川主事との打合せ	8月28日：下久堅公民館長谷川主事との打合せ	9月9日：和紙の会とのワークショップ 企画書作成・提案
	上村公民館	・上村の若ものを集めた学習会のテーマを環境問題とする。 ・家計をあずかる奥様向けの省エネ講座。 ・文化祭の出店	7月26日：上村公民館主事と打合せ	8月7日：温対課と地域環境権について打合せ 9月12日：家計にやさしい省エネ講座	
	羽場公民館	・羽場地区の財産区を管理する『曜友会（しょうゆうかい）』との協働事業 ・文化祭の出店	7月29日：羽場公民館吉澤主事、鈴木主事との打合せ 8月18日：羽場地区曜友会主催『曜書会』	8月28日：羽場公民館吉澤主事、鈴木主事との打合せ 9月24日：曜友会との打ち合わせについて・文化祭について	10月2日羽場公民館 曜友会との講座は中止となる
	三穂公民館	文化祭の出店	7月29日：下平主事との打合せ		
	座光寺公民館	公民館役員に向けた環境学習会の実施。	7/19 電話打合せ：坐光寺内山主事		9月25日：公民館役員向けの環境学習講座は中止
	丸山公民館	文化祭の出店。			9月20日 文化祭出展 内都打合せ 9月20日 文化祭出展について主事との打合せ
	ドイツに学ぶ市民主体の地域づくりシンポジウム	ドイツ海外先進地の講演会として 自然エネルギー先進事例の紹介、森林の利活用、太陽光の利用等。	7月11日：講師池田氏・長友氏との調整 8月7日：温対課とドイツ講演会について打合せ	8月9日～20日：ドイツ講演チラシ作成 8月23日：温対課とドイツ講演会について打合せ 8/26-27 自立運転コンセント資料作成、配布	9/3 ドイツ講演チラシ入稿 10/7 ドイツ講演内都打合せ
	2月 公民館大会	飯田市公民館大会の第四分科会にて、環境学習の分科会を設ける。			9月25日：公民館大会に向けた環境学習講座の検討に入る
	協働取組全主体の連絡会・交流会			8/29 連絡会（名古屋）	9/27 交流会（名古屋）

みんなの環境学習講座 事業実施スケジュールまとめ（10月～2月）

10月	11月	12月	1月	2月
10月30日：市公木下副館長、板倉主事との打合せ	10月31日：山法師平澤氏、来年度への助言、中間報告			2月21日：第三回検討会議
10月29日：家庭で出来る省エネ講座				
11月13日：ランプシェードワークショップ試行	11月21日：ひさかた和紙ランプシェードWS打合せ	11月24日：ひさかた和紙の会との精製作業	11月27日：ひさかた和紙の会と久壁小学校との精製し作業	12月3日：ランプシェードワークショップ試行
				12月8日ひさかた和紙講座 和紙でランプシェードを作ろう！ワークショップ実施
10月16日：環境省エネクイズ作成	10月20日：上村公民館文化祭出展	10月16日：環境省エネクイズ作成	11月1日：若い衆を集めた学習会の打合せ	11月27日：第6回若い衆で地域を語らまいか
				1月25日：家計にやさしい省エネ講座
				2月23日：三地区合同若い衆で地域を語らまいか 中止（上村、南信濃、清内路）
10月7日：文化祭について合同打合せ	10月8日：ソーラーオールゴールWS企画案作成	11月2日-3日：文化祭 省エネクイズ、ソーラーオールゴールWS	1月17日：家庭にやさしい省エネ講座の打合せ	1月24日：家庭に省エネ講座
		12/5 電話打合せ：下平主事（文化祭出展案提出）	1月17日三穂公民館 文化祭 打ち合わせ	2月9日三穂公民館文化祭出展を予定
	11/14 電話打合せ：座光寺内山主事	12/3 文化祭について打合せ場所の確認 座光寺内山主事	12月16日座光寺公民館 文化祭 打ち合わせ	2月1日座光寺公民館文化祭出展
10月10日：文化祭について	11月9日：丸山公民館文化祭ソーラーオールゴールWS			
10/17 ドイツ講演内部打合せ	10/21：温暖化対策課との最終打合せ	10/25：ドイツに学ぶ市民主体の地域づくり		
	11/14：大澤主事と電話打合せ	11/19：第一回公民館大会担当者会	11/28：第二回公民館大会担当者会	2月4日：第三回公民館大会担当者会
				2月15日：飯田市公民館大会 環境をテーマにした分科会実施 大雪で中止
		12/6 連絡会（名古屋）		2/22 報告（東京）

第十章 まとめと次年度以降の方策

飯田市は平成8年に策定した「飯田市第4次基本構想・基本計画」で将来のめざす都市像として「人も自然も美しく、輝くまち 環境文化都市」を掲げ、同年12月には自然と共生する地域社会の実現をめざした環境計画「21'いいだ環境プラン」を策定した。その中でも、目指す将来像として公民館などでの体系的な環境学習の機会が充実させていくとの宣言されている。また、今年度より「飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例」を制定し、全国に先駆けて「地域環境権」という概念を確立して、市民主体のその活動を支援すること打ち出した。

NPO法人南信州おひさま進歩は、平成16年にエネルギーの地産地消を目的に飯田市で設立。これまでは主に幼児向けの環境教育等を行ってきたが、そうした飯田市の目標・政策を促進させ、一般市民への浸透を図るためこの環境学習を公民館向けにも実施し、市民の環境意識を高める狙いと、市民の手による持続可能な地域づくりの活動を促進することを目的としている。

今年度、『地域活性化を担う環境保全活動の協働取組推進事業』の採択を受け、約半年間、市公民館や各担当課、また民間企業との協働取組を開始し、市内9地区の地区公民館と「みんなの環境学習講座」を開始させることができた。本事業の成果として、まずこの飯田市公民館と協働取組が出来たこと自体があげられる。

飯田市の特長的な公民館活動は、社会的な基盤として広く市民に認知されているが、これまで市公民館が他団体と協働取組を行うことはあまり無く、今事業がNPO法人との協働取組として実施された初の事例であった。各9地区の公民館において省エネ講座、地域環境権の講座、また伝統文化と共同した環境講座などが行えたことは、貴重な成果であり、環境文化都市という目指す将来像へ更なる一步を踏み出すことができたものと考えている。

しかし課題も少なくはない。第一点として環境という大きなテーマの中で、公民館主事と実施主体である当団体との間で、みんなの環境学習講座を行う環境活動の統一的なビジョンが見いだせていないという点である。今年度はすでに公民館活動の年間事業が決定した後であったため、新たにプログラムを作成するというよりも既存の講座を変更させるということが主になった。そのため、協働プロセスの中でどのような環境問題や課題に対して行動するのかという基本的なビジョンの統一が不完全であった。これは、来年度以降早々に市公民館と当団体が協働しておこなう環境講座において、研修会や検討会を重ねながら飯田市の目指すべき将来像は何なのか再認識し、一つの方向性を見出していきたい。

また二点目として、地域住民や課題など地域特性の把握である。飯田市は大きく20地区に分かれており市街地から山間部まで地域のニーズは大きく異なっている。この度の協

働取組で地域に入り少しずつそうした地域特性が見え出している。

来年度以降も、地域の窓口として地域特性を十分に把握している地区公民館や主事との協働の元、環境文化都市という目指すべき目標へ各地区の地域特性との接点を見出し、魅力ある講座を作っていきたい。

環境をテーマとした問題は、非常に広大で要因も複雑であり、影響は地球全体や将来の世代まで及んでいく。残念ながらそうした環境問題の多くは、私たち一人一人の普段の社会活動に起因している、それゆえ人間の起こした問題は、人間の行動で解決していけると考えている。そうした複雑で難しい問題を、解決に向けて少しでも分かりやすい形で提供し、地域の住民が主体的に行動する飯田市ならではの環境学習講座となるよう、この取組を深めていきたい。

参考資料

a 上村地区公民館におけるアンケート集計結果

- 家計にやさしい省エネ講座（９月１２日）募集チラシ
- 家計にやさしい省エネ講座 内容に対するご意見・感想の把握（９月１２日）
- 平成２５年度 かみむら総合文化祭・募集チラシ
- かみむら総合文化祭 省エネクイズに対する回答と感想の把握
- 平成２５年度 家計にやさしい省エネ講座（１月２５日）募集チラシ
- 家計にやさしい省エネ講座 内容に対するご意見・感想の把握（１月２５日）

b 羽場地区公民館におけるアンケート集計結果

- 平成２５年度 羽場地区文化祭・募集チラシ
- 羽場地区文化祭 省エネクイズに対する回答と感想の把握
- 曙の里講座 家庭でできる省エネ講座・募集チラシ
- 曙講座 家庭でできる省エネ講座 内容に対するご意見・感想の把握

c 川路地区公民館におけるアンケート集計結果

- 環境保全委員会学習会 家庭でできる省エネ講座・募集チラシ
- 家庭でできる省エネ講座 内容に対するご意見・感想の把握

d 鼎地区公民館におけるアンケート集計結果

- 公民館委員中間反省会 内容に対するご意見・感想の把握

e 下久堅地区公民館におけるアンケート集計結果

- ひさかた和紙講座 和紙でランプシェードを作ろう！・募集チラシ
- ひさかた和紙講座 和紙でランプシェードを作ろう！ 内容に対するご意見・感想の把握

f 座光寺地区公民館におけるアンケート集計結果

- 平成２５年度 座光寺地域文化祭・募集チラシ
- 平成２５年度 座光寺地域文化祭 省エネクイズに対する回答と感想の把握
- 平成２５年度 座光寺地域文化祭 ソーラーオルゴール工作に対するご意見・感想の把握

g 三穂地区公民館におけるアンケート集計結果

- 平成２５年度 三穂文化祭・募集チラシ
- 平成２５年度 三穂地域文化祭 省エネクイズに対する回答と感想の把握

h 丸山地区公民館におけるアンケート集計結果

- 平成25年度 丸山地域文化祭・募集チラシ
- 平成25年度 丸山地域文化祭 省エネクイズに対する回答と感想の把握
- 平成25年度 丸山地域文化祭 ソーラーオルゴール工作内容に対するご意見・感想の把握

i 「ドイツに学ぶ市民主体の地域づくり」講演会におけるアンケート結果

- ドイツに学ぶ市民主体の地域づくり講演会・募集チラシ
- スマートサステイナブルソリューションズ株式会社 会社概要
- ドイツに学ぶ市民主体の地域づくり講演会の 内容に対するご意見・感想の把握

j 飯田市公民館大会第4分科会

- 飯田市公民館大会 募集チラシ

k 地方支援事務局への定期的な報告

- 資料 04_協働取組_団体_月次報告

l 自己評価の実施

- 振り返りシート

m 中期計画の作成

- 中期計画シート（表）
- 中期計画シート（裏）
- 中期計画シート（詳細）

a 上村地区公民館におけるアンケート集計結果

■ 家計にやさしい省エネ講座（9月12日分）・募集チラシ

参加者募集

無料

「家計にやさしい省エネ講座」

夏の暑さも一区切り。今年の夏も暑かったんですが、実は年間で最も光熱費が大きい“冬”に向けて、省エネしながら、家計にやさしく快適に暮らすコツについて学んでみませんか？

おいしいコーヒーなどを飲みながら、専門家のお話を聞いてくらしの知恵を交換する場です。
お気軽にご参加ください。



■ 日時：9月12日（木）午後7時～8時

■ 会場：上村コミュニティセンター

■ 講師：遠峰 徹さん（省エネルギーアドバイザー）

■ 参加費：無料

■ 持ち物：筆記用具、電卓

チェックシートを使って、家庭で出来る省エネの数々を数字で確認。目に見える形にすることで、年間の削減金額を意識することができます。



【申し込み・問い合わせ】

上村公民館 0260-36-2211（月～金・8:30～17:15）

南信州おひさま進歩 0265-24-4821（月～金・9:00～18:00）

■ アンケート

調査の目的：家計にやさしい省エネ講座 内容に対するご意見・感想の把握

調査実施日：平成25年9月12日

参加人数：6人

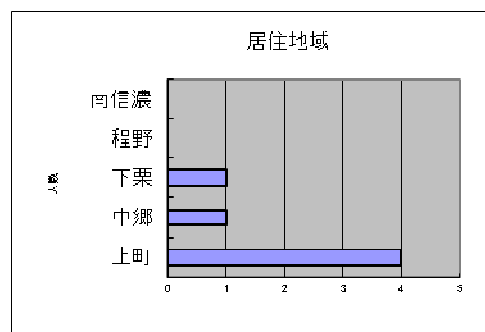
回答者数：6人

居住地域

上町	中郷	下栗	程野	南信濃
4	1	1	0	0

年齢

30代	40代	50代	60代	70代
1	0	0	3	2



性別

女性	男性
4	3

Q1.あなたのご家庭の家族構成数

単身	2人	3人	4名	5名
1	2	2	0	1

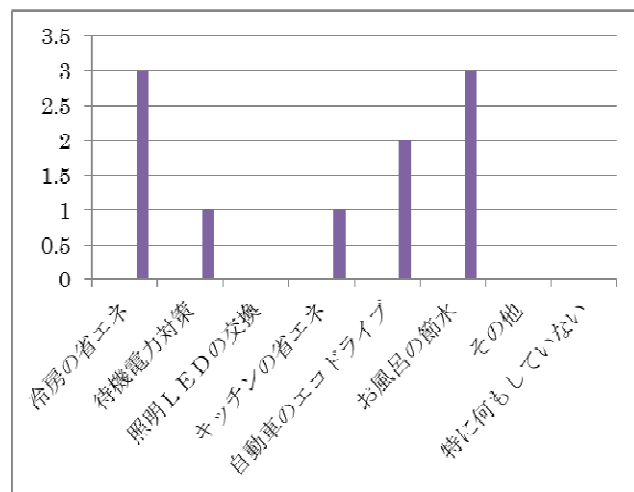
Q2. 家計にやさしい省エネ講座に参加しようと思ったきっかけ。

【コメント】

- ・9月8日に生家に帰って来ました。冬が寒いと言われて！なんとなく。
- ・お話を聞こうと思いました。
- ・なんとなく？
- ・主事さんに誘われたから。
- ・一人暮らしなのでなるべく節約しているけど、変わったことで節約が出来たらと思って参加しました。

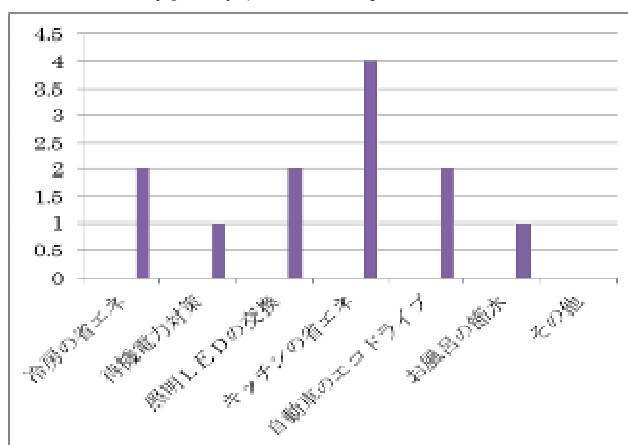
Q3. 講座に参加する前から行っていた省エネの工夫があれば教えてください。

冷房の省エネ	3
待機電力対策	1
照明LEDの交換	0
キッチンの省エネ	1
自動車のエコドライブ	2
お風呂の節水	3
その他	0
特に何もしていない	0



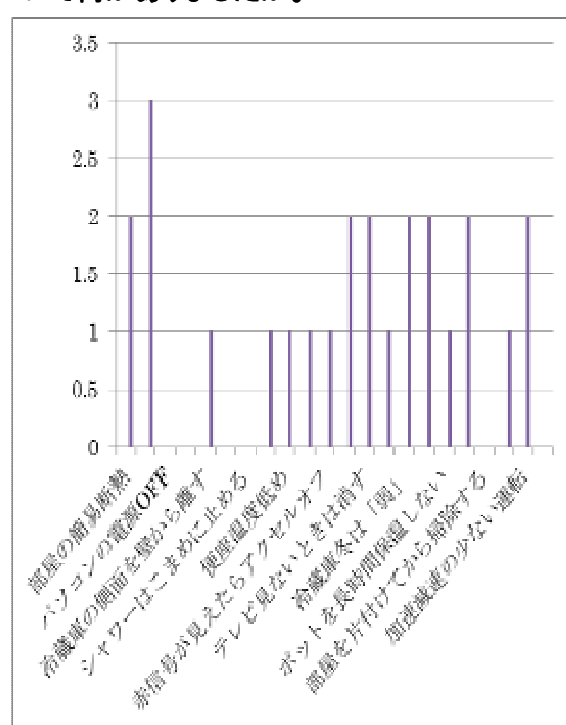
Q4. 今講座で特に聞いてみたかった省エネについて何がありましたか。

冷房の省エネ	2
待機電力対策	1
照明LEDの交換	2
キッチンの省エネ	4
自動車のエコドライブ	2
お風呂の節水	1
その他	0



Q5. 今講座で特に聞いてみたかった省エネについて何がありましたか。

部屋の簡易断熱	2
テレビの明るさを調整する	3
パソコンの電源 OFF	0
こたつ・カーペット温度低め	0
冷蔵庫の側面を壁から離す	1
コンロの火がはみ出ないように	0
シャワーはこまめに止める	0
洗濯もののまとめ洗い	1
便座温度低め	1
自動車 ふんわりスタート	1
赤信号が見えたらアクセルオフ	1
照明使わないときは消す	2
テレビ見ないときは消す	2
暖房時室温を 20℃以下に設定	1
冷蔵庫冬は「弱」	2
冷蔵庫に物を詰め過ぎない	2
ポットを長時間保温しない	1
入浴は間隔をあけずに	2
部屋を片付けてから掃除する	0
便座のふたを閉める	1
加速減速の少ない運転	2
アイドリングストップ	0



Q6. 興味を持たれた部分を詳しくお聞かせください。

【コメント】

- ・大変参考になりました。
- ・エコについて日頃から考えていたので大変参考になりました。
- ・とても分かりやすく、生活に役立たせられるお話でした。勉強になりました。
- ・省エネルギーに対して、もっと勉強をしてみたいと思いました。まだまだ省エネできるものがたくさんあることが分かりました。
- ・身近な省エネのお話をお聞きしまして、取り入れたいと思います。
- ・省エネを少し勉強不足でした。参考になりました。

Q7. 今後どのような講座があったら参加したいと思いますか。

【コメント】

- ・家で1人であるより、人の話を聞いたりすることが何か一つでも身に付くことがあると思い、出来るだけ参加するように思っています。

■ 平成25年度 かみむら総合文化祭・募集チラシ



濱乃志雄(はまのしりゅう)こと濱崎 隆(はまざきたかし)
 1983年、日本芸術専門学校音楽科卒業、在学中より斎藤勇に師事、ギター・フルートを斎藤勇に学ぶ。クラシックギターの演奏会をより楽しく変化のあるものにしたと、フルート、芝居・落語・自作の歌などを取り入れたステージを企画公演中。年間25回を超える公演を各地で行い、2013年4月に通算公演回数3,300回を突破されました。現在は、「FMサウンド★クルーズ」のレギュラーゲストとして出演中。

島唄サークル 「あしびなー」
 あしびなーとは、沖縄の方言で遊び場という意味です。沖縄好きが集まり三線・エイサーという伝統芸能を広めていきたい思い活動しています。現在は飯田りんごん、文化祭等に出演しています。メンバーは10代～50代で幅広く、今回は、上村に沖縄の風を吹かせたいです。

健康まつり 10:00～14:00 上村福祉委員会

★ 体成分分析 ★ 栄養相談 ★ 食品見本展示
 ★ 歯科相談 ★ 咀嚼力判定 (お申し込み、ご相談ください。)

一般、園児、児童、生徒の作品、上村デイサービスセンター、
 ● れあいサービスのみなさんの作品等が展示されます。

屋外イベント広場 昼食等にご利用ください!

喜楽会 **やんざ会** **河内屋**
 焼きそば・焼き鳥・フランクフルト ・五平もち販売 **とり手羽・クロック**
上村婦人会 **上村福祉企業センター**
 ・味ごはん弁当の販売 ・バック・枕カバー等の販売
おひさま進歩・徳島CIDE長姫高校生
 ・太陽光パネル&省エネグッズ **さんぽちゃん**

■ アンケート

調査の目的：かみむら総合文化祭 省エネクイズに対する回答と感想の把握

調査実施日：平成25年10月20日

回答数：55

・あなたの年齢は？

	回答数	構成率
小学生	5	9%
中学生	6	11%
高校生	18	33%
20代～30代	5	9%
40代～50代	1	2%
60代以上	4	7%
無回答	16	29%

Q1.コンビニエンスストア店舗が使う電気量はおよそどのくらい？

項目	回答数	構成率
(ア) 家3軒分	2	12%
(イ) 家5軒分	8	47%
(ウ) 家10軒分以上【正解】	7	41%
無回答	0	0%

Q2.飲料用の自動販売機一台が使う電気量はどのくらい？

項目	回答数	構成率
(ア) 冷蔵庫一台分	0	0%
(イ) 電化製品4台分	9	53%
(ウ) 家一軒分弱【正解】	8	47%
無回答	0	0%

Q3.長野県全体で一番電気を使う時期はいつ？

項目	回答数	構成率
(ア) 1月【正解】	11	65%
(イ) 4月	2	12%
(ウ) 8月	4	23%
無回答	0	0%

【感想】

- コンビニが1ヶ月に使う電気量の多さにびっくりしました。
- 意外と電気を使っていることがわかった。
- 普段知らないコンビニや自販機の電気量を知れてよかった。
- 1月が電気をもっともつかわれていたことに驚いた。
- コンビニで使う電気量が思ったよりもすごく多かったのでびっくりした。
- コンビニでバイトしているので、1の問題は興味を持ちました。省エネって大事だなんて思いました。
- ③について自分が身近に使っている電力についてたのしく知れて良かった。
- コンビニエンスストアでの電力量が面白かった。電気量の計算が面白くて興味を持った。
- 1のコンビニに電気量が意外と多いのでびっくりしました。
- 2番がためになった。
- コンビニの電気量が面白かった。
- 1.2が面白かった。
- 全部おもしろい

Q4.日本が排出している二酸化炭素の量は世界で何番目？

項目	回答数	構成率
(ア) 一番多い	3	19%
(イ) 5番目に多い【正解】	10	62%
(ウ) 10番目に多い	3	19%
無回答	0	0%

Q5.白熱電球を同じ明るさのLED電球に取り換えると、どのくらい長持ちするの？

項目	回答数	構成率
(ア) 10倍	2	12%
(イ) 20倍	4	25%
(ウ) 40倍【正解】	10	63%
無回答	0	0%

Q6 白熱電球を同じ明るさのLED電球に取り換えると、電気代はどのくらい減るの？

項目	回答数	構成率
(ア) 半分	5	31%
(イ) 4分の1	6	38%
(ウ) 7分の1【正解】	5	31%
無回答	0	0%

【感想】

- LED の電球にすることで、長持ちするし、安くなるので良いと思った。
- 日本は小さいのに、二酸化炭素の排出量がすごいんだな～と思った。
- エネルギーの比較実験もできて良かった。
- 同じ電気でも取りかえるだけで、かなり省エネになるのはすごい！
- まちがえてもたのしかった。
- 二酸化炭素の量が多いのがとてもおもしろかった。
- ⑥がおもしろ
- どれもためになった。

Q7.スーパーなどのレジ袋を 1 枚つくるには、どのくらいの石油を使うの？

項目	回答数	構成率
(ア) スプーン 1 杯	4	22%
(イ) さかずき 1 杯 【正解】	8	45%
(ウ) コップ 1 杯	6	33%
無回答	0	0%

Q8.最近 100 年間で地球の平均気温はどのくらい変化したでしょう。

項目	回答数	構成率
(ア) ほとんど変化していない	0	0%
(イ) 約 1℃上がった 【正解】	15	83%
(ウ) 約 3℃下がった	3	17%
無回答	0	0%

Q9.シャワーを使っている時は、テレビ何台分のエネルギーを使っているの？

項目	回答数	構成率
(ア) 約 2 台	3	17%
(イ) 約 20 台	11	61%
(ウ) 約 200 台 【正解】	4	22%
無回答	0	0%

【感想】

- シャワーを使うのにすごくエネルギーを使うのでおどろいた。
- 普段何気なく使っているシャワーがこんなにもエネルギーを使用しているとは思わなかった。
- シャワーをたくさん使ってしまうので、控えていきな～と思った。

- シャワーは出来るだけ使わないようにと思った。
- 全然わからなかったけど面白かった。
- テレビは電気をあまり使っていないこと
- 9 と 7 はおもしろい
- スプーン一杯が意外でした。
- 200 台なんてすごいと思った。
- シャワーの問題は難しかったけど勉強になりました。
- シャワーにエネルギーがたくさんいるのにおどろきました。

Q10.飯田市が市の方針として打ち出している環境宣言とは何？

項目	回答数	構成率
(ア) 環境健康都市宣言	2	50%
(イ) 環境文化都市宣言【正解】	2	50%
(ウ) 世界遺産都市宣言	0	0%
無回答	0	0%

Q11.飯田市上村で進んでいる小水力発電の計画はなんていう名前の川で進んでいる？

項目	回答数	構成率
(ア) 小沢川【正解】	4	100%
(イ) 野底川	0	0%
(ウ) 闇沢川	0	0%
無回答	0	0%

Q12.飯田市の旧竜丘村で住民組合による日本初の小水力発電が完成したのは、今から何年前のこと？

項目	回答数	構成率
(ア) 約 30 年前	0	0%
(イ) 約 50 年前	4	100%
(ウ) 約 100 年前【正解】	0	0%
無回答	0	0%

【感想】

- 飯田でも率先して環境について考えていってほしい。
- 大正時代からはじめたとかすごい。
- 100 年前から発電所があったことにびっくりでした。

■平成25年度 家計にやさしい省エネ講座・募集チラシ（上村 1月25日分）

参加者募集

無料

「家計にやさしい省エネ講座」

冬本番を迎え、どんどん寒くなってきました。長野県でもっとも光熱費がかかるのは、実は1月と2月です！！この光熱費が大きい冬のりきるために、省エネしながら、家計にやさしく快適に暮らすコツが大切です。
 専門家のお話を聞いて暮らしの知恵を学んでみませんか？お気軽にご参加ください。

■ 日時: 1月25日(土) 午後7時～8時30分

■ 会場: 上村コミュニティセンター

■ 講師: 遠峰 徹さん(省エネルギーアドバイザー)

■ 参加費: 無料

■ 持ち物: 筆記用具、電卓



チェックシートを使って、家庭で出来る省エネの数々を絵字で確認。目に見える形にすることで、年間の削減金額を意識することができます。

【申し込み・問い合わせ】
 上村公民館 0260-36-2211(月～金・8:30～17:15)
 南信州おひさま通歩 0265-24-4821(月～金・9:00～18:00)

■アンケート

調査の目的：家計にやさしい省エネ講座 内容に対するご意見・感想の把握

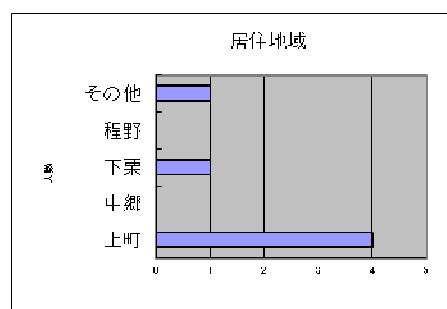
調査実施日：平成25年9月12日

参加人数：7人

回答者数：6人

居住地域

上町	中郷	下栗	程野	その他
4	0	1	0	1(駄科)



年齢

30代	40代	50代	60代	70代
0	1	2	2	1

性別

女性	男性
6	0

Q1.あなたのご家庭の家族構成数

単身	2人	3人	4名	5名
0	4	1	1	0

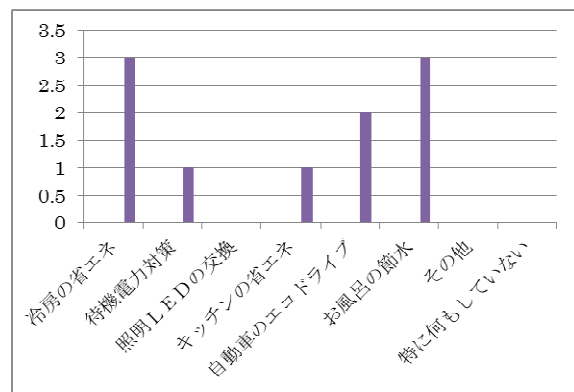
Q2. 家計にやさしい省エネ講座に参加しようと思ったきっかけ。

【コメント】

- ・内容に興味があったので。
- ・どのくらい省熱が出来るか良く知りたかった。参加してよかったです。

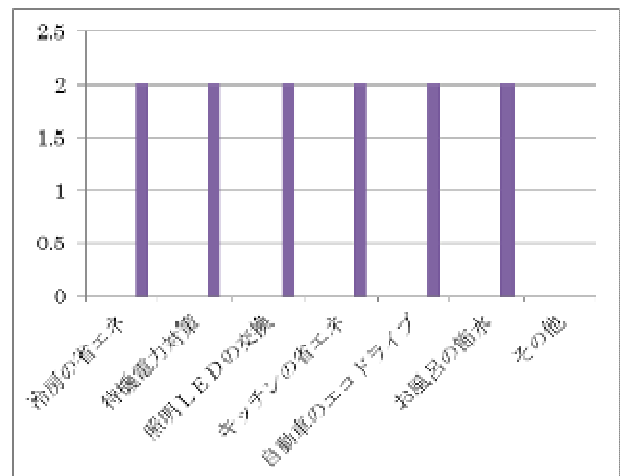
Q3. 講座に参加する前から行っていた省エネの工夫があれば教えて下さい。

冷房の省エネ	3
待機電力対策	1
照明LEDの交換	0
キッチンの省エネ	1
自動車のエコドライブ	2
お風呂の節水	3
その他	0
特に何もしていない	0



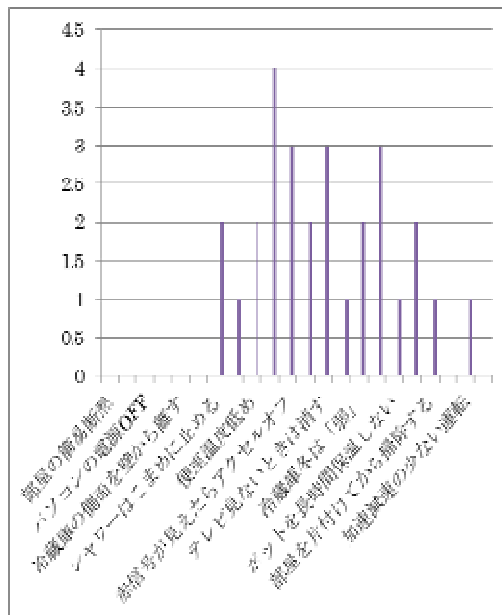
Q4. 今講座で特に聞いてみたかった省エネについて何がありましたか。

冷房の省エネ	2
待機電力対策	2
照明LEDの交換	2
キッチンの省エネ	2
自動車のエコドライブ	2
お風呂の節水	2
その他	0



Q5. 今講座で特に聞いてみたかった省エネについて何がありましたか。

部屋の簡易断熱	0
テレビの明るさを調整する	0
パソコンの電源 OFF	0
こたつ・カーペット温度低め	0
冷蔵庫の側面を壁から離す	0
コンロの火がはみ出ないように	0
シャワーはこまめに止める	2
洗濯もののまとめ洗い	1
便座温度低め	2
自動車 ふんわりスタート	4
赤信号が見えたらアクセルオフ	3
照明使わないときは消す	2
テレビ見ないときは消す	3
暖房時室温を 20℃以下に設定	1
冷蔵庫冬は「弱」	2
冷蔵庫に物を詰め過ぎない	3
ポットを長時間保温しない	1
入浴は間隔をあけずに	2
部屋を片付けてから掃除する	1
便座のふたを閉める	0
加速減速の少ない運転	1
アイドリングストップ	0



その他(入浴は間隔を開けずにというのが一番の問題)

Q6. 興味を持たれた部分を詳しくお聞かせください。

【コメント】

- ・なるほど節減できることがたくさんありました。ひとつひとつできるようにしていきたいです。
- ・お話をおききし、自分自身の心がけで省エネにつながることでしたので頑張って実践しようと思いました。
- ・すぐにでも実践したいと思います。
- ・自分は気を付けているつもりでしたが、まだまだだと反省しました。(タラレバ効果見積もり) 家族の協力も必要だなーと思いました。できることから始めたいと思いました。

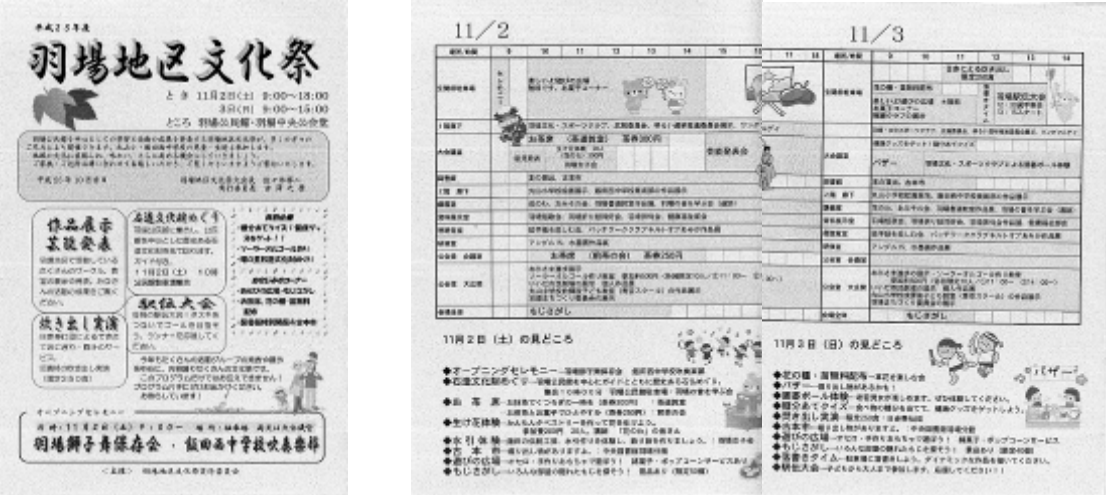
Q7. 今後どのような講座があったら参加したいと思いますか。

【コメント】

- ・生活の振り返りになるので、同じような内容で＋最新とか季節に合わせた内容など取り入れて定期的に開催していただけると嬉しいです。

b 羽場地区公民館におけるアンケート集計結果

■ 平成25年度 羽場地区文化祭・募集チラシ



■ アンケート

調査の目的：羽場地区文化祭 省エネクイズに対する回答と感想の把握

調査実施日：平成25年11月1日～2日

回答数：96

・あなたの年齢は？

	回答数	構成率
小学生	60	63%
中学生	2	2%
高校生	0	0%
20代～30代	2	2%
40代～50代	2	2%
60代以上	2	2%
無回答	28	29%

Q1.コンビニエンスストアー店舗が使う電気量はおよそどのくらい？

項目	回答数	構成率
(ア) 家 3 軒分	3	9%
(イ) 家 5 軒分	11	31%
(ウ) 家 10 軒分以上【正解】	21	60%
無回答	0	0%

Q2.飲料用の自動販売機一台が使う電気量はどのくらい？

項目	回答数	構成率
(ア) 冷蔵庫一台分	1	3%
(イ) 電化製品 4 台分	8	23%
(ウ) 家一軒分弱【正解】	25	71%
無回答	1	3%

Q3.長野県全体で一番電気を使う時期はいつ？

項目	回答数	構成率
(ア) 1 月【正解】	27	77%
(イ) 4 月	0	0%
(ウ) 8 月	8	23%
無回答	0	0%

【感想】

- 意外に電気の使用量が多いことが分かり、へ～そう と思った。
- たのしかった。
- 一問間違えてしまったけど、たのしかった。
- 電気の使う量がわかってよかった。
- 世の中でたくさん電気を使うということがわかりました。
- コンビニなどがどんなに電気をつかうか知れた。
- コンビニの問題で案外多くてびっくりした。
- 電気はお店と家では違って、電気の使われる量がわかった。
- コンビニエンスストアの電気量を考えたことがなかったから面白かった。
- コンビニは電気の使いすぎだと思った。
- 知れてよかった。
- 面白かった。
- ①が面白い
- コンビニの電気のやつがすごかった。

Q4.日本が排出している二酸化炭素の量は世界で何番目？

項目	回答数	構成率
(ア) 一番多い	3	12%
(イ) 5 番目に多い【正解】	18	69%
(ウ) 10 番目に多い	5	19%
無回答	0	0%

Q5.白熱電球を同じ明るさの LED 電球に取り換えると、どのくらい長持ちするの？

項目	回答数	構成率
(ア) 10 倍	2	7%
(イ) 20 倍	8	31%
(ウ) 40 倍【正解】	14	54%
無回答	2	8%

Q6.白熱電球を同じ明るさの LED 電球に取り換えると、電気代はどのくらい減るの？

項目	回答数	構成率
(ア) 半分	6	25%
(イ) 4 分の 1	11	42%
(ウ) 7 分の 1【正解】	8	31%
無回答	1	4%

【感想】

- 難しかった。分からない事、勉強になった。
- 電気のがわかった。
- 面白かった。
- 知らないことが知れてよかった。
- 日本が排出している量は多い。
- 難しかったけどおもしろかった。
- 白熱電球とLEDの違いがとてもよくわかった。
- まちがえた～
- 全部正解できて良かった。
- LEDのすごさを知れて良かった。
- LEDは白熱電球より省エネだということを知り、面白かった。
- 1.2.3 番目があったいたので、嬉しかったです。
- 温暖化の問題が面白かった。
- 全部おぼえていたい。

Q7.スーパーなどのレジ袋を1枚つくるには、どのくらいの石油を使うの？

項目	回答数	構成率
(ア) スプーン1杯	1	5%
(イ) さかずき1杯【正解】	15	75%
(ウ) コップ1杯	4	20%
無回答	0	0%

Q8.最近100年間で地球の平均気温はどのくらい変化したでしょう。

項目	回答数	構成率
(ア) ほとんど変化していない	0	0%
(イ) 約1℃上がった【正解】	16	80%
(ウ) 約3℃下がった	4	20%
無回答	0	0%

Q9.シャワーを使っている時は、テレビ何台分のエネルギーを使っているの？

項目	回答数	構成率
(ア) 約2台	3	15%
(イ) 約20台	11	55%
(ウ) 約200台【正解】	6	30%
無回答	0	0%

【感想】

- 全部勉強になった。
- 面白かったけど、難しかった。
- シャワーはたくさんのエネルギーを使うことがわかりました。
- 9 ありえん!!
- いっぱいわかったので、勉強になった。

Q10.飯田市が市の方針として打ち出している環境宣言とは何？

項目	回答数	構成率
(ア) 環境健康都市宣言	5	36%
(イ) 環境文化都市宣言【正解】	8	57%
(ウ) 世界遺産都市宣言	1	7%
無回答	0	0%

Q11.飯田市上村で進んでいる小水力発電の計画はなんていう名前の川で進んでいる？

項目	回答数	構成率
(ア) 小沢川【正解】	8	57%
(イ) 野底川	4	29%
(ウ) 闇沢川	1	7%
無回答	1	7%

Q12.飯田市の旧竜丘村で住民組合による日本初の小水力発電が完成したのは、今から何年前のこと？

項目	回答数	構成率
(ア) 約 30 年前	2	14%
(イ) 約 50 年前	2	14%
(ウ) 約 100 年前【正解】	9	65%
無回答	1	7%

【感想】

- 10 番がとってもむずかしかった。12 とかが、面白かったです。
- 電気とは 100 年前から作っていたとは知らなかったです。とても面白かったです。
- 12 番がおもしろかった。っまたやりたい。
- 少しむずかしかった。べんきょうになった。
- 12 の問題！ 飯田は節約の都市だと思っていたけど（他県出身者なので）昔からそうだったのですね。100 年も前からエコなことをしているなんて感激です。

■曙の里講座 家庭でできる省エネ講座・募集チラシ

適合部員

曙の里講座

家庭でできる省エネ講座

～身近なところから、省エネ・環境を考えてみませんか～

お家の内や外に2011.4以降で設置してあることとします。ただし、窓は気密性のある窓が
必要（ペアガラス）となります。この講座に参加には必ずしも既設の設備は必要ありません。
また、
将来、お家の内や外に2011.4以降で設置してあることとします。省エネのノウハウは、省エネアドバイザーが
お家の内や外に2011.4以降で設置してあることとします。省エネのノウハウは、省エネアドバイザーが
お家の内や外に2011.4以降で設置してあることとします。省エネのノウハウは、省エネアドバイザーが

日時：平成26年1月24日（金）
午後7時～8時30分

会場：曙里公民館 講義室

講師：遠峰 徹さん（省エネアドバイザー）

参加費：無料

持ち物：筆記用具、電卓

申込み：曙里公民館

NPO法人南信州地区共進会

「みんなの環境学習講座」共催事業

お問い合わせ Tel: 23-0749 Fax: 23-4343
NPO法人南信州地区共進会 Tel: 24-4521

調査の目的：家庭でできる省エネ講座 内容に対するご意見・感想の把握

調査実施日：平成26年1月24日

参加人数：8 人

回答者数：8 人

【年齢】

20 代	30 代	40 代	50 代
0	2	2	1
60 代	70 代	80 代	90 代
2	1	0	0

【性別】

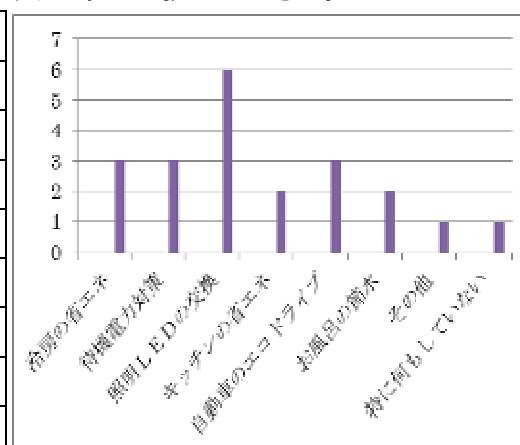
女性	男性	無回答
4	3	1

【あなたのご家庭の家族構成数】

単身	2 人	3 人	4 名
1	1	2	1
5 名	6 名	7 名	8 名
1	1	0	1

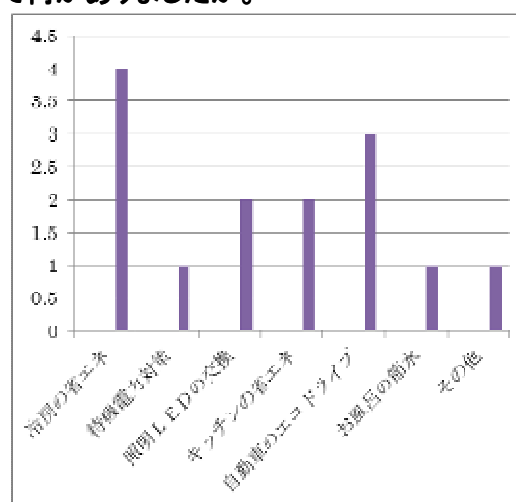
Q1. 講座に参加する前から行っていた省エネの工夫があれば教えてください。

冷房の省エネ	3
待機電力対策	3
照明LEDの交換	6
キッチンの省エネ	2
自動車のエコドライブ	3
お風呂の節水	2
その他	1
特に何もしていない	1
その他	1
その他	
太陽光発電	



Q2. 今講座で特に聞いてみたかった省エネについて何がありましたか。

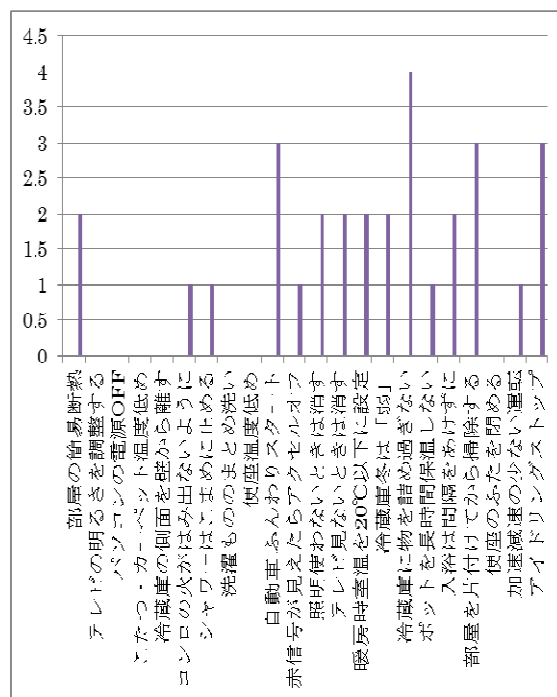
冷房の省エネ	4
待機電力対策	1
照明LEDの交換	2
キッチンの省エネ	2
自動車のエコドライブ	3
お風呂の節水	1
その他	1



Q3. 今講座で特に聞いてみたかった省エネについて何がありましたか。

部屋の簡易断熱	2
テレビの明るさを調整する	0
パソコンの電源 OFF	0
こたつ・カーペット温度低め	0
冷蔵庫の側面を壁から離す	0
コンロの火がはみ出ないように	1
シャワーはこまめに止める	1
洗濯もののまとめ洗い	0

便座温度低め	0
自動車 ふんわりスタート	3
赤信号が見えたらアクセルオフ	1
照明使わないときは消す	2
テレビ見ないときは消す	2
暖房時室温を 20℃以下に設定	2
冷蔵庫冬は「弱」	2
冷蔵庫に物を詰め過ぎない	4
ポットを長時間保温しない	1
入浴は間隔をあけずに	2
部屋を片付けてから掃除する	3
便座のふたを閉める	0
加速減速の少ない運転	1
アイドリングストップ	3



Q4. 興味を持たれた部分を詳しくお聞かせください。

【コメント】

- ・大変参考になりました。太陽光発電による額の変更等についてはっきりしない。太陽光パネルはガラス面の表面を精洗する必要があると思うが、清布した場合となにもしていない時の違いは業者選択で変わるかどうか疑問があるので。
- ・少し難しい話もありましたが、身近にECOできることもあり、早速家に帰ったらやってみようと思いました。
- ・本当に勉強になりました。一回だけではもったいないので、ぜひ2回、3回と講座でお話してください。
- ・一年分の省エネタラレバを計算して1万円ちかく省電力できると知って驚きました。今日から風呂はまとめて入るようにしたいです。
- ・内容が生活に活用できることでためになりました。自宅でも話合いたいと思います。
- ・この講習会をうけるにあたって、初めて「電気料金のお知らせ」をみました良い機会良かったです。

Q5. 今後どのような講座があったら参加したいと思いますか。

【コメント】

- ・太陽光パネルの業者間での違いを教えてください。パネルの良否はあると思われ

ますがどうでしょう？私宅では三菱のパネルを昭和 62 年から 48 枚屋根にのせて取り付けてありますが、外の塵の積み重さなりはいかにしたらよいか清布する必要があるか。

- ・このような内容の講座でいいと思います。あと具体的に省エネをしたご家庭のお話とか出していただくと理解していただける実践していただけるとと思います。
- ・手作りの何か？リサイクルとか。

C 川路地区公民館におけるアンケート集計結果

■環境保全委員会学習会 家庭でできる省エネ講座・募集チラシ



■アンケート

調査の目的：家庭でできる省エネ講座 内容に対するご意見・感想の把握

調査実施日：平成 25 年 10 月 29 日

参加人数：12 人

回答者数：10 人

【年齢】

40 代	50 代	60 代	70 代	80 代
1	2	5	1	2

【性別】

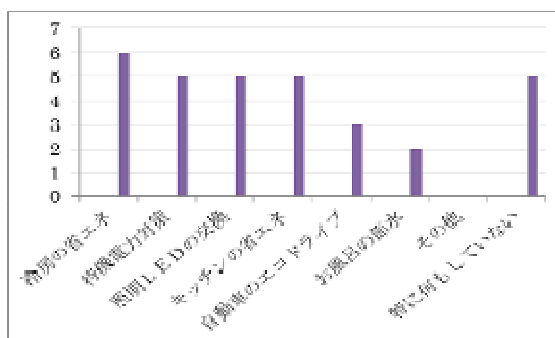
女性	男性	無回答
2	7	1

【あなたのご家庭の家族構成数】

単身	2人	3人	4名	5名
0	6	2	1	2

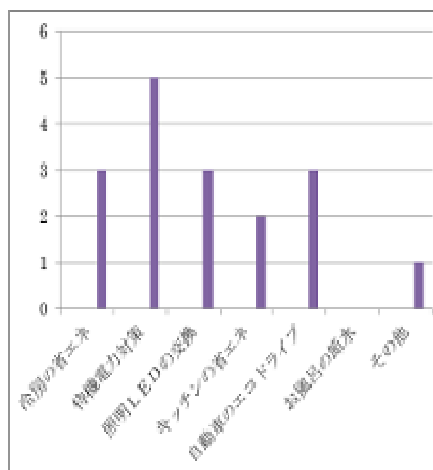
Q1. 講座に参加する前から行っていた省エネの工夫があれば教えてください。

冷房の省エネ	6
待機電力対策	5
照明LEDの交換	5
キッチンの省エネ	5
自動車のエコドライブ	3
お風呂の節水	2
その他	0
特に何もしていない	5



Q2. 今講座で特に聞いてみたかった省エネについて何がありましたか。

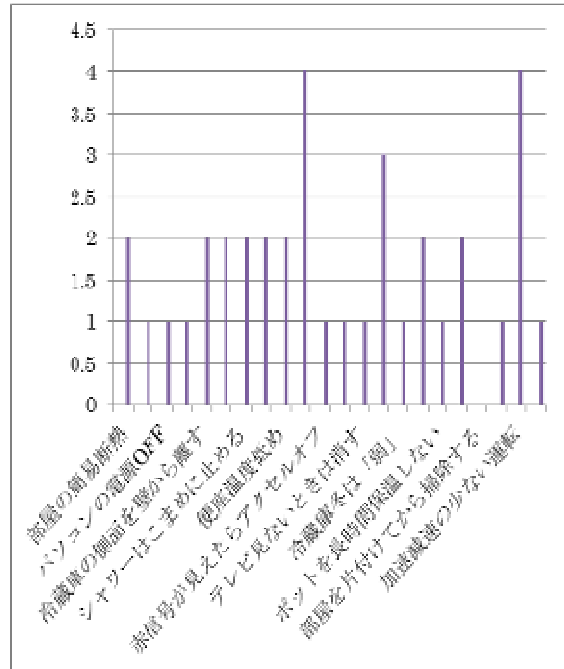
冷房の省エネ	3
待機電力対策	5
照明LEDの交換	3
キッチンの省エネ	2
自動車のエコドライブ	3
お風呂の節水	0
その他	1
オール電化は省エネ的にはほんとに良いのでしょうか	



Q3. 今講座で特に聞いてみたかった省エネについて何がありましたか。

部屋の簡易断熱	2
テレビの明るさを調整する	1
パソコンの電源 OFF	1
こたつ・カーペット温度低め	1
冷蔵庫の側面を壁から離す	2

コンロの火がはみ出ないように	2
シャワーはこまめに止める	2
洗濯もののまとめ洗い	2
便座温度低め	2
自動車 ふんわりスタート	4
赤信号が見えたらアクセルオフ	1
照明使わないときは消す	1
テレビ見ないときは消す	1
暖房時室温を 20℃以下に設定	3
冷蔵庫冬は「弱」	1
冷蔵庫に物を詰め過ぎない	2
ポットを長時間保温しない	1
入浴は間隔をあけずに	2
部屋を片付けてから掃除する	0
便座のふたを閉める	1
加速減速の少ない運転	4
アイドリングストップ	1
その他	1
ほとんどやっている感じ。	



Q4. 興味を持たれた部分を詳しくお聞かせください。

【コメント】

- ・タラレバ効果見積もりで自動車運転の方法により大きな削減ができそうだと思います。自動車の運転は省エネ運転に心がけようと思います。
- ・もっと女性が参加すると良かったですね。
- ・大変分かりやすく参考になりました。
- ・CO2 の問題は大きい問題。地域を上げて取り組みたい。
- ・考えるとところに多々あり、勉強になりました。
- ・改めて話を聞けて有意義であった。

Q5. 今後どのような講座があったら参加したいと思いますか。

【コメント】

- ・お金を使わない生活

d 県地区公民館におけるアンケート集計結果

■ 県公民館委員中間反省会 地域環境権講座 資料



■ アンケート

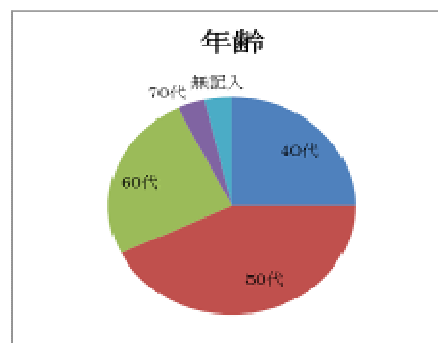
調査の目的：県公民館委員中間反省会

内容に対するご意見・感想の把握

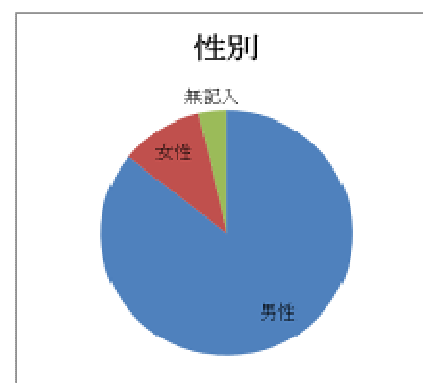
調査実施日：平成25年9月20日

回答者数：28人

40代	7	25%
50代	12	43%
60代	7	25%
70代	1	4%
無記入	1	4%
総計	28	100%

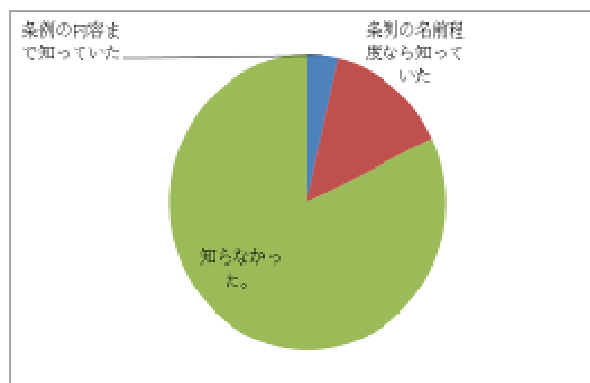


男性	24	86%
女性	3	11%
無記入	1	4%



Q1. 新条例(再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例)について、また「地域環境権」についてご存知でしたか。

条例の内容まで知っていた	1	4%
条例の名前程度なら知っていた	4	14%
知らなかった。	23	82%
無記入	0	0%



Q2. Q1 で条例を知っていた、名前程度なら知っていたと回答した方へ地域環境権についてどのようなイメージを持たれていましたか？

原発が事故をおこすと、あのような大参事になることを思えば、地域に在る水や日光が資源となれば、活用できる限り有効活用するべきだと思います。

全国に先駆けた条例であり、誇れるもの。

CO2 の現象のために電動アシストを導入したのかもしれないとおもっていましたが、電動アシストを導入した評価はどのように出たのでしょうか。太陽光の利用について市役所をはじめとして市の建物の活動はどの程度進んでいるのでしょうか。

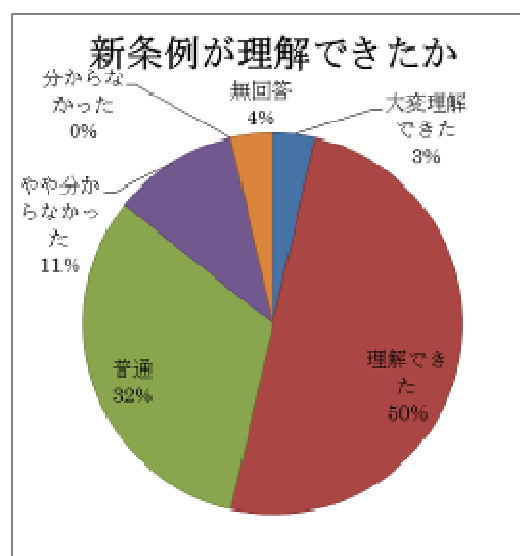
地域住民主体という点は評価できる。

この条例が市民にどこまで届くかにより動きは違うのかな？

飯田市が初めてということで、興味がでました。小水力発電で地域の活性化に繋がればよいと思います。

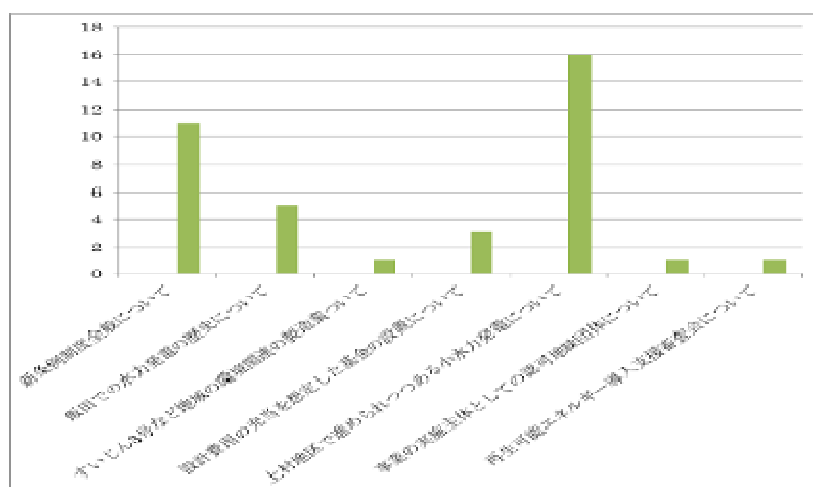
Q3.新条例の説明は理解できましたか。

大変理解できた	1	4%
理解できた	14	50%
普通	9	32%
やや分からなかった	3	11%
分からなかった	0	0%
無回答	1	4%



Q4. 今回の講座で興味を持たれた部分を教えてください。

新条例制度全般について	11
飯田での水力発電の歴史について	5
すいじん 3 号など地域の環境関連の製造業について	1
設計費用の充当を想定した基金の設置について	3
上村地区で進められつつある小水力発電について	16
事業の実施主体としての認可地縁団体について	1
再生可能エネルギー導入支援審査会について	1



Q5. Q4 でチェックしていただいた興味をもたれた部分について詳しくお聞かせください。

上村	大規模すぎるけど、興味を持った。小規模で資力も小さく作ることが必要。
上村	経費に対して利益でペイ出来るのか？
上村	これから進んで行こうとする方向性に興味を持った。
	太陽光パネルについてこれから勉強していきたい。
製造	LED の製造と販売については現状は今どうなっていますか。鼎町内の街灯は LED に移行していますが、飯田市内の街灯はどうなっていますか？
上村	売電収入と設置費用、メンテナンス等を考慮した上で採算があうのか？ 20 年という長期においてその設備は維持できるのか？
上村	若者の仕事を増やす。急成長ではなく、スローで息の長い事業にすること。
上村	水力発電（大きなダムを作らない点）
上村	人口が減少してきている村部等でまとまってこういった事業が設けられ、若い方お年寄りの方も一緒に地域の活性化について話し合うことが出来るのは素晴らしいと思います。
制度	鼎地区として検討を進めてほしい。
新川	水力発電（大きなダムを作らない点）

新川	全国に先駆けて組合を作っていた竜丘の地域性に興味を持った。実際に発電所の跡地等を訪ねてみたいと思った。
新川	飯田市の電気利用組合の歴史を多くの人に広めてもらいたい。
上村 基金	上村での小水力が地区の活性化になれば良いです。 飯田市の基金の設置については、どの程度の物になるか興味があります。
制度	大いに興味があります。
新川	過去に身近で小水力発電が行われた事

Q6. 飯田市の特色である環境政策を地域の経済循環にも繋げていこうとする取組についてどのように考えますか。

良い取組だと思うのでもっと推進してほしい。
自然全体が天然資源です。自然を有効活用しながら共存出来ればと思います。
経済面でも生産面でも進めていって欲しい。
賛成です。
良い事と思います。また経済性について検討を行ってほしい。
良い。
エネルギー問題は年々深刻になってきているので、こういった計画が順調に進めば良いことだと思います。
大変結構なことです。
良いことだと思います。
大変良いと思う。しかし地域主体になった時の金銭面が不安になるのかな？
経費と売電の関係、雇用についても具体的な数字による説明が欲しい。
積極的に推進すべき
大変良い事である。
自然な資源に恵まれている地域でもあるので、先駆的な取組みは良いことだと思います。
良い事だと思います。
日照時間の利用はすばらしい。

Q7. 今後どのような講座があったら参加したいと思いますか。

現状と今後の動向。
リニア開通による飯田市の変動等かな？
リニアに関するもの。
バイオマス等に個人的に導入出来る講座を行ってもらいたい。
全て
太陽光発電(自然エネルギー)の活用について

けもらってもなかなか利用できないので。

- 和紙でどんなものが作れるのかを知りたかった。
- 面白そうだったから。
- ひさかた和紙の良さを体感(工作)出来る良い機会である。
- 先生に誘われたから。
- 先生に勧められて来ました。
- 授業で取り上げていたから。×3
- 子供が工作好きだから。自然な光を体験させたかった。
- ランプシェードがいいと思ったから。
- 回覧で届いたので。
- 友達と一緒にやろう！！と言ったので一緒に参加しました。
- 実際に触れる機会がないので、触ってみようと思い参加しました。
- 珍しいことをしているから。
- 友達を誘ったら「一緒にやる！！」と言って参加しました。

Q2.今日のランプシェードつくろうは、いかがだったでしょうか。

- 皆さん参加した作品は素晴らしい物でした。小学生の発想は素晴らしいと思いました。
- とても楽しく時の経つのを忘れるほどでした。
- 大人も子供も楽しく製作できて、いい企画だと思います。
- 和紙や色紙をちぎって貼り付けるのが楽しかった。考えだすとなかなか難しく楽しい時間でした。
- 親子で1つかそれぞれ1つか少しわかりにくかった。1人1つ作りたかった。
- 楽しかった
- 子供達が夢中になって作る姿に嬉しくなりました。若いお母さんが幼児と話しをしながら楽しそうでした。
- ひさかた和紙は初めて使ったけど、色々な和紙を使ったり、色とりどりに仕上げるのはとても楽しかった。
- ひさかた和紙は知らなかったけど、残していかなければならない文化だと思いました。
- 和紙を使ってランプシェードを楽しんで作ることができた。
- もう少し作る時間がほしかった
- 和紙が意外と破るのが大変でした。丈夫さがわかりました。
- 和紙が思ったよりかためで、貼るのが大変だった。
- 非常に良かった。親子共に楽しめた。
- 郷土食講座。太陽光を体験する講座
- 楽しかった。
- 楽しかったです。作る前にデザインを考えてきたら、もう少しオシャレにできたかも。と思う

- 少し大変だったけど、すてきなものができてよかった。タイトル: 日本の秋
- 楽しかったです。家にないので、使いたいと思います。
- 良かった。和紙を貼るところ。
- 楽しかった。難しかった。

- 日本伝統の和紙は素晴らしいです。講座があれば参加したいです。
- 自分の手を使い工夫出来るものならなんでも。和紙を染め道具箱などを作る等。
- 生活の中で使えるモノづくり。(もちろん無料で)
- ハガキみたいな小さい紙作り。
- 作って楽しむ今回のような講座をして欲しいと思います。(できれば、ひさかたに關係のある材料)
- 額縁。扇子。うちわ。
- 友達と一緒に参加したいです。
- 家で使えるもの。実用的なもの。
- めずらしいこと
- 参加したいです。(友達)

■ 平成25年度 座光寺地域文化祭・募集チラシ



調査の目的：平成25年度 座光寺地域文化祭

省エネクイズに対する回答と感想の把握

調査実施日：平成26年2月1日

回答数：60

【あなたの年齢は？】

	回答数	構成率
小学生以下	35	58%
中学生	7	11%
高校生	1	2%
20代～30代	4	7%
40代～50代	1	2%
60代以上	2	3%
不明無回答	10	17%

Q1.コンビニエンスストア店舗が使う電気量はおよそどのくらい？

項目	回答数	構成率
(ア) 家3軒分	3	11%
(イ) 家5軒分	11	41%
(ウ) 家10軒分以上【正解】	13	48%
無回答	0	0%

Q2.飲料用の自動販売機一台が使う電気量はどのくらい？

項目	回答数	構成率
(ア) 冷蔵庫一台分	0	0%
(イ) 電化製品4台分	16	59%
(ウ) 家一軒分弱【正解】	11	41%
無回答	0	0%

Q3.長野県全体で一番電気を使う時期はいつ？

項目	回答数	構成率
(ア) 1月【正解】	16	61%
(イ) 4月	1	4%
(ウ) 8月	9	35%
無回答	0	0%

【感想】

- 意外と電気を使うところが多いと思いました。
- ②の問題がびっくりした。
- 1問でも正解したので嬉しかった。
- 楽しい勉強になって良かった。
- 思ったより色々なものに電気を使っていて驚いた。
- 良くできていた。
- クイズが難しかったです。
- 1回しか当たっていなかったのが、悔しかったけどいろいろなことがわかって良かったです。
- 地球温暖化のことが良くわかったのが良かったです。
- コンビニの使用量の多さに驚いた。あんなにたくさんあると大変だ。
- 難しかった。
- 難しかったけど、電気の事が良くわかった。
- 一番に関心を持った。

Q4.日本が排出している二酸化炭素の量は世界で何番目？

項目	回答数	構成率
(ア) 一番多い	0	0%
(イ) 5 番目に多い【正解】	8	80%
(ウ) 10 番目に多い	2	20%
無回答	0	0%

Q5.白熱電球を同じ明るさの LED 電球に取り換えると、どのくらい長持ちするの？

項目	回答数	構成率
(ア) 10 倍	0	0%
(イ) 20 倍	2	20%
(ウ) 40 倍【正解】	8	80%
無回答	0	0%

Q6.白熱電球を同じ明るさの LED 電球に取り換えると、電気代はどのくらい減るの？

項目	回答数	構成率
(ア) 半分	0	0%
(イ) 4 分の 1	0	0%
(ウ) 7 分の 1【正解】	10	10%
無回答	0	0%

【感想】

- 5 や 6 がびっくりした。
- 1 番は難しかった。
- 意外と LED は電力が小さいことが分かった。
- 1 問だけあってなかった。
- エコのことがいっぱいわかった。
- 電気のことがわからなかったです。

Q7.スーパーなどのレジ袋を 1 枚つくるには、どのくらいの石油を使うの？

項目	回答数	構成率
(ア) スプーン 1 杯	2	8%
(イ) さかずき 1 杯 【正解】	20	77%
(ウ) コップ 1 杯	4	15%
無回答	0	0%

Q8.最近 100 年間で地球の平均気温はどのくらい変化したでしょう。

項目	回答数	構成率
(ア) ほとんど変化していない	3	11%
(イ) 約 1℃上がった 【正解】	14	54%
(ウ) 約 3℃下がった	7	27%
無回答	2	8%

Q9.シャワーを使っている時は、テレビ何台分のエネルギーを使っているの？

項目	回答数	構成率
(ア) 約 2 台	0	0%
(イ) 約 20 台	13	50%
(ウ) 約 200 台 【正解】	9	35%
無回答	4	15%

【感想】

- 意外な答えがあるのにびっくりした。
- テレビ 200 台分はすごい。
- 勉強になってよかった。
- 最後の問題が難しかった。
- 地球のこととかわかった。

- 電気のことがいろいろ知れて良かった。
- テレビ 200 台分をシャワーで使うのは信じられなかった。
- たくさんヒントが欲しい。
- 難しかったです。
- シャワーは意外とエネルギーを使っているビックリした。

Q10.飯田市が市の方針として打ち出している環境宣言とは何？

項目	回答数	構成率
(ア) 環境健康都市宣言	0	0%
(イ) 環境文化都市宣言【正解】	5	100%
(ウ) 世界遺産都市宣言	0	0%
無回答	0	0%

Q11.飯田市上村で進んでいる小水力発電の計画はなんていう名前の川で進んでいる？

項目	回答数	構成率
(ア) 小沢川【正解】	3	60%
(イ) 野底川	0	0%
(ウ) 間沢川	1	20%
無回答	1	20%

Q12.飯田市の旧竜丘村で住民組合による日本初の小水力発電が完成したのは、今から何年前のこと？

項目	回答数	構成率
(ア) 約 30 年前	0	0%
(イ) 約 50 年前	0	0%
(ウ) 約 100 年前【正解】	4	80%
無回答	1	20%

【感想】

- 発電所の話が面白かった。
- 環境に対する意識をもっともてるようにしたい。
- わからないところがあったけど、全問正解できて良かった。
- 全問正解できてよかったです。
- アンケート

調査の目的：平成25年度 座光寺地域文化祭 ソーラーオルゴール工作ワークショップ
 ショップ 内容に対するご意見・感想の把握

調査実施日：平成 25 年 12 月 8 日

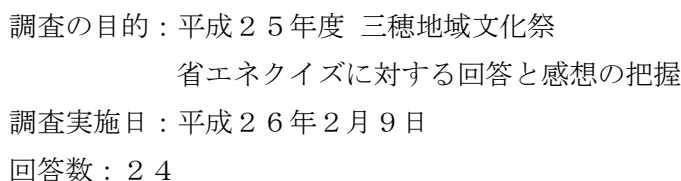
参加人数：18 人

回答者数：16 人

【ソーラーオルゴールづくりの感想】

- ちょっと難しかったけど、コンデンサーとか半田ごてが楽しくて、今度もやりたい。
- ソーラーパネルはいろいろなものが作れてすごいと思いました。
- ちょっと難しかったけど、完成して良かった。
- 勉強にもなって楽しかったです。
- 初めてのハンダを使って楽しかった。LED の電力など色々わかって良かった。
- はんだ付けは初めてやりました。少し難しかったけど、面白かったです。曲が聞けた時嬉しかったです。
- はじめてオルゴールをつくってとても楽しかったです。またオルゴールを作りたいです。
- ソーラーオルゴールは作ったことがなかったけど、太陽の力で歌が聞けたのでおんだんかだと思いました。
- 半田ごてを使うのが難しかった。
- 半田ごてを使うのが楽しかった。
- 半田ごてを使うのが楽しかった。
- 作るのは難しかった。けれど作れたら楽しかったです。やさしく教えてくれてありがとう。
- たのしかったよ
- ソーラーオルゴールをつけるのがちょっと難しかったです。でも楽しかったです。
- たのしかった
- ソーラーオルゴールを作って楽しかった。

■平成25年度 三穂文化祭・募集チラシ



【あなたの年齢は？】

	回答数	構成率
小学生	18	75%
中学生	2	9%
高校生	0	0%
20代～30代	0	0%
40代～50代	1	4%
60代以上	1	4%
不明無回答	2	8%

Q1.コンビニエンスストア店舗が使う電気量はおよそどのくらい？

項目	回答数	構成率
(ア) 家 3 軒分	0	0%
(イ) 家 5 軒分	2	25%

(ウ) 家 10 軒分以上【正解】	6	75%
無回答	0	0%

Q2.飲料用の自動販売機一台が使う電気量はどのくらい？

項目	回答数	構成率
(ア) 冷蔵庫一台分	1	12%
(イ) 電化製品 4 台分	3	38%
(ウ) 家一軒分弱【正解】	4	50%
無回答	0	0%

Q3.長野県全体で一番電気を使う時期はいつ？

項目	回答数	構成率
(ア) 1 月【正解】	5	62%
(イ) 4 月	0	0%
(ウ) 8 月	3	38%
無回答	0	0%

感想

- いろんなことが分かった。生活のことが分かった。
- 全部授業でならっていません。
- 意外と電気を一番使う時期が一月だと分かった。
- コンビニエンスストアの電気量が家の 10 軒分以上だと知って面白かった。
- 自動販売機の電気量が意外と多かった。
- どのくらい電気を使うかが分かった。

Q4.日本が排出している二酸化炭素の量は世界で何番目？

項目	回答数	構成率
(ア) 一番多い	1	12%
(イ) 5 番目に多い【正解】	4	50%
(ウ) 10 番目に多い	3	38%
無回答	0	0%

Q5.白熱電球を同じ明るさの LED 電球に取り換えると、どのくらい長持ちするの？

項目	回答数	構成率
(ア) 10 倍	0	7%

(イ) 20 倍	4	50%
(ウ) 40 倍【正解】	4	50%
無回答	0	0%

Q6.白熱電球を同じ明るさの LED 電球に取り換えると、電気代はどのくらい減るの？

項目	回答数	構成率
(ア) 半分	2	25%
(イ) 4 分の 1	6	75%
(ウ) 7 分の 1【正解】	0	0%
無回答	0	0%

感想

- 電気の量がわかった。
- 面白かった。
- すごいですね。
- 色々わかって良かった。

Q7.スーパーなどのレジ袋を 1 枚つくるには、どのくらいの石油を使うの？

項目	回答数	構成率
(ア) スプーン 1 杯	0	0%
(イ) さかずき 1 杯【正解】	2	50%
(ウ) コップ 1 杯	2	50%
無回答	0	0%

Q8.最近 100 年間で地球の平均気温はどのくらい変化したでしょう。

項目	回答数	構成率
(ア) ほとんど変化していない	0	0%
(イ) 約 1℃上がった【正解】	4	100%
(ウ) 約 3℃下がった	0	0%
無回答	0	0%

Q9.シャワーを使っている時は、テレビ何台分のエネルギーを使っているの？

項目	回答数	構成率
(ア) 約 2 台	0	0%
(イ) 約 20 台	3	75%

(ウ) 約 200 台【正解】	1	25%
無回答	0	0%

感想

- たくさんのエネルギーをつかうことが分かった。
- シャワーはテレビ 200 台使うことが分かった。
- シャワーを使っているときのエネルギーには驚いた。

Q7.スーパーなどのレジ袋を 1 枚つくるには、どのくらいの石油を使うの？

項目	回答数	構成率
(ア) 環境健康都市宣言	0	0%
(イ) 環境文化都市宣言【正解】	4	100%
(ウ) 世界遺産都市宣言	0	0%
無回答	0	0%

Q8.最近 100 年間で地球の平均気温はどのくらい変化したでしょう。

項目	回答数	構成率
(ア) ほとんど変化していない	0	0%
(イ) 約 1℃上がった【正解】	4	100%
(ウ) 約 3℃下がった	0	0%
無回答	0	0%

Q9.シャワーを使っている時は、テレビ何台分のエネルギーを使っているの？

項目	回答数	構成率
(ア) 約 2 台	0	0%
(イ) 約 20 台	3	75%
(ウ) 約 200 台【正解】	1	25%
無回答	0	0%

感想

- たくさんのエネルギーをつかうことが分かった。
- シャワーはテレビ 200 台使うことが分かった。
- シャワーを使っているときのエネルギーには驚いた。

Q10.飯田市が市の方針として打ち出している環境宣言とは何？

項目	回答数	構成率
(ア) 環境健康都市宣言	0	0%
(イ) 環境文化都市宣言【正解】	4	100%
(ウ) 世界遺産都市宣言	0	0%
無回答	0	0%

Q11.飯田市上村で進んでいる小水力発電の計画はなんていう名前の川で進んでいる？

項目	回答数	構成率
(ア) 小沢川【正解】	4	100%
(イ) 野底川	0	0%
(ウ) 間沢川	0	0%
無回答	0	0%

Q12.飯田市の旧竜丘村で住民組合による日本初の小水力発電が完成したのは、今から何年前のこと？

項目	回答数	構成率
(ア) 約 30 年前	0	0%
(イ) 約 50 年前	3	75%
(ウ) 約 100 年前【正解】	1	25%
無回答	0	0%

感想

■2 問正解できた。

アンケート

調査の目的：平成25年度 三穂地域文化祭 ソーラーオルゴール工作ワーク

ショップ 内容に対するご意見・感想の把握

調査実施日：平成26年2月9日

参加人数：5人

回答者数：5人

【ソーラーオルゴールづくりの感想】

- 鳴ってよかった。
- はんだをとかすのが難しかったけど、作り終えて鳴らすと楽しかった。
- 楽しかったのでまたやりたいです。
- はんだづけがたのしかった
- 初めてのハンダを使って楽しかった。LEDの電力など色々わかって良かった。

h 丸山地区公民館におけるアンケート集計結果

■平成25年度 丸山地域文化祭・募集チラシ



■アンケート

調査の目的：平成25年度 丸山地域文化祭

省エネクイズに対する回答と感想の把握

調査実施日：平成25年11月9日

回答数：7

【あなたの年齢は？】

	回答数	構成率
小学生	1	14%
中学生	0	0%
高校生	0	0%
20代～30代	0	0%
40代～50代	0	0%
60代以上	3	43%
無回答	3	43%

Q1.コンビニエンスストア店舗が使う電気量はおよそどのくらい？

項目	回答数	構成率
(ア) 家3軒分	0	0%
(イ) 家5軒分	0	0%

(ウ) 家 10 軒分以上【正解】	1	100%
無回答	0	0%

Q2.飲料用の自動販売機一台が使う電気量はどのくらい？

項目	回答数	構成率
(ア) 冷蔵庫一台分	0	0%
(イ) 電化製品 4 台分	1	100%
(ウ) 家一軒分弱【正解】	0	0%
無回答	0	0%

Q3.長野県全体で一番電気を使う時期はいつ？

項目	回答数	構成率
(ア) 1 月【正解】	1	100%
(イ) 4 月	0	0%
(ウ) 8 月	0	0%
無回答	0	0%

【感想】

■ けっこう難しかったけど、おもしろかった。

Q4.日本が排出している二酸化炭素の量は世界で何番目？

項目	回答数	構成率
(ア) 一番多い	1	17%
(イ) 5 番目に多い【正解】	2	33%
(ウ) 10 番目に多い	2	33%
無回答	1	17%

Q5.白熱電球を同じ明るさの LED 電球に取り換えると、どのくらい長持ちするの？

項目	回答数	構成率
(ア) 10 倍	0	0%
(イ) 20 倍	1	17%
(ウ) 40 倍【正解】	5	83%
無回答	0	0%

Q6.白熱電球を同じ明るさの LED 電球に取り換えると、電気代はどのくらい減るの？

項目	回答数	構成率
----	-----	-----

(ア) 半分	3	50%
(イ) 4 分の 1	2	33%
(ウ) 7 分の 1【正解】	1	17%
無回答	0	0%

【感想】

- 勉強になりました。
- ためになりました。

アンケート

調査の目的：平成 2 5 年度 丸山地域文化祭 ソーラーオルゴール工作ワークショップ 内容に対するご意見・感想の把握

調査実施日：平成 2 5 年 1 1 月 9 日

参加人数：3 人

回答者数：3 人

【ソーラーオルゴールづくりの感想】

- 細かい作業でしたが出来上がりうれしかったです。
- 30 年ぶりのハンダで苦労しました。
- 久しぶりのはんだ付けと線をうまく切るのがむずかしかったですが、鳴った時はうれしかったです。良い体験ができました。

i 『ドイツに学ぶ市民主体の地域づくり』講演会に おけるアンケート結果

■ドイツに学ぶ市民主体の地域づくり講演会・募集チラシ

みんなの環境学習講座

**ドイツに学ぶ
市民主体の地域づくり**

★ドイツの自然エネルギー政策の最新動向を学ぶ！
★都市再生と環境政策を学ぶ！

10月25日(金) 18:30-20:45

会場 藤公光晴 3階会議室

参加費 無料

主催 NPO法人 市民主体の地域づくり

共催 熊谷市教育委員会

問い合わせ ☎ 0265-24-4821

講師紹介

沼田 泰雄氏 (Noriki Koda)
公益財団法人 日本林業振興会
森林政策課 課長
森林政策、林業政策、林業振興をテーマに、企業や自治体等の関係者から、森林政策
をテーマに、森林政策、林業政策、林業振興をテーマに、企業や自治体等の関係者から、森林政策
をテーマに、森林政策、林業政策、林業振興をテーマに、企業や自治体等の関係者から、森林政策

トプスデン・シュワルツ氏 (Torsten Schwarz)
ドイツ連邦エネルギー・環境部
エネルギー政策課 課長
エネルギー政策、エネルギー政策、エネルギー政策をテーマに、企業や自治体等の関係者から、森林政策
をテーマに、森林政策、林業政策、林業振興をテーマに、企業や自治体等の関係者から、森林政策

ミヒャエル・ラング氏 (Mr. Michael Lange)
ドイツ連邦エネルギー・環境部
エネルギー政策課 課長
エネルギー政策、エネルギー政策、エネルギー政策をテーマに、企業や自治体等の関係者から、森林政策
をテーマに、森林政策、林業政策、林業振興をテーマに、企業や自治体等の関係者から、森林政策

プログラム

18時00分～ 開 場

18時30分～18時35分 授 受

18時35分～19時00分 ドイツにおける市民主体の地域づくりによる再生可能エネルギー事業
(シュワルツ氏・沼田氏)

19時00分～19時05分 木質バイオマスエネルギーの現状とドイツでの展開の経緯と日本への
メッセージ
(ラング氏・沼田氏)

19時05分～20時00分 休 息

20時00分～20時10分 熊谷市立市民会館の概要
(熊谷市立市民会館)

20時10分～20時45分 『市民主体』をテーマにして、ドイツ・日本・熊谷の
視点で質疑応答

18時00分～18時30分 授 受

18時30分～18時35分 授 受

18時35分～19時00分 ドイツにおける市民主体の地域づくりによる再生可能エネルギー事業
(シュワルツ氏・沼田氏)

19時00分～19時05分 木質バイオマスエネルギーの現状とドイツでの展開の経緯と日本への
メッセージ
(ラング氏・沼田氏)

19時05分～20時00分 休 息

20時00分～20時10分 熊谷市立市民会館の概要
(熊谷市立市民会館)

20時10分～20時45分 『市民主体』をテーマにして、ドイツ・日本・熊谷の
視点で質疑応答

■スマートサステイナブルソリューションズ株式会社 会社概要

会社案内

■会社概要■

商 号 スマートサステイナブルソリューションズ株式会社
Smart Sustainable Solutions Co., Ltd.

所在地 宮崎県宮崎市藤原町原田 406 番地 1

電 話 0985-52-2640 (FAX 兼用) / 携帯電話 090-9474-4980

E-mail info@smart-sustainable-solutions.jp

U R L <http://www.smart-sustainable-solutions.jp>

設立年月日 平成 24 年 9 月 25 日

資本金 60 万円

役 員 代表取締役 長友 孝文
取締役 池田 憲昭

従業員数 1 名 (平成 25 年 7 月 1 日現在)

事業内容

1. 持続可能な産業・社会の構築を支援する戦略・経営・技術コンサルタント業務
2. 林業及び木材産業に関する教育・研修業務
3. 林業及び木材産業のための機器等の輸入及び販売
4. 旅行業、旅行業代理店及び旅行の企画、立案、コンサルタント業務
5. 出版及び書籍の販売
6. 農林水産物の販売
7. 林業
8. 森林緑地に関する土木建築工事の請負・設計・管理・施工
9. 前各号に附帯関連する一切の業務

主要取引銀行 宮崎銀行

■会社沿革■

平成 24 年 9 月 25 日 スマートサステイナブルソリューションズ株式会社を設立

平成 24 年 9 月 25 日 事業開始

平成 25 年 6 月 15 日 本社を垣根町から宮崎県へ移転

平成 25 年 6 月 16 日 代表取締役に長友孝文が就任

■アンケート

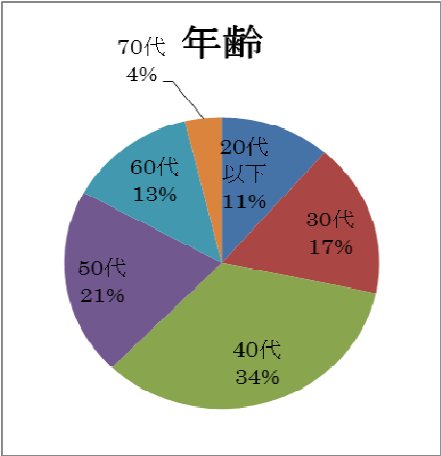
調査の目的：ドイツに学ぶ市民主体の地域づくり講演会の 内容に対するご意見・感想の把握

調査実施日：平成25年10月25日

回答者数：54人

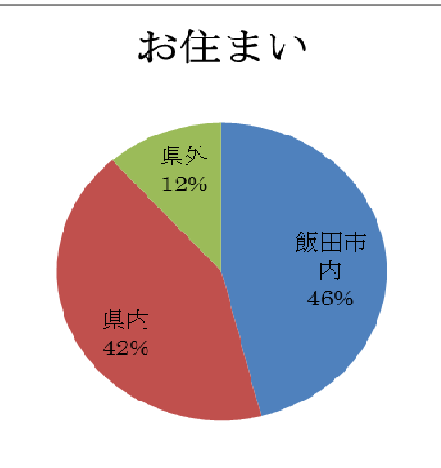
【年 齢】

20代以下	6	11%
30代	9	17%
40代	18	34%
50代	11	21%
60代	7	13%
70代	2	4%
80代	0	0%
90代以上	0	0%



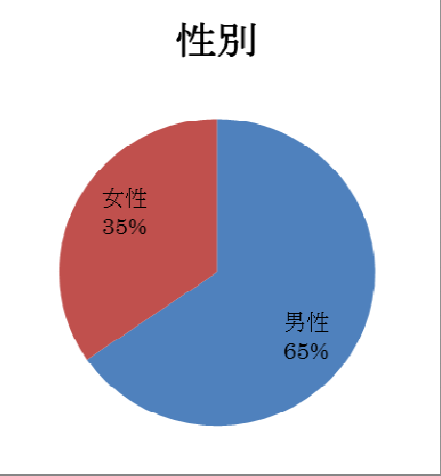
【お住まい】

飯田市内	24	46.15%
県内	22	42.31%
県外	6	11.54%



【性 別】

男性	34	65.38%
女性	18	34.62%



次の項目について、該当する番号を○で囲んでください。(複数可)

Q1.今回の講演会をどのようにしてお知りになりましたか。

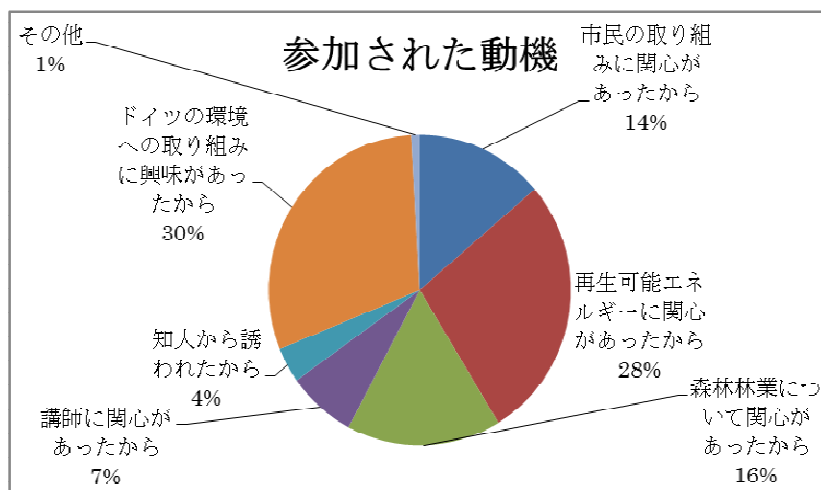
1	新聞を見て	3	5.66%
2	ポスター・チラシを見て	13	24.53%
3	人から聞いて	27	50.94%
4	HP やブログ	2	3.77%
5	その他 ()	8	15.09%

職場 2、おひさま進歩の案内 4、飯田市の案内 1、信州ネット 1、市役所の環境メール 1

Q2.この講演会に参加された動機はなんですか。

1	市民の取り組みに関心があったから	15	27.78%
2	再生可能エネルギーに関心があったから	30	55.56%
3	森林林業について関心があったから	18	33.33%
4	講師に関心があったから	8	14.81%
5	知人から誘われたから	4	7.41%
6	ドイツの環境への取り組みに興味があったから	33	61.11%
7	その他 ()	1	1.85%

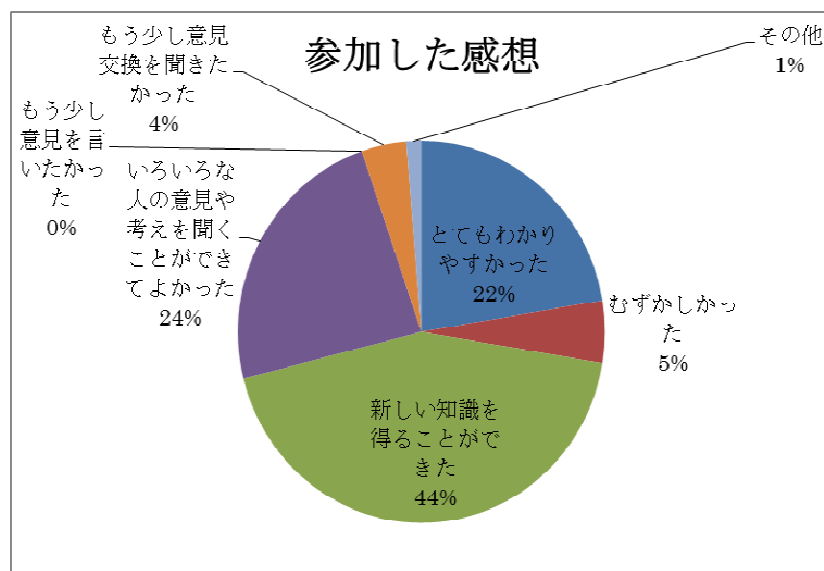
仕事 1



1	とてもわかりやすかった	17	31.48%
2	むずかしかった	4	7.41%
3	新しい知識を得ることができた	33	61.11%
4	いろいろな人の意見や考えを聞くことができてよかった	18	33.33%

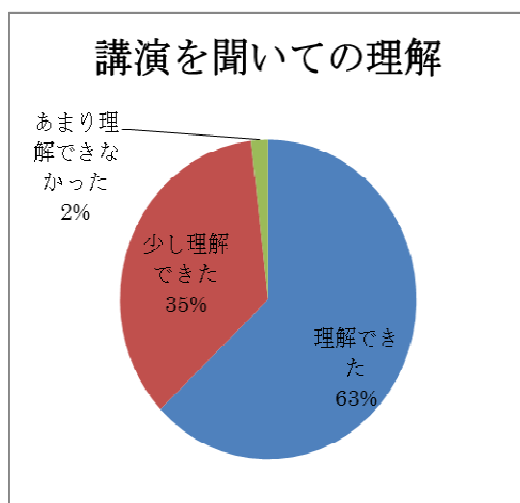
5	もう少し意見を言いたかった	0	0.00%
6	もう少し意見交換を聞きたかった	3	5.56%
7	その他 ()	1	1.85%

内容の資料が欲しかった。



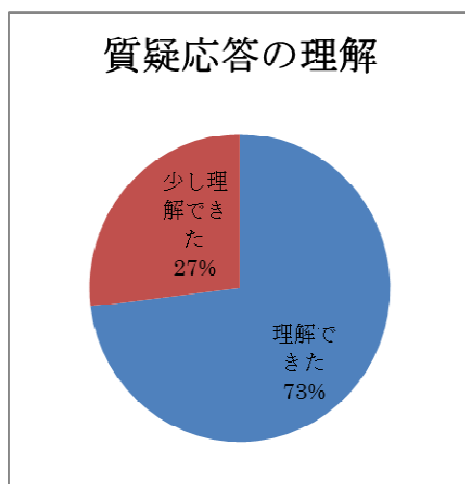
Q4. 第一部の講演について理解できましたか。

1	理解できた	34	62.96%
2	少し理解できた	19	35.19%
3	あまり理解できなかった	1	1.85%
4	理解できなかった		
5	その他()		



Q5. 第二部の質疑応答について理解できましたか。

1	理解できた	38	70.37%
2	少し理解できた	14	25.93%
3	あまり理解できなかった		
4	理解できなかった		
5	その他()		



Q6. 今後どのような講演会(イベント)を望みますか。

太陽光について(技術面も含めて)
小水力発電など
若い方にも参加していただけるイベント。今日もすばらしい講演だったが、次世代を担う若者が少なかった。飯田市の条例を知らない方も多いと思う。
もっと分かりやすくカタカナ語をつかわない講演会を希望します。基礎知識の違いによって受け取り方が全然違ってくると感じました。
市民出資をしている人の考え、想い、原動力など身近な声などきけるイベントなどがあったら良いと思いました。もっと多くの人になぜ持続可能なエネルギーが重要なのか、自然エネルギーについて知ってもらいイベントがたくさんあれば良いなと思いました。
実際に長野県で木質バイオマスについて取り組んだ場合、どんな可能性があるか？掘り下げた内容をもう一度やってほしい。
資金調達の課題について
新しいエネルギーの発電の方法。誰でも簡単に発電できる方法。
ドイツの市民主導のエネルギー事業について、もっとくわしく聞きたいです。
再生可能エネルギーを具体的にビジネスとして立ち上げるノウハウの講座。森林を活用した農業の振興について。
今回のようなイベントで完璧だと思います。

おひさま進歩や飯田市の環境政策の話。まほろば事業の話

Q7. 講演会について感想を、ご記入ください。

再生可能エネルギーがビジネスになっているということを初めて知りました。私は投資というものは悪いイメージでしたが、ドイツでは悪いイメージがないということに気付きました。

森林利用については、日本とドイツの文化、樹種などが異なるので、比較はもう少し調査したい。ただ大規模利用は駄目であることはそのとおりです。

大変良かったと思います。

ドイツ語でお話を聞くのは、はじめてなので、戸惑いでしたが、通訳が素晴らしかったおかげで、よくわかりました。ありがとうございました。太陽光発電のことももう少し聞きたかったです。

バイオマスについての考えが良く理解できた。安心できる森づくりを目指して林業にかかわっていききたい。参加して良かった。森林への考え方が参考になった。

パワポが日本語でないので、ほとんど内容が頭に入らず眠たくなってしまった。

今日本の中山間地の自治体が地域活性化の活路を木質バイオマスに求めているが、本日ランゲさんが提示されたようなリスクを考慮していないので、真に危険であると改めて感じた。

エネルギーの話題を通じて、地域づくりについて考える機会をいただけたので、良かったです。「市民が主体の地域」というキーワードに惹かれてきました。日本の社会の構造をかえる市民の力をシンボルとして盛り上げていきたいです。

木を利用してバイオマス発電として利用するのは以前から効率の点で疑問があったが、熱利用を含めて非効率というのは目からうろこだった。林業を適切に作ることが重要であることは勉強になりました。

実際にドイツでの事例を聴講できて良かった。市民ファンドのこれからが見えたように思う。第二部の質疑応答の時間が長いのが良かった。(内容を深く探ることができた)日本の林業の今後が不安。

木質バイオマスの適切な利用について考えるきっかけとなりました。

市民のモチベーションという言葉が印象に残りました。また長野が森林県を目指す中、ドイツの失敗をもとにバイオマスのあり方、森林のあり方を考える良い機会になったと思います。自分のできる範囲で、地球環境エネルギーについて考え続けていきたい。

大変良かった。

二部のお話で納得できました。バランスが大切ですね。

長友さんの話がわかりやすかった。

興味深く聞かせていただきました。ありがとうございました。

知らないこともたくさん勉強できました。ありがとうございました。

県外から来たものですが、飯田市の市民の方の熱心さに感心しました。質問もたくさん出ていたし、年齢も男女も様々な方が出席されていて層の厚さを感じました。将来に素敵な環境を残せる飯田市として頑張ってください。
貴重なお話が聞けてとてもよかったです。特にバイオマスの事。
大型のバイオマス発電についての勇氣ある、冷静で真剣なメッセージを心より感謝します。
勉強になったと同時に未来に残せる地球にしていきたいと思いました。すごく良い講演会だと思いました。参加できる時があると良いなと思いました。ありがとうございました。
もう少し時間が欲しかったです。大変良い内容でした。特にバイオマス発電の効果についてのグラフは驚きました。(とても少ないし、持続可能な社会づくりに反しているという)
環境、再生エネルギーについては、正直あまり知識も関心もなかったですが今日の話聞いてとても勉強になり、市やが広がった気がします。ありがとうございました。
池田さん、ランゲさん、シュヴァルツさん、県温暖化対策課7名がお話を伺いました。ありがとうございました。
内容が良かっただけに資料配布が乏しかった。
大変参考になりました。ありがとうございました。
飯田市のみなさんが、おひさま事業など、具体的な運用に関心を持っていच्छることに素晴らしいと思いました。条例すごいです。本当にうらやましいです。
日本にない経験あるドイツ視点で再生可能エネルギーの活用の仕方について学ぶことができて良かったです。国として再生可能エネルギーの見方とまた地域等の小規模での見方、活用の仕方はまた違うという発見もありました。
再生可能エネルギーがビジネスになっているということを初めて知りました。私は投資というものは悪いイメージでしたが、ドイツでは悪いイメージがないということに気付きました。
非常に良い内容でした。バイオマス、林業に関する重要な話できた。
少しでもドイツを見習って近づくようになりたいです。森、森林、先祖が植えた木を大切に利用したいと改めて思いました。
和歌山などの山は森に木がたまるばかりで、出口がないこのような場合、バイオマス発電も必要なのでは？もう少し Q & A の時間が欲しかった。
素晴らしかったです。4人の方のお人柄にも感銘を受けました。市民にしかないもの＝モチベーションとうかがって今自分たちがやろうとしていることは、今後社会にとって、とてもパワフルな存在になっていくものだと確信できました。ドイツがそうであるように。がんばります。
とても良い講演会になったと思います。事例も現場からの報告が柱で得るものが多かったです。ありがとうございました。
持続可能な森林管理と木質バイオマス発電は可能ではないか。日本の森林成長量、木材価格(出口)など幾つかの要素があるだろう。
またこのような企画がありましたら、参加したいです。

森林を活用する方法として、木を燃やすバイオマス発電を念頭に考えていたが、問題が多いことを理解できた。もっと知識を深めて地域の森林が元気になるように考え行動していきたい。

勉強不足だったことをまじまじと感じました。ドイツの良いところ悪いところを知れました。

大変勉強になりました。

先進的なドイツの例を聞くことが出来、大変大変参考になりました。

j 飯田市公民館大会第4分科会

■ 飯田市公民館大会 募集チラシ

**持続可能な地域をめざし、
これからの公民館と地域づくりを考える**

第 51 回飯田市公民館大会のご案内
＜併催：ムトス飯田学習会・第 29 回ムトス飯田賞表彰式＞

飯田市公民館大会は、この 1 年間の公民館活動の成果を確認する機会として、また公民館を取り巻く課題を整理しこれからの公民館のあり方を考える機会として開催しています。

「51 回」を迎えた大会は、リニア中央新幹線駅設置や三連発自動車通車経路通に向け地域が挑戦しようとするなか、持続可能な地域を創出する上で公民館が果たす役割や、これからのために重要な視点を提供し、私たち自身に向かえるものにも考える大会とします。

この市民の皆さんにご参加をお待ちします。

日 時 平成 26 年 2 月 16 日 (日) 午後 1 時から 5 時 15 分まで (昼食 0 時 30 分～)

場 所 飯田市公民館

開会行事 午後 1 時～1 時 45 分

- 1 公民館の歌斉唱
- 2 大会長あいさつ
- 3 飯田市教育功労者表彰
- 4 第 29 回ムトス飯田賞表彰
- 5 来賓祝辞
- 6 日程説明



【基調講演】 午後 1 時 55 分～3 時 15 分

テーマ 「地元学」による持続可能な地域づくり
～ないものねだりからあるもの探しへ～

講 師 吉本 哲郎 先生 (地元学ネットワーク主宰)

○持続可能な地域であり続けるためには、その地域と人の持っている力に基づき、自分たちで地域の元気を創っていくことが求められます。自ら調べ、考え、創造していく「地元学」の考えに基づき、無いものねだりをせず、あつ、世にあるものを活用し、磨き、育み、創し「あるもの」を細み合わせていく「一点突破全面展開」の考えから持続可能な地域づくりを学びます。

【分科会】 午後 3 時 30 分～5 時 15 分 (105)

第 1 分科会 「得來を昇格えた地域づくり」

第 2 分科会 「人形劇フェスタを通じた地域づくり」

第 3 分科会 「地域で育てたい子どもの姿」

第 4 分科会 「環境を学び、生かす」

第 5 分科会 「次々を担う若者の地域参加」

第 6 分科会 「ムトスの心で、地域に活動の輪を広げよう！」

分科会の詳細は後部をご覧ください



第 1 分科会

【テーマ】 得來を昇格えた地域づくり

【内 容】 得來を昇格えた地域活動とは…。リニア中央新幹線駅設置や三連発自動車通車の全経路通など、地域を取り巻く環境が大きく変化しようとしています。このような時代において、地域の将来ビジョンをどう描き、そしてどのように実践活動につなげていくのか考えます。

【事例発表】 鹿角市地域自治会 会長 蓮澤英樹さん

【助 言 者】 地元学ネットワーク主宰 西本哲郎さん

第 2 分科会

【テーマ】 人形劇フェスタを通じた地域づくり

【内 容】 いい人形劇フェスタもカーニバルから通算 35 年。この「人形劇」という文化が飯田で、どういった地域を中心に育まれてきたのかを学びたい。地区分館公演が人形劇カーニバル時代からの柱といわれていますが、その理由や意義を再確認し、これからのフェスタをどう地域づくりにつなげていくのかを考えます。

【基調提供】 「いい人形劇フェスタに見る市民文化活動の成果と課題」 飯田女子短期大学幼児教育学科 教授 松崎行代さん

第 3 分科会

【テーマ】 地域で育てたい子どもの姿

【内 容】 子どもたちが健やかに育ち、将来の地域の担い手として地域に愛着を持ち、住み続けたいという思いは誰もが持っていることではないでしょうか。その思いを具体的な取り組みにつなげていくためには、どのような視点を持ち何をすればよいのでしょうか。地域でどんな子どもを育てたいのか、そのために地域が命であることは何か考えます。

【事例発表】 「石のみちるへの感謝状について」 鶴 丘地区 塩澤義典さん

「伊賀良なんでもたんけん隊に参加して」 伊賀良地区 北林省治さん

第 4 分科会

【テーマ】 環境を学び、生かす

【内 容】 飯田市ではごみの分別徹底やレジ袋削減によるごみの減量化、豊かな自然を生かした太陽光や小水力などの開発、また全国初となる再生可能エネルギーに関する条例の制定など、環境先進地として取組みを進めています。身近な生活の中で、地域ぐるみで環境を守り、資源として活用するために一人ひとりができることは何か考えます。

【事例発表】 NPO 法人 環境保存会 代表 藤 野 孝弘さん

上村小水力発電機設置協議会 山口建次さん

第 5 分科会

【テーマ】 次代を担う若者の地域参加

【内 容】 次代を担う若者の地域づくりへの参加は誰かが導いてくれます。地域の若者が地域づくりに参加することは、持続可能な地域づくりなどにつながり、そして影響もなすのでしょうか。そのための仕組みづくりや、地域がそして個人が果たす役割は何をします。

【事例発表】 「若者の視点による地域課題学習について」 南信濃若者プロジェクト会 大庭聡和さん

上村 若い世代で地域を創る会 栗田 孝徳さん

【おまけ】 東京農工大学 非常勤講師 米石 文明さん

第 6 分科会

【テーマ】 ムトスの心で、地域に活動の輪を広げよう！

【内 容】 「～しようとする」自発的な意志や意欲を表す言葉「ムトス」。

ムトス 30 年の節目に、一人ひとりにあるムトス精神を、今一度思い起こしてみよう。実践事例やムトス支援 (助成金、交流会、ファンダ等) を活用した多様な取組を紹介。ムトスの心から始まる自主活動が一層広がる地域づくりを考えます。

【事例発表】 第 29 回ムトス飯田賞受賞団体

◎参加を希望される方は、飯田市公民館までご連絡 (電話・メール可) をお願いします。

◎ご不明な点は、飯田市公民館までお問い合わせください。

〒380-0801 飯田市公民館
連絡先 飯田市市民会館 149
TEL 0264-22-1192 / FAX 22-1025
E-mail: info@city.ita.nagano.jp

k 地方支援事務局への定期的な報告

■ 資料 04_協働取組_団体_月次報告

1 4 1

協働取組 進捗確認フォーム(団体用)

団体が記入し、毎月5日までに地域支援事務局に提出

報告者	小室勇樹		報告日時	2013年8月2日	
事業名	みんなの環境学習講座				
団体名	特定非営利活動法人南信州おひさま進歩				
今月の事業 実施内容	実施日	実施内容	来月の事業 実施予定 (実施日が 決まってい ればお書き ください)	実施予定日	実施内容
	7月30日	「公民館主事との協働でのOIED長姫高校の生徒への講演会」		8月3日	橋北公民館夏祭りマスコットキャラクターさんぽちゃんの出演
				8月6日	飯田市人形劇フェスタ県公民館にて打ち水
今月の会議	実施日	議題及び合意事項	来月の会議 予定 (実施日が 決まってい ればお書き ください)	実施予定日	議題
	7月17日	第一回検討会議 → みんなの環境学習講座に関して地区公民館主事から提出いただいた企画案について主事から説明。			
上記の他に今月の取組で、特筆すべきことがあればお知らせください(例: ●●の紹介で□□教育委員会へ相談に行った等)	7月23日(火)→川路公民館(小島主事、自治振興センター鳴澤様)、竜丘公民館(下平館長、熊谷主事)、県公民館(大澤主事)と検討会での企画案を元に、各地区公民館で打合せを行う。 7月26日(金)→下久堅公民館(長谷川主事)、上村公民館(村澤主事)と検討会での企画案をもとに、各地区公民館で打合せを行う。 7月29日(月)→羽場公民館(吉澤館長、鈴木主事)、三穂公民館(下平主事)と検討会での企画案をもとに、各地区公民館で打合せを行う。 7月31日(水)→川路公民館、上村公民館の主事より講座として省エネに関する要望があり、省エネアドバイザーの遠峰様と電話打合せ。その後企画書の作成。				
想定外の事態、計画の修正があればお書きください					
支援事務局への要望があればお書きください					

協働取組 進捗確認フォーム(団体用)

団体が記入し、毎月5日までに地域支援事務局に提出

報告者	小室勇樹		報告日時	2013年9月4日	
事業名	みんなの環境学習講座				
団体名	特定非営利活動法人南信州おひさま進歩				
今月の事業 実施内容	実施日	実施内容	来月の事業 実施予定 (実施日が 決まってい ればお書き ください)	実施予定日	実施内容
	8月3日(土)	橋北公民館の夏祭り マスコットキャラク ターさんぽちゃんの 出演		9月12日(木)	「家計にやさしい 省エネ講座」19時 ～20時(上村コ ミュニティーセン ター)
今月の会議	実施日	議題及び合意事項	来月の会議 予定 (実施日が 決まってい ればお書き ください)	実施予定日	議題
				9月中旬	地区公民館主事 に集まっていた き、「ドイツに学 ぶ地域主体の地 域づくり」の講 演会に向けた連 絡会(2月に予定 している講演会 についての検討 会)
上記の他に今月 の取組で、特筆 すべきことがあ ればお知らせく ださい(例:●● の紹介で□□教 育委員会へ相 談に行った等)	8月7日:飯田市温暖化対策課山崎さんとの打合せ(9月21日開催予定の県地区公民館 講座を含めた「地域環境権」を扱う講座の中身について相談) 8月23日:温暖化対策課山崎さん、小川さんとの打合せ(ドイツ先進地講演会のプログラ ム等について相談) 8月26日:公民館に設置している太陽光の発電システムを災害時(停電時)に、非常用の 電源として使える旨を説明する書類の作成、配布。 8月28日:羽場公民館の吉澤館長、鈴木主事との打合せ(財産区に関する講座の内容につ いて) 8月28日:下久堅公民館の長谷川主事との関する打合せ(久堅和紙の講座の内容につ いて) 8月29日:連絡会に向かう車中で、市公民館の板倉さんと打合せ(9月中旬にドイツの講 演会ならびに、現在進行中のみんなの環境学習講座について、各主事との連絡会の開 催をする方向性となる。)				
想定外の事態、 計画の修正があ ればお書きくだ さい					
支援事務局へ の要望があれば お書きください					

協働取組 進捗確認フォーム(団体用)

団体が記入し、毎月5日までに地域支援事務局に提出

報告者	小室勇樹		報告日時	2013年10月10日	
事業名	みんなの環境学習講座				
団体名	特定非営利活動法人南信州おひさま進歩				
今月の事業 実施内容	実施日	実施内容	来月の事業 実施予定 (実施日が 決まってい ればお書き ください)	実施予定日	実施内容
	9月12日(木)	「家計にやさしい省エネ講座」(上村コミュニティセンター)		10月20日(日)	上村地区文化祭
	9月20日(金)	公民館中間反省会「地域環境権講座」(県公民館)		10月25日(金)	ドイツに学ぶ市民主体の地域づくり講演会
				10月29日(火)	家庭でできる省エネ講座
今月の会議	実施日	議題及び合意事項	来月の会議 予定 (実施日が 決まってい ればお書き ください)	実施予定日	議題
	9月25日(水)	第二回検討会議(みんなの環境学習講座の連絡会)			
上記の他に今月の取組で、特筆すべきことがあればお知らせください(例: ●●の紹介で□□教育委員会へ相談に行った等)	10日(火) 竜丘地区新川発電所の歴史ヒアリング 12日(木) 羽場地区曙友会との打合せ(財産区と環境教育を講座として出来ないか相談) 19日(木) 竜丘地区新川発電所の歴史ヒアリング 24日(火) 羽場地区曙友会との打合せ(直接、曙友会正副組合長に企画案についてプレゼン) 25日(水) 丸山公民館文化祭の打合せ(11月10日の文化祭出展依頼)				
想定外の事態、計画の修正があればお書きください					
支援事務局への要望があればお書きください					

協働取組 進捗確認フォーム(団体用)

団体が記入し、毎月5日までに地域支援事務局に提出

報告者	小室勇樹		報告日時	2013年11月5日	
事業名	みんなの環境学習講座				
団体名	特定非営利活動法人南信州おひさま進歩				
今月の事業 実施内容	実施日	実施内容	来月の事業 実施予定 (実施日が 決まってい ればお書き ください)	実施予定日	実施内容
	10月20日(日)	「かみむら文化祭」 (上村地区)		11月2日(土)-3 日(日)	羽場地区文化祭 (羽場地区ソー ラーオルゴール づくり)
	10月25日(金)	「ドイツに学ぶ市民主 体の地域づくり」(鼎 地区)		11月10日(日)	丸山文化祭(丸 山地区ソーラー オルゴールづくり)
	10月29日(火)	家庭でできる省エネ 講座(川路地区)			
今月の会議	実施日	議題及び合意事項	来月の会議 予定 (実施日が 決まってい ればお書き ください)	実施予定日	議題
	10月21日(月)	地球温暖化対策課と の打合せ(ドイツの講 演会)			
	10月30日(水)	飯田市公民館打合 せ(木下副館長、板 倉主事)			
上記の他に今月 の取組で、特筆 すべきことがあ ればお知らせく ださい(例: ●● の紹介で□□教 育委員会へ相 談に行った等)	10月3日(木) 羽場地区文化祭打合せ 10月10日(木) 丸山地区文化祭打合せ 10月28日(月) 山法師平澤氏 中間報告				
想定外の事態、 計画の修正があ ればお書きくだ さい					
支援事務局へ の要望があれば お書きください					

協働取組 進捗確認フォーム(団体用)

団体が記入し、毎月5日までに地域支援事務局に提出

報告者	小室勇樹		報告日時	2013年12月6日	
事業名	みんなの環境学習講座				
団体名	特定非営利活動法人南信州おひさま進歩				
今月の事業 実施内容	実施日	実施内容	来月の事業 実施予定 (実施日が 決まってい ればお書き ください)	実施予定日	実施内容
	11月2日-3日	羽場公民館文化祭 『環境展示ならびに ソーラーオルゴール ワークショップ』		12月8日(日)	下久堅和紙会 ラ ンプシェードづくり ワークショップ
	11月9日(土)	丸山公民館文化祭 『環境展示ならびに ソーラーオルゴール ワークショップ』			
今月の会議	実施日	議題及び合意事項	来月の会議 予定 (実施日が 決まってい ればお書き ください)	実施予定日	議題
	11月1日(金)	上村公民館村澤主 事(地域を若い衆で 語らまいか)打合せ		12月16日(月)	座光寺公民館文 化祭出展の打合 せ
	11月19日(火)	公民館大会担当者 会			
	11月28日(木)	公民館大会担当者 会			
上記の他に今月 の取組で、特筆 すべきことがあ ればお知らせく ださい(例: ●● の紹介で□□教 育委員会へ相 談に行った等)	11月13日(水) 下久堅和紙 ランプシェードづくりプレ 11月21日(木) 下久堅ランプシェードづくり打合せ 11月27日(水) 久堅小学校 楮蒸し作業 11月27日(水) 上村第6回若い衆で地域を語らまいかに出席				
想定外の事態、 計画の修正があ ればお書きくだ さい					
支援事務局へ の要望があれば お書きください					

協働取組 進捗確認フォーム(団体用)

団体が記入し、毎月5日までに地域支援事務局に提出

報告者	小室勇樹		報告日時	2013年12月26日		
事業名	みんなの環境学習講座					
団体名	特定非営利活動法人南信州おひさま進歩					
今月の事業 実施内容	実施日	実施内容	来月の事業 実施予定 (実施日が 決まってい ればお書き ください)	実施予定日	実施内容	
	12月8日(日)	ひさかた和紙講座 ラ ンプシェードづくり ワークショップ(下久 堅公民館)		1月24日(土)	家庭でできる省エ ネ講座(羽場公民 館)	
				1月25日(日)	家計にやさしい省 エネ講座(上村公 民館)	
今月の会議	実施日	議題及び合意事項	来月の会議 予定 (実施日が 決まってい ればお書き ください)	実施予定日	議題	
	12月3日(火)	文化祭出展打合せ (三穂公民館)		1月8日(水)	文化祭出展打合 せ(三穂公民館)	
	12月16日(月)	文化祭出展の実行 委員会打合せ(竜丘 公民館)		1月17日(金)	文化祭出展の実 行委員会打合せ (三穂公民館)	
上記の他に今月 の取組で、特筆 すべきことがあ ればお知らせく ださい(例: ●● の紹介で□□教 育委員会へ相 談に行った等)	12月3日(火)下久堅ランプシェードワークショップ 試行 12月11日(水) ひさかた和紙の会の検討会に参加 12月17日(火) 飯田市民館大会電話打合せ(鼎公民館主事大澤様)					
想定外の事態、 計画の修正があ ればお書きくだ さい						
支援事務局へ の要望があれば お書きください						

協働取組 進捗確認フォーム(団体用)

団体が記入し、毎月5日までに地域支援事務局に提出

報告者	小室勇樹		報告日時	2014年2月6日	
事業名	みんなの環境学習講座				
団体名	特定非営利活動法人南信州おひさま進歩				
今月の事業 実施内容	実施日	実施内容	来月の事業 実施予定 (実施日が 決まってい ればお書き ください)	実施予定日	実施内容
	1月24日(土)	家庭でできる省エネ講座(羽場公民館)		2月1日(土)	座光寺公民館文化祭に環境展示とソーラーオルゴールワーク ショップ
	1月25日(日)	家計にやさしい省エネ講座(上村公民館)		2月9日(日)	三穂公民館文化祭に環境展示とソーラーオルゴールワークショップ
				2月16日(日)	
今月の会議	実施日	議題及び合意事項	来月の会議 予定 (実施日が 決まってい ればお書き ください)	実施予定日	議題
	1月8日(水)	文化祭出展打合せ(三穂公民館)		2月4日(水)	飯田市公民館大会 第4分科会 担当者会議
	1月17日(金)	文化祭出展の実行委員会打合せ(三穂公民館)		2月21日(金)	第三回検討会
上記の他に今月の取組で、特筆すべきことがあればお知らせください(例: ●●の紹介で□□教育委員会へ相談に行った等)					
想定外の事態、計画の修正があればお書きください					
支援事務局への要望があればお書きください					

協働取組 進捗確認フォーム(団体用)

団体が記入し、毎月5日までに地域支援事務局に提出

報告者	小室勇樹		報告日時	2014年2月28日	
事業名	みんなの環境学習講座				
団体名	特定非営利活動法人南信州おひさま進歩				
今月の事業 実施内容	実施日	実施内容	来月の事業 実施予定 (実施日が 決まってい ればお書き ください)	実施予定日	実施内容
	2月1日(土)	座光寺公民館文化祭に環境展示とソーラーオルゴールワークショップ			
	2月9日(日)	三穂公民館文化祭に環境展示とソーラーオルゴールワークショップ			
今月の会議	実施日	議題及び合意事項	来月の会議 予定 (実施日が 決まってい ればお書き ください)	実施予定日	議題
	2月4日(水)	飯田市公民館大会第4分科会 担当者会議			
	2月21日(金)	第三回検討会			
上記の他に今月の取組で、特筆すべきことがあればお知らせください(例: ●●の紹介で□□教育委員会へ相談に行った等)					
想定外の事態、計画の修正があればお書きください					
支援事務局への要望があればお書きください					

1 自己評価の実施

■ 振り返りシート

平成25年度 環境省地域活性化を担う環境保全活動の協働取組事業
振り返りシート(採択団体・地方支援事務局)

大項目	小項目	振り返りの視点	振り返り	
			採択団体	地方支援事務局
【効率性】	人的資源の投入	・スタッフの配置は適切だったか ・関係主体の役割分担は適切だったか	公民館との協働事業の初年度であり、公民館主事との関係づくりを第一の目的とする上では適切だった。関係する団体との熱量も上がってきていて、来年度は今年度の課題も含め修正点などを検討し、さらに広域な人員の配置が可能になると考えている。	
	財政資源の投入	・本事業に係る経費支出の内訳は適正だったか、判断基準はどうか	公民館との関係づくりを目的とした初年度だったため、地区の文化祭など既存のイベントの参加が主たる活動となった。そのため支出も突出する講座というよりも、平均的な支出となったと考えている。来年度からは、これを土台としながらも、地域のニーズに則した活動を行いながら、適正な経費支出を考えて活動していきたい。	
【効果・目標達成度】	協働取組の展開	・プロジェクト全体でPDCAサイクルを回したか	各地区公民館に実際に何度も足を運びながら、企画の立案から実行までを行った。また検討会では、他の公民館主事やアドバイザーなどから評価を受けている。来年度からはさらに修正した講座として検討していきたい。	
	地域課題	・地域のニーズを把握したか、解決に貢献したか	地域のニーズの把握は、公民館主事を窓口にして、関係する住民のニーズの把握を行った。	
	人材育成	・スタッフの成長は見られたか ・人材育成の機会設計をどのように行ったか	実施主体の担当者とともに、公民館主事、自治振興センター、また地域と密に関わりを持つことができ、今後この関係図はさらに広がっていくものと考えている。	
【関係主体の巻き込み度合い】	地域住民	・共通のビジョン構築をできたかどうか ・信頼関係の構築に向けて、どのような取り組みをしたか	地域の会合や小さな集まりにも参加するということを基本として、関係づくりを行ってきた。(曜書会、猪の収穫作業等)	
	企業	・共通のビジョン構築をできたかどうか ・企業の方針や抱えている課題を、どのように把握したか	粥まちづくりカンパニーが管理している飯田エコハウスの利用は、下久堅公民館のワークショップの展示に一回に留まったが、今後は共通のビジョンを構築して、この施設を利用して、環境学習講座の知名度を広げていきたい。	
	自治体	・共通のビジョン構築をできたかどうか ・自治体の政策やニーズ、報告書を調べて、何を必要としているのかを把握したか	お互い共通の認識をしているため、非常に協力的だった。また現場との間に公民館主事に入っていたいて、その折衝を行ったため、公民館との関係性は年度当初に比べて、かなり深まったと考えている。	
	教育・研究機関	・共通のビジョン構築をできたかどうか ・教育・研究機関の方針やニーズ、報告書を調べて、何を必要としているのかを把握したか	長姫高校の生徒と一緒に省エネクイズや、久堅和紙のワークショップを実施できた。地域の環境・文化をどのように守っていくのかという点で今後も協働していきたい。	
	地域メディア	・地域メディアにとりあげてもらうためのアプローチを行ったかどうか、結果はどのようなものか	地元の新聞にプレスリリースを流し取材をしていただいたりなどで各メディアに投げて取り上げられた。	
	その他	・プロジェクトに関して外部関係者の意見を把握できる場を、どのように設計し、どのように実施したか ・参加しやすい場づくりを行えたか	検討会を設けてそこに外部講師として出席いただいた。	

【受益者の満足度】	市民団体のニーズと期待に対して		公民館主事を通して、市民団体との協働を計った。市民団体との協働において失敗もあったが、来年度はここを土台として新たな協働のありかたが模索できると考えている。	
	一般的地元民のニーズと期待に対して		公民館活動自体が、一般市民のニーズを取り上げられる機会となっている。	
	企業のニーズと期待に対して	・受益者の満足度を把握する取り組み(アンケート、ヒアリングなど)を実施したか ・受益者が本音を言えるような工夫をしたか？	協働相手として、入っていただいている企業には、中間説明会として時間を設けていただき、そこで今後どのようなことができるか実態の把握を行った。	
	自治体のニーズと期待に対して		自治体はすでに協働団体としてはいつているので、飯田市の地球温暖化対策課ならびに、飯田市中央公民館から意見を聞いた。	
	教育・研究機関のニーズと期待に対して		特にない。	
【社会的インパクト】	組織目標の達成度合い	・協働カレンダー⑥に対して、結果はどうだったか	最高の状態とは言えないまでも、協働取組を実施した地区公民館にて、次年度以降の年間スケジュールの中に、今年度実施したみんなの環境学習講座からさらに進展したものが企画されるものと考えており、一定の目標は達成できたものと考えている。	
	知名度	・マスメディア(新聞・テレビ)/ローカルメディア(ニュースレター、地域情報誌、市報)/個人レベルでのメディア(ブログ、SNSなど)に対して、どのように働きかけ、どのような内容・成果を挙げたか	市全体の講演会の場合には、プレスリリースを行ったり、回覧板や飯田市の行政のHP、ブログ、メールなどを活用した。	
	更なる協働基盤準備	・本協働取組で把握した現場のニーズに基づいた提案を、企業や商工会、教育・研究機関などに、適用するように働きかけたか	多方面への協働については、幾分不足していたように感じる。しかし温度差はあるものの、S地区との関係を作り、次年度以降も新条例や環境をテーマとした公民館活動の実施できるものと考えと一定の協働基盤は整えられたと思う。	
	更なる制度準備	・本協働取組で把握した現場のニーズに基づいた提案を、自治体などに、政策への反映や他の事業への適用するように働きかけたか	自治体の制度制作に関しては、特別な働きかけは行っていない。	
	地域の課題解決	・本協働取組を通して、地域の環境保全に貢献できたかどうかを把握したか、その内容 ・本協働取組を通して、企業の実業向上や雇用拡大、地域活性化などに貢献できたかどうかを把握したか、その内容はどうか	自然エネルギーにおける地域づくりという地域環境の理念に基づく活動は行えたものと考えている。	
	横断的課題への影響	・地域が今後目指す姿などを表現するキーワードを生み出し、共感を喚起したか ・本協働取組に参加された(自治体以外の)新しい地域での活動が生まれたか	飯田市の特出する環境政策と公民館活動の協働事業が初だったということが、今後もっとも横断的な課題解決へ寄与できるものと考えている。	
【計画妥当性】	年度実施計画時との比較(内部条件・外部条件・資源投入・組織構成や機能・事業展開)	・状況に応じて計画を変更する際、どのような考え方をし、プロセスで行ったか ・計画と結果のズレをどのように判断し、それを次の機会に活かすようにしたか	中間報告を行い関係機関から助言を聞き、取組に活かした。	
【自立発展性】	組織(自団体)	・本協働取組事業の使命・目的・今後の展開を常に関係主体と共有しているか ・特定の組織に責任と役割が偏らないように役割分担がなされているか	主体として地域住民のニーズが基本となるので、個々の部分は、公民館や自治振興センターと協議の元進めていくことで、担保されていくものと考えている。	
	組織(協働基盤)	・本協働取組事業の使命・目的・今後の展開を常に関係主体と共有しているか ・特定の組織に責任と役割が偏らないように役割分担がなされているか	上記と重なるが、実施したいという希望のもとに企画を立案していくので、その度合いに応じて、今後は市民団体と直接交渉するなどして、偏りが無くなるものと考えている。	
	財務	今後の協働取組事業の発展に向けた資金調達計画があるか、その内容はどのようなものか	資金面についても公民館や自治振興センターや市民団体などと協働して、出来る範囲の規模で、市民活動に環境の試みを入れていきたい。まだニーズの把握を十分に行った上で、環境の試みを恒例の行事にしていきたい。	
	技術	協働取組事業を自立発展するためのノウハウを蓄積するための取り組みをしているか、その成果はどのようなものか	協働事業の柱は、飯田市の特出した環境政策と公民館活動にあるためにノウハウの蓄積という面ではまだそこに頼っている面が大きくある。しかし今後20地区に広げていくためにも自立発展していけるノウハウを作っていくたい。	

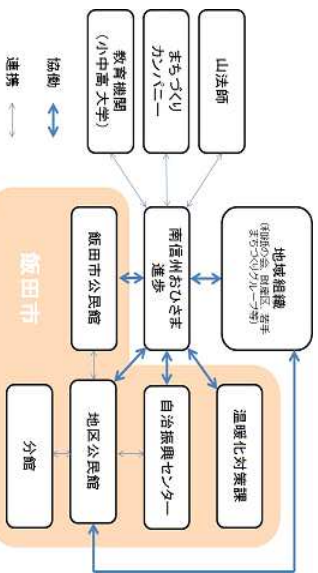
事業名:みんなの環境学習講座

記入日:2014年2月28日

①【WHY】この取組がなぜ必要なのか

・現状表面化している問題
飯田市は、「環境モデル都市」として、全国に先駆けた環境への先駆的な取り組みを行っている他、本年度より施行された「飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例」として「地域環境権」という自然エネルギー権利を全国に先駆けて規定している。けれども、この条例の市民の認知度は決して高くない。またそれを推進していく多様な主体の協働取組みが進んでいない。
・問題を放置した場合に想定される状況
地域性あふれる事業として、環境学習や自然エネルギー事業が育たない。また市の都市像のモデルである「環境文化都市」が将来にわたって実現できない。

④【WHO】誰とどのような関係性で協働するのか



⑦【PROBLEM】事業実施における課題・懸念はなにか 要素例)人員、財政、法・制度など

・人員:実施主体のみならず、地区公民館主事や地域の一部の人へ負担が集中している。
・財政:人件費、講師費用、事業実施費用をどのように捻出するのか。
・法・制度:現在飯田市の法・制度について課題、リスクはなく、支援をいただいている。

②【WHAT】この取組で何をするのか

・2014年
・全20地区の主事を対象とした環境意識を深める「主事学習会」を開催する。
・環境に興味を持つ方に「環境リーダー養成講座」を開催する。
・昨年まで協働を実施した公民館には、さらに発展させた環境学習講座を企画し、昨年実施できなかった公民館においては、担当の主事と新たな協働関係を結ぶ取組を行う。
・2015年
・全20地区の公民館で「環境」を協働取組を実施する。
・地域組織との連携を進展させていく。
・地域独自の環境教育やワークショップの企画を作っていく。
・2016年
・全地区公民館で環境学習講座が実施される。
・地域で環境学習を行える組織を独立させていく。
・地域から生まれる自然エネルギー事業を行う組合を支援する。
・その組合と連携し、環境学習を含めた同様の取り組みを他地域に広げていくための支援を行う。

⑤【WHO】誰がどのような役割を果たすのか

【南信州おひさま推進】実施主体として地区公民館の主事と協働し、地域のニーズを把握しながら環境学習講座を実施する。また飯田市、協働主体と連絡を取り合いながら、地域独自の環境学習講座を作り実行する。
【飯田市中央公民館】協働主体として、飯田市の20地区ある地区公民館と南信州おひさま推進との橋渡しを行う。
【地区公民館】南信州おひさま推進と協働しながら、プログラムの作成、広報、また分館との調整作業を行う。
【また公民館の場所の提供を行う】。
【飯田市温暖化対策課】南信州おひさま推進と協働しながら、飯田市環境政策全般、また所管「地域環境権」に関する制度の企画の立案と講座の実施にあたる。
【飯田まちづくりカンパニー】信州飯田エコハウス利用について許可を出し、企画についても協働して実行する。またエコハウスからの広報、中心市街地の店舗への広報活動での連携を行う。また検討会においては南信州おひさま推進からアドバイザーを求める。
【山法師】山法師の学会への利用について許可を出し、企画についても協働して実行する。また下久堅地区での環境学習講座を今後連携して行う。検討会においては南信州おひさま推進からアドバイザーを求める。
【自治振興センター】センター内の環境保全委員会と協働し省エネ講座を実行したり、地域環境権の進捗に関する報告書を実行する。
【地域組織】南信州おひさま推進、また地区公民館と協働し地域独自の環境学習のプログラムを作成し実行する。
【教育機関】南信州おひさま推進、また地区公民館と協働し地域独自の環境学習のプログラムを作成し実行する。

⑧【IMAGE】課題・懸念が解決された状態はどのようなものか

・人員:多様な主体が関わり、独自に環境学習講座が実行される状態
・財政:多様な主体が講座内で直接的に費用を賄ったり、飯田市等の予算として間接的に費用を賄える状態。
・法・制度:現在の状態。

m 中期計画の作成

■ 中期計画シート (表)

2014年の事業内容・目標		2015年の事業内容・目標				2016年の事業内容・目標			
事業内容:前年度の最終検討会で、まず各地区の中心になる公民館主事の環境意識を深める「主事学習会」と、各地区から興味のある方々を集めて「環境リーダー養成講座」の二つを行うことが決定している。14年度は、そうした各地区のキーマンとなる人材を発掘しながら新たな取組を進めていく。環境学習等は前年度から継続できる地区公民館では引き続き各プログラムを深め展開する。また今まで連系していなかった各地区の地区公民館の担当者となつた開と、地域組織と交流を深めていく。 目標:今後、各地区の中心的キーマンとなる人材を「講座」等で発掘していく。前年度関係が作られた地域とはさらに取り組みを深めていく。また今まで関係のなかった各地区・各団体との良好な関係を広げていく。		事業内容:連携主体を自治振興センターや、美術博物館、大学等に広く声をかけ協力ある講座を作っていく。各地区のキーマンとなる人材や地域組織(和紙の会、若者まちづくりグループ、財産区等)との連携を深め、地域のニーズを探りながら広く若男女が参加できる講座を作る。自然エネルギー事業を行う組合組織とも交流し、環境学習等の協議を行う。 目標:2014年継続し実施された各地区・各団体では、各地区のリーダー等により地域の独自の環境学習講座の開設を目指す。地域環境権を基にした事業化への進捗状況を、広く告知するための講座を行い、設立前の自然エネルギー事業を行う組合と協働事業を行う。				事業内容:全地区公民館で「環境」をテーマとした試みが市の方針として基本事業とされるよう飯田市に働きかける。 目標:全地区公民館で環境学習講座が実施される。地域で環境学習を行える組織を独立させていく。地域から生まれる自然エネルギー事業を行う組合を支援する。その組合と連携し、環境学習を含めた同様の取り組みを他地域に広げていくための支援を行う。 「環境」をテーマとした試みを支援すること、全地区公民館、自治振興センターの主業務のひとつともう。			
行動計画		2014年度				2015年度			
		4月～	7月～	10月～	1月～	4月～	7月～	10月～	1月～
連絡協議会		連絡協議会(年2回)							
「環境」をテーマとして各地区・各団体との良好な関係作り		主事学習会		地区と協働		主事学習会		地区と協働	
各地区の人材となる「リーダー養成講座」の開催		人材発掘		リーダー養成講座		人材発掘		リーダー養成講座	
各地区・各団体との独自の学習企画作りを行う		3ヶ所の各地区、各団体と進める		5ヶ所の各地区、各団体と進める		7ヶ所の各地区、各団体と進める		3ヶ所の各地区、各団体と進める	
各地区・各団体の独自の取組を支援する				1～2ヶ所の各地区、各団体と進める				3ヶ所の各地区、各団体と進める	
大規模のフォーラムまた公民館大会(100人規模)		計画・実施		計画・実施		計画・実施		計画・実施	

■ 中期計画シート（詳細）

「平成25年度 地域活性化を担う環境保全活動の
協働取組推進事業」
中期計画シート（詳細版）

みんなの環境学習講座

26年1月30日

請負契約の受託 団体の法人名	NPO法人 南信州おひさま進歩
受託団体の代 表者氏名	代表理事 松江 良夫

目 次

はじめに

1 組織概要

2 地域の課題

3 協働取組の概要

4 3年後のゴールイメージ

5 2014年度の目標・事業内容・スケジュール

6 2015年度の目標・事業内容・スケジュール

7 2016年度の目標・事業内容・スケジュール

8 事業実施における課題と対策

9 関係主体の全体図

10 関係主体の役割

1 組織概要

法人名	NPO法人 南信州おひさま進歩		代表者名	代表理事 松江 良夫
所在地	〒 395-0044		電話	0265 (24)4821
	長野県飯田市本町2-15		FAX	0265 (56)3712
ホームページ	http://www.ohisama-shinpo.or.jp		e-mail	sunpo@leaf.ocn.ne.jp
組織体制	役員	12名	会員	42名
	専従者	2名	ボランティア	6名
	パートタイム	0名	その他(法人会員)	8名
	創立年	平成16年	法人設立年	平成16年
これまでの活動実績	幼児向け環境教育パネルシアター(これまでに83回の上演を行い、約6,520名の園児や保護者が参加) 「100万人のキャンドルナイトin南信州」事務局 「薪人(マキビト)」事業、事務局 農林水産省「長野県農山漁村再生可能エネルギー導入可能性調査支援事業」実施 「南信州における小規模発電を利用した地域認証グリーン電力の実証実験事業」実施 「マイカープラスでお得プロジェクト」実施 「環境ビジネス起業セミナー」実施			
過去5年間に受けた補助金や助成金等の名称及び金額	平成23年 地球環境基金「南信州における小規模発電を利用した地域認証グリーン電力の実証実験事業」(独立行政法人環境再生保全機構)2,500千円 平成23年度 農山漁村再生可能エネルギー導入可能性調査支援事業7,984千円 平成21年～23年度 家電エコポイント1,512千円・住宅エコポイント136千円			
事業地域	事業名	みんなの環境学習講座		
	該当地域	☐ 全国	☒ 地方	
	事業実施地域	長野県 飯田市		

2 地域の課題

現在表面化している問題

環境モデル都市である飯田市は、平成25年4月1日より、「飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例」を制定し、地元の自然資源で得られる利益を市民主体の地域づくりに充てる権利（地域環境権）を全国に先駆けて制定し、その活動を支援すること打ち出した。しかし、本条例の一般市民への浸透はこれからであり、個人や団体による再生可能エネルギーの取組も、一部では共有されているものの地元住民への認知となると、やはり十分とはいえない。

一方、飯田市は地域コミュニティを単位とした公民館活動が大変盛んな地域であり、地域に根付いた多彩な活動を展開している。しかし、環境学習については、地球温暖化防止などの、いわゆる環境問題に関わる学習活動が弱いことが課題とされてきた。

問題を放置した場合に想定される状況

全国に先駆けて制定され注目されている、「飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例」（地域環境権）であるが、本条例の一般市民への浸透は進まず、まして再生可能エネルギーの取組となると、一部の取組となり地元住民への活動としては乖離した物になってしまう。

また、公民館活動が大変盛んに行われているが、「教育」「文化」が中心で、『環境文化都市宣言』を行っている飯田市においても、地球温暖化防止などの、いわゆる環境問題に関わる学習活動が弱く一般市民への浸透は進まない事が想定される。

該当地域の社会的・地域的背景

飯田市は、長野県の南端に位置し、東西を南アルプスと中央アルプスに囲まれ、総面積の内、森林面積が84%の典型的な中山間地域である。また、この地域は、年間約2,000時間もの日照時間と住民の高い意識により、早くから太陽エネルギーを利用してきたため、太陽光発電システムの普及率は全国でもトップクラスであり、平成16年には環境大臣表彰を受けている。平成19年には『環境文化都市宣言』を行い、平成21年1月「環境モデル都市」に選定された。

地方公共団体の政策課題等との関係性

飯田市は、中期目標として2030年までに家庭部門のCO2排出量を2005年比較40～50%削減を掲げ、多様な主体の協働による太陽や森のエネルギー利用等の行動を始めている。平成25年4月1日には「地域環境権」に関する新条例を制定し具体的な政策を打ち出している。「みんなの環境学習講座」はそうした飯田市の目標・政策を促進させ、一般市民への浸透を図る協働取組である。

3 協働取組の概要

協働取組の目的とテーマ

太陽・水・森林など、さまざまな再生可能エネルギーの資源を有するこの地域で先鋭的な取組をする個人・中小地場産業を紹介し、その意義や着地点を知り、学ぶ機会を設ける。そのために、本地域の公民館活動とそのネットワークを活用する。現状の公民館活動に新たに「環境」というキーワードを設け、それに沿った野外活動や講演・勉強会等を企画・発信することで、地元をはじめ、多様な個人や団体に気付き、地域資源を再発見できる場とする。

将来的には、老若男女が楽しめる体系的な生涯学習の環境プログラムとして確立させ、再エネ地域づくり条例への市民への理解を推進し、地域住民が主導して環境・エネルギーに関する新たな活動を生み出すことを目指す。

課題解決に向けたアイデアと協働プロセス

関係各位・有識者を交えての検討会議を経て、コンテンツの作成・イベント開催等の検討を行う。その上で、飯田市内の代表公民館の担当者と打ち合わせを行う中で、その地区独自の資源や取組、また課題などを拾い上げてコンテンツやイベントの内容に反映させる。そして年間10講座程度の勉強会・見学会・講演会・体験学習などを地区独自の取組と合わせ実施し、飯田市の環境への取り組みや再エネの地域づくり条例などを広く認知してもらうことを目指す。

地域・協力者の期待・ニーズとの整合性

- ・飯田市の公民館では、これまで「環境」というテーマの取組はあまり行われておらず、また他団体と協働し事業実施した前例がなかった。そこで都市モデル像として「環境文化都市」を目指す飯田市にとって、協働の取組が期待された。
- ・各地区公民館では、毎年文化祭が行われているが、恒例のテーマが多かった。そこでこの環境という展示は、新たらしいにぎわいとして期待された。
- ・エネルギー消費の最小単位である各家庭から、エネルギーの削減を行いたいというニーズに答え「家庭でできる省エネ講座」を開催。家庭での省エネ効果が期待された。
- ・飯田市は「再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例」を全国に先駆けて制定し、再生可能エネルギーの活動を支援すること打ち出した。しかし、一般市民にとっては、まだまだ遠い話であり市民への浸透が課題となっていた。そこで公民館での「新条例の勉強会」を持つことで、市民への更なる浸透が期待された。

4 3年後のゴールイメージ

2016年度末のゴールはどこか(最高の状態)

飯田市にある全20地区で、「環境」をテーマとした独自の学習会や講座の取組が独立して行われていく。また、そうした中から組合などが組織され自然エネルギーの事業が行われていく。

2016年度末のゴールはどこか(望ましい状態)

飯田市にある全20地区で、今までの取組(公民館活動等)に「環境」をテーマとした学習会や講座等が取り入れられ、新たな取組が行われていく。

2016年度末のゴールはどこか(確実に達成する状態)

飯田市にある全20地区で、良好な関係が構築され、「環境」をテーマとした新たな試みが始まる。

事業の結果を測る指標(アウトプット)

今まで、地域活動(公民館活動等)になかった、「環境」をテーマとした取組が各地域でなされる。

事業の効果を測る指標(アウトカム)

各地域で行われた環境学習講座から、家庭や組織など小単位で省エネ活動や、再生可能エネルギーの取り組みが開始される。

5 2014年度の目標・事業内容・スケジュール

2014年度の目標

今まで関係のなかった各地区・各団体との良好な関係作り。
また前年度関係が作られた地域とは環境をテーマとした新たな試みが次年度も継続されること。

目標を達成するための具体策

今まで関係のなった各地区の担当者との打ち合わせと、地域組織との交流。検討会の参加、新たな試みの開始。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
連絡協議会				連絡協議会					連絡協議会		
「環境」をテーマとして各地区・各団体との良好な関係を整える（12地区程度）											
各地区・各団体との独自の企画作りを行う(3ヶ所程度)											
			フォーラム						公民館大会		

6 2015年度の目標・事業内容・スケジュール

2015年度の目標

2014年継続し実施された各地区・各団体では、地域の独自の環境学習講座の開発が行われる。
地域環境権を基にした事業化への進捗状況を、広く告知するための講座を行う。
設立前の自然エネルギー事業を行う組合と協働事業を行う。

目標を達成するための具体策

連携主体を自治振興センターや、美術博物館、大学等に広く声をかけ魅力ある講座を作っていく。
地域組織(和紙の会、若者まちづくりグループ、財産区等)との連携を深め、地域のニーズを探りながら広く老若男女が参加できる講座を作る。
設立前の自然エネルギー事業を行う組合組織とも交流し、環境学習等の協議を行う。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
連絡協議会					連絡協議会				連絡協議会		
「環境」をテーマとして各地区・各団体との良好な関係を整える（12地区程度）											
各地区・各団体との独自の企画作りを行う(3ヶ所程度)											
各地区・各団体の独立を支援する（自然エネルギー事業を行う組合の支援）(1～2地区程度)											
			フォーラム						公民館大会		

7 2016年度の目標・事業内容・スケジュール

2016年度の目標

全地区公民館で環境学習講座が実施される。
 地域で環境学習を行える組織を独立させていく。
 地域から生まれる自然エネルギー事業を行う組合を支援する。
 その組合と連携し、環境学習を含めた同様の取り組みを他地域に広げていくための支援を行う。
 「環境」をテーマとした試みを支援することを、全地区公民館、自治振興センターの主業務のひとつとしてもらう。

目標を達成するための具体策

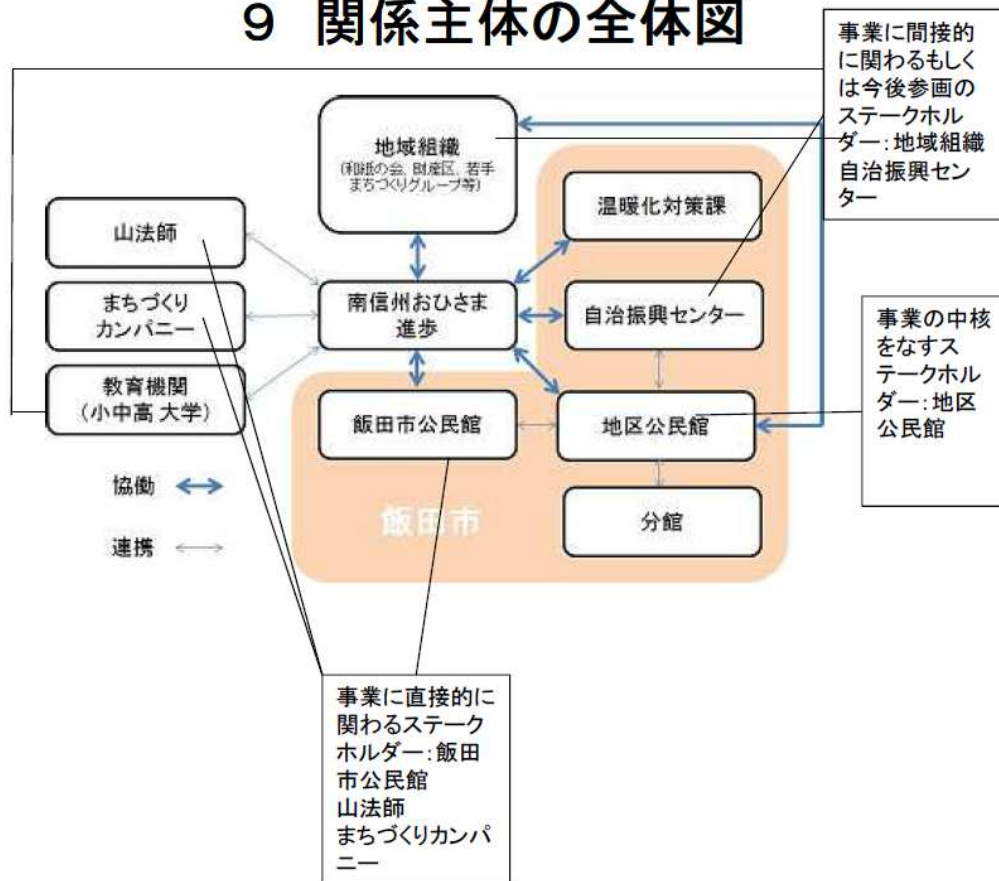
全地区公民館で「環境」をテーマとした試みを継続事業とされるよう飯田市に働きかける。
 自然エネルギーの事業化におけるアプローチと生活に密接にかかわる環境の普及啓発のアプローチを地域独自パッケージを作る。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
連絡協議会					連絡協議会				連絡協議会		
「環境」をテーマとして各地区・各団体との良好な関係を整える（20地区程度）											
各地区・各団体との独自の企画作りを行う（7ヶ所程度）											
各地区・各団体の独立を支援する（自然エネルギー事業を行う組合の支援）（3地区程度）											
			フォーラム						公民館大会		

8 事業実施における課題・リスクと対策

分類	課題・リスク	対策
人員	実施主体のみならず、地区公民館主事や地域の一部の人へ負担が集中している。	連携の枠組みを広げて、負担の集中を防ぐ。また独立し実行できる主体を作り、その人材の育成を行う。
財政	人件費、講師費用、事業実施費用をどのように捻出するのか。	地域内で講師を賄い費用を削減する。また公民館事業の一環として実施し一部費用を補てんしてもらう。
法・制度	現在飯田市は環境に積極的に取り組んでおり課題、リスクはなく、支援をいただいている。	市の法・制度の支援が整備されているうちに、地域からの環境講座の下地を作る。
(自由項目)		
(自由項目)		

9 関係主体の全体図



10 関係主体の役割

1 組織名	NPO法人南信州おひさま進歩	事業における役割	実施主体として地区公民館の主事と協働し、地域のニーズを把握しながら環境学習講座を実行する。また飯田市他、協働主体と連絡を取り合いながら、地域独自の環境学習講座を作り実行する。またその活動を実施できる人材を育成する。
所在市区町村	飯田市		
ホームページ	http://www.ohisama-shinpo.or.jp/		
2 組織名	飯田市中央公民館	事業における役割	飯田市中央公民館は、市内に20ヶ所点在している地区公民館を統括し、南信州おひさま進歩との橋渡しを行う。
所在市区町村	飯田市		
ホームページ	http://www.city.iida.lg.jp/soshiki/40/		
3 組織名	地区公民館	事業における役割	南信州おひさま進歩と協働しながら、プログラムの作成、広報、また分館との調整作業を行う。また公民館の場所の提供を行う。
所在市区町村	飯田市		
ホームページ			
4 組織名	飯田市温暖化対策課	事業における役割	南信州おひさま進歩と協働しながら、飯田市環境政策全般、また新条例「地域環境権」に関わる講座の企画の立案を行い講座の実施にあたる。
所在市区町村	飯田市		
ホームページ	http://www.city.iida.lg.jp/soshiki/20/		
5 組織名	株式会社飯田まちづくりカンパニー	事業における役割	信州飯田エコハウス利用について許可を出し、企画についても協働し実行する。またエコハウスからの広報、中心市街地の店舗への広報活動を行う。検討会においては南信州おひさま進歩からアドバイスを求める。
所在市区町村	飯田市		
ホームページ	http://www.machikan.jp/		
6 組織名	NPO法人いいだ自然エネルギーネット山法師	事業における役割	山法師風の学舎の利用について許可を出し、企画についても協働し実行する。また下久堅地区での環境学習講座を今後連携し行っていく。検討会においては南信州おひさま進歩からアドバイスを求める。
所在市区町村	飯田市		
ホームページ	http://yamabousi.net/		